Panasonic

取扱説明書

CATV デジタル セットトップボックス

TZ-DCH2000
TZ-DCH2800
品番 TZ-DCH2810

■このたびは、ケーブルテレビ局にご加入くださいまして、まことにありがとうございました。

■ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。**特に「安全上のご注意」（☞ 108 ～ 111 ページ）は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。**

そのあと大切に保管し、必要なときお読みください。

■取扱説明書は、TZ-DCH2000、TZ-DCH2000A、TZ-DCH2000B、TZ-DCH2800、TZ-DCH2800B、TZ-DCH2810、TZ-DCH2810B 共用ですが、機種により接続と設定内容が異なります。

TQBX0369-3

もくじ

確認

番組を見る

録画・再生

ブラウザを楽しむ

●この取扱説明書のイラストや画面はイメージであり、実際とは異なる場合があります。

「安全上のご注意」を必ずお読みください(☞108～111ページ)

便利に使う

接続・設定

外部機器の接続

必要なとき

本機の特長と楽しみかた

デジタル放送を楽しむ

本機は、地上・BS・CSデジタル放送、日本ケーブルラボ標準デジタル放送を受信するCATV用デジタルセットトップボックスです。ご加入のケーブルテレビ局のサービス内容により放送内容が異なります。詳しくは、ご加入のケーブルテレビ局にお問い合わせください。

地上デジタル

地上波のUHF放送（13～62ch）の周波数帯を使って行うデジタル放送で、高画質な映像や多チャンネルの番組以外に地域密着型のデータ放送なども行われています。

番組表を使う（☞18ページ）

画面上に番組を新聞のテレビ欄のように一覧表示します。
（8 日分：ご契約のケーブルテレビ局により異なります）

- 番組表から選局や録画予約ができます。
- 地上デジタルの番組情報は地上デジタル放送、衛星デジタルの番組情報は衛星デジタル放送と一緒に送られています。

BSデジタル

放送衛星（Broadcasting Satellite（ブロードキャスティング･サテライト））を使って行う放送でハイビジョン放送やデータ放送が特長です。
BS日テレ、BS朝日、BS-i、BSジャパン、BSフジなどは無料放送を行っています。WOWOWなどの有料放送は、ご加入のケーブルテレビ局にて加入申し込みと契約が必要です。ご加入のケーブルテレビ局にお問い合わせください。

番組を探す（☞20ページ）

- 今の時間帯で放送されている他の番組（裏番組）が一覧できます。
- 「ジャンル別に」条件を指定して内容を探し、視聴や予約ができます。

CSデジタル

通信衛星（Communications Satellite（コミュニケーションズ･サテライト））を使って行う放送で、ニュースや映画、スポーツ、音楽などの専門チャンネルがあります。ほとんどの放送は有料です。
ご加入のケーブルテレビ局にて加入申し込みと契約が必要です。ご加入のケーブルテレビ局にお問い合わせください。

高画質な映像を楽しむ

（☞64、65ページ）

- 本機は、コンポーネントビデオ信号を出力するD端子（D1/D2/D3/D4切り換え可能）とHDMI端子を装備しています。
- D端子、または、HDMI端子付きテレビに接続すれば高画質な映像をお楽しみいただけます。

■各機種品番の表記のしかたと相違点

本取扱説明書では、各機種の品番を以下のように表記しています。

- **TZ-DCH2000**：TZ-DCH2000、TZ-DCH2000A、TZ-DCH2000Bを含めています。
- **TZ-DCH2800**：TZ-DCH2800、TZ-DCH2800Bを含めています。
- **TZ-DCH2810**：TZ-DCH2810、TZ-DCH2810Bを含めています。

仕様など個別の品番が必要な場合は上記の限りではありません。

相違点／機種	デジタル放送の変調方式	ケーブルモデム	LAN端子
TZ-DCH2000	トランスモジュレーション※1	あり	なし
TZ-DCH2800	トランスモジュレーション／パススルー※2	あり	なし
TZ-DCH2810	トランスモジュレーション／パススルー	なし	あり

※1　トランスモジュレーションとは、CATV局で受信した放送波の変調方式や周波数を変換して送出する方法のことをいいます。地上デジタル放送の場合、OFDMを64QAMに変換して送出します。
※2　パススルーとは、CATV局で受信した放送波の変調方式を変えずに送出する方法のことをいいます。

番組を録画する（☞24ページ）

●本機は、ハードディスクを搭載しています。ハイビジョン放送を高画質のまま、簡単に※約23時間録画することができます。
●番組を見ているときに来客があっても、つづきを見ることができる、便利なタイムキープ機能などがあります。
●ハードディスクに録画しながら、すでに録画した番組を再生することができます。
※地上デジタル放送の場合、放送により、録画時間は異なります。

●**ペイ・パー・ビュー（番組単位で購入できる有料番組）**（☞17ページ）
画面上で購入操作をすることで、番組の視聴や録画ができます。
この場合、ICカードの挿入が必要です。また電話回線の接続が必要な場合があります。
ご加入のケーブルテレビ局にご確認ください。

本機で録画機器を操作する

（☞38、85ページ）

●付属のIrシステムケーブルを使うと、ビデオデッキやDVDレコーダーへの録画予約が簡単にできます。
●i.LINKで接続した、当社製D-VHSビデオデッキなどを本機のリモコンで操作できます。

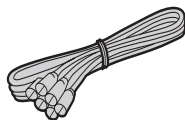
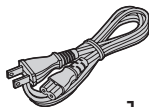
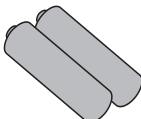
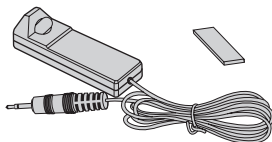
●**データ放送**（☞21ページ）
画面上の説明に従い操作すると、関連するデータを表示できる番組があります。
例えば、BS101を視聴中にリモコンの「d」ボタン（データ）を押すと、NHKデータ放送で送られている天気予報などがご覧になれます。
（2008年3月現在）

ブラウザを使う（☞46ページ）

インターネットを利用したテレビ向けの双方向情報提供サービスを受けることができます。

●サービスの内容は、ご加入のケーブルテレビ局にご確認ください。

●ご加入のケーブルテレビ局のサービス内容により利用できない場合があります。

●**デジタル放送の外部機器での録画**
D-VHSビデオデッキやHDDレコーダーなどをi.LINKで接続すると、高画質で録画できます。
通常のVHSビデオデッキでも録画できますが、画質は従来の地上アナログ放送と同等になります。

● ブラウザでお楽しみになる場合、プログレッシブテレビやハイビジョンテレビに接続されることをおすすめします。一般のテレビに接続されると文字などが見えにくい場合があります。

付属品の確認

設置、接続の前にまず付属品を確かめてください。
（　）は個数です。
●イラストはイメージイラストであり、実物とは形状が異なる場合があります。
●付属品を紛失された場合は、ご加入のケーブルテレビ局にご相談ください。

□リモコン……………（1）（☞10ページ）

□映像・音声コード …（1）（☞64ページ）

1.5 m

□電源コード………（1）（☞9ページ）

1.7 m

□単3形乾電池 ……（2）
（リモコン用）（☞11ページ）

□Irシステムケーブル（1）
両面テープ ………（1）（☞86ページ）

1.5 m

使用上のご注意

本機は放送内容、ご使用環境、接続されている機器との組み合わせや、外部からの雑音などの影響によりリモコンによる操作ができなくなるなど、まれに正常に動作しないことがあります。

この場合は、本体前面のリセットボタンを押していただくか、電源プラグを一度抜き、しばらくした後、再度電源プラグを差し込み、動作を確認してください。

視聴記録の送信について

ICカードに記録されている視聴記録データは、定期的に本機に内蔵のケーブルモデムや電話回線を通じ自動送信されます。
データ送信の電話料金は無料です。電話回線でデータ送信中は、同じ回線に接続の電話機は使用できません。

本機の受信周波数帯域に相当する周波数を用いた機器とは離してご使用ください。

本機の受信周波数帯域(90 MHz～770 MHz)に相当する周波数を用いた携帯電話などの機器を、本機やケーブルテレビ宅内線の途中に接続している機器に近づけると、その影響で映像・音声などに不具合が生じる場合があります。それらの機器とは離してご使用ください。

本機は性能向上のためダウンロードを行う場合があります。ダウンロードを実行するには、本機の電源を「切」にしてください。

電源プラグをはずしたり、電源「入」にしているとダウンロードが実行されません。
ダウンロードを実行するには、本機の電源プラグをコンセントに接続し、電源「切」の状態にしてください。

本機の通風孔をふさがないようにしてください。

本機は放熱のため、天面の一部で温度が高くなります。品質、性能には異常ありませんが、内部温度の上昇をおさえるため冷却用ファンや通風孔をふさがないようにして、風通しのよい所に設置してください。

長時間動かない画像を映さないでください。

本機に接続されたテレビやプロジェクターに、動かない画像を長時間映していると、画面に映像が焼き付き、影のように画面に残る恐れがあります。動かない画像を長時間映さないでください。

本機の上に他の機器を置いたり、他の機器の上に本機を置かないでください。

他の機器の放熱によって本機の内部温度が上がり、故障の原因となることがあります。

ICカード取り扱い上の留意点

- 折り曲げたり、変形させない。
- 重いものを置いたり、踏みつけたりしない。
- 水をかけたり、ぬれた手でさわらない。
- IC(集積回路)部には手をふれない。
- 分解加工は行わない。

- 本機に組み込まれているソフトウェアの解析、変更、改造などを行わないでください。
- 本製品は、著作権保護技術を採用しており、マクロヴィジョン社及びその他の著作権利者が保有する米国特許及びその他の知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用は、マクロヴィジョン社の許可が必要で、また、マクロヴィジョン社の特別な許可がない限り家庭用及びその他の一部の鑑賞用の使用に制限されています。分解したり、改造することも禁じられています。
- 本機は ARIB(電波産業会)規格および日本ケーブルラボ規格に基いた商品仕様になっております。将来規格変更があった場合は、商品仕様を変更する場合があります。
- 何らかの不具合により正常に録画できなかった場合の内容の補償、および直接・間接の損害に対して、当社及びご加入のケーブルテレビ局では一切の責任を負いませんのであらかじめご了承ください。
- あなたがビデオデッキなどで録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。
- メールや購入記録、データ放送のポイントなどのデジタル放送に関する情報は、本機が記憶します。万一、本機の不具合によって、これらの情報が消失した場合、復元は不可能です。その内容の補償についてはご容赦ください。
- 国外でこの製品を使用して有料放送サービスを享受することは、有料サービス契約上禁止されています。
- B-CAS カードおよび C-CAS カードは地上・BS・CSデジタル放送、日本ケーブルラボ標準デジタル放送を視聴していただくために、お客様へ貸与された大切なカードです。お客様の責任で破損、故障、紛失などが発生した場合は、再発行費用が請求されます。
- 本機から電話回線を通じて通信を行うと、通信料金無料のフリーダイヤルでないかぎり、電話料金はお客様の負担になります。

ハードディスク（HDD）に関するご注意

ハードディスクは振動・衝撃やほこりに弱い精密機器です。設置環境や取り扱いにより、録画や再生ができなくなる場合があります。
以下のことに注意してください。

- 振動や衝撃を与えない
- 水平に設置して、傾けたり不安定なところに置かない
- 電源プラグをコンセントに接続しているときは、本機を動かさない
- 電源プラグをコンセントから抜くときは、必ず電源表示ランプが赤色の状態のときに抜く
- 本機を移動させるときは、電源プラグをコンセントから抜いて2分程度待ってから移動する

HDDに異常を感じた場合はすぐにダビング（バックアップ）を…

HDD内に不具合箇所があると、録画時や再生時に継続した異音がしたり、映像にブロック状のノイズが発生することがあります。そのままお使いになると劣化が進み、最悪の場合、HDD全体が使えなくなってしまう恐れがあります。このような現象が確認された場合は、すみやかにD-VHSビデオデッキなどにダビングして、修理をご依頼ください。HDDが故障した場合は、記録内容（データ）の修復はできません。

二度と録画できないような大切な録画の場合は、事前に試し録画を行い、正しく録画できていることを確かめておいてください。

本機を使用中、不具合により、録画されなかった場合の内容の補償については、ご容赦ください。

- **本機から、i.LINK接続でパソコンやHDDレコーダーに録画できない場合があります。**
- **停電などが起こったときは、録画・再生中の内容や、HDDに録画した番組内容（データ）が損なわれる場合があります。**

表示窓の「HDD」の文字が消灯しているときは

HDDが自動的に休止状態になっています。（通電中、HDDは高速で回転しています。HDDの寿命を延ばすため、約10分以上操作しないとHDDの回転を止め、休止します。）

- 起動に時間がかかるため、休止状態からの録画や再生はすぐに始まりません。

本機からHDDの動作音が聞こえる場合がありますが、故障ではありません。

HDDの品質を維持させるため、本機では、自動的に内部点検を行っています。以下の状態のときに、本機から音が聞こえる場合がありますが、故障ではありません。

- HDDが休止状態になるとき
- 電源切／入時

本機を使用環境条件以外の高温や低温になる所では使用しないでください。

使用温度（5 ℃～40 ℃）以外で使用されると内蔵ハードディスクの保護機能が働き、動作しない場合があります。
たばこの煙、くん煙殺虫剤（煙をたくタイプの殺虫剤）などが機器内部に入ると故障の原因になります。

結露について

本機を寒い場所から暖かい場所へ移動させたときや、暖房を入れて、急に部屋の温度が上がったりした場合、温度差により本機の表面や内部に結露が起こることがあります。そのままご使用になると故障の原因になります。

- 部屋の温度になじむまで、電源を切ったままにしておいてください。（約2～3時間）
- 温度変化が起こりやすい場所や湿度が高い場所（湯気が立ち込めるなど）には設置しない。

録画内容の補償に関する免責事項について

何らかの不具合により、正常に録画・編集ができなかった場合の内容の補償、録画・編集した内容（データ）の損失、および直接・間接の損害に対して、当社およびご加入のケーブルテレビ局は一切の責任を負いません。また、本機を修理した場合（HDD以外の修理を行った場合も）においても同様です。あらかじめご了承ください。

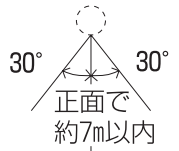
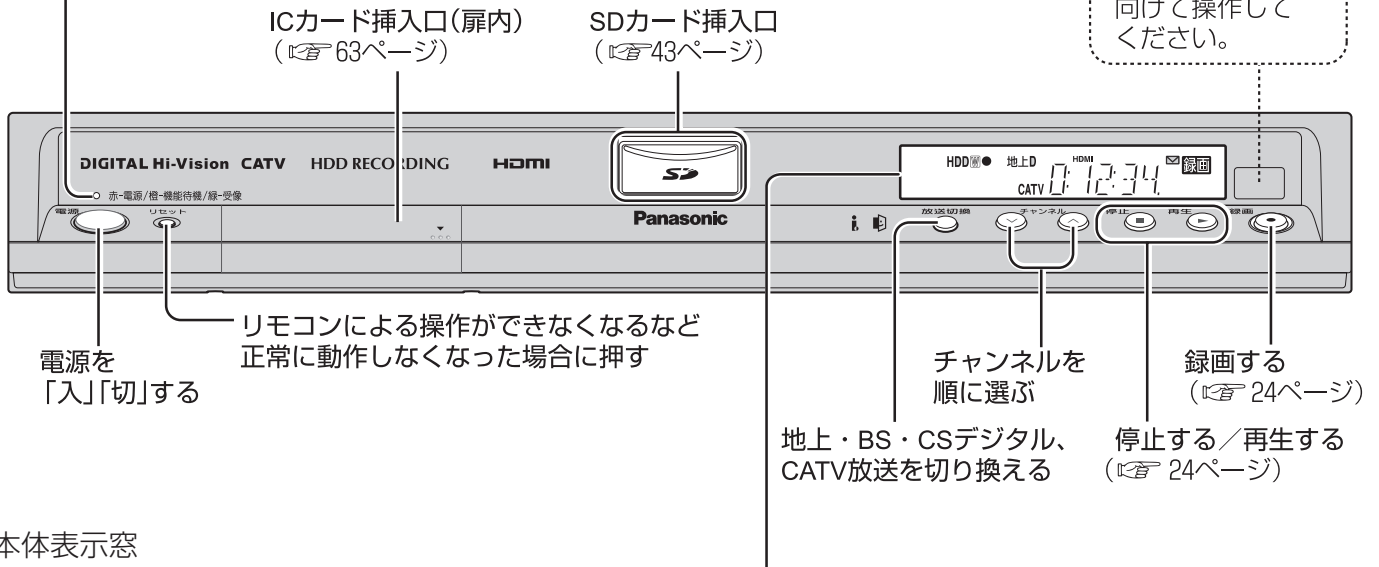
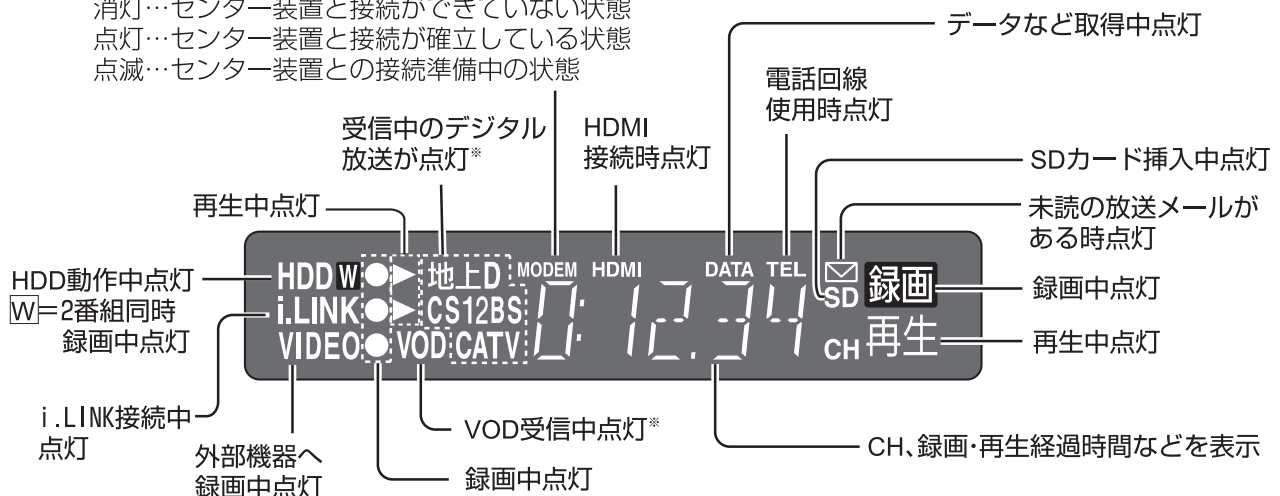
商標などについて

- i.LINKとi.LINKロゴ”i”は商標です。
- D-VHSは、日本ビクター株式会社の登録商標です。
- SDロゴは商標です。
- マークは、株式会社アクトビラの商標です。
- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLCの商標または、登録商標です。
- CP8 PATENT

なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

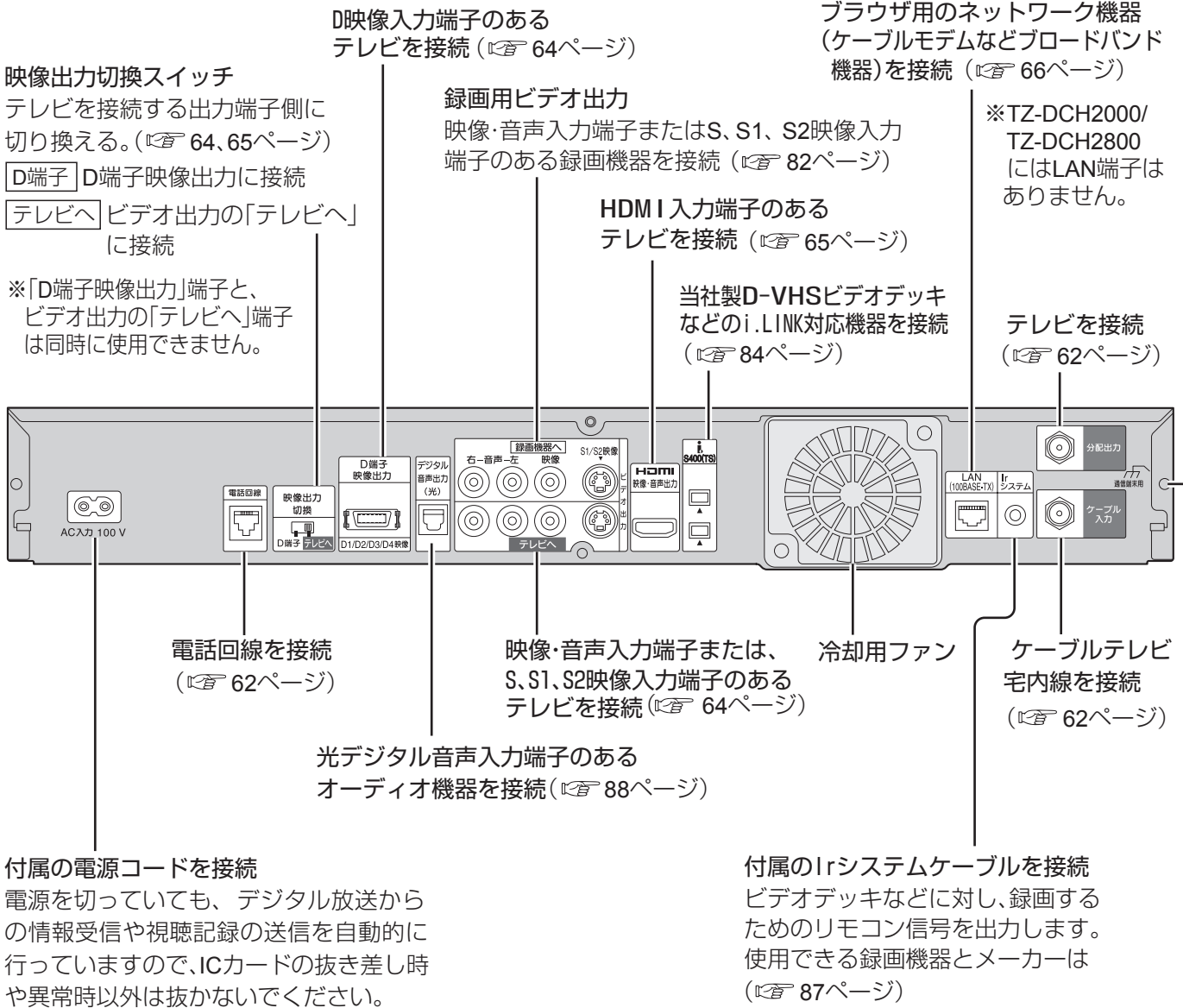
- この製品に使用されているソフトウェアに関する情報は、操作一覧ボタンを押し、「情報を見る」→「ステータス表示」→「ソフト情報表示」をご参照ください。

各部のはたらき

本体前面

お願い

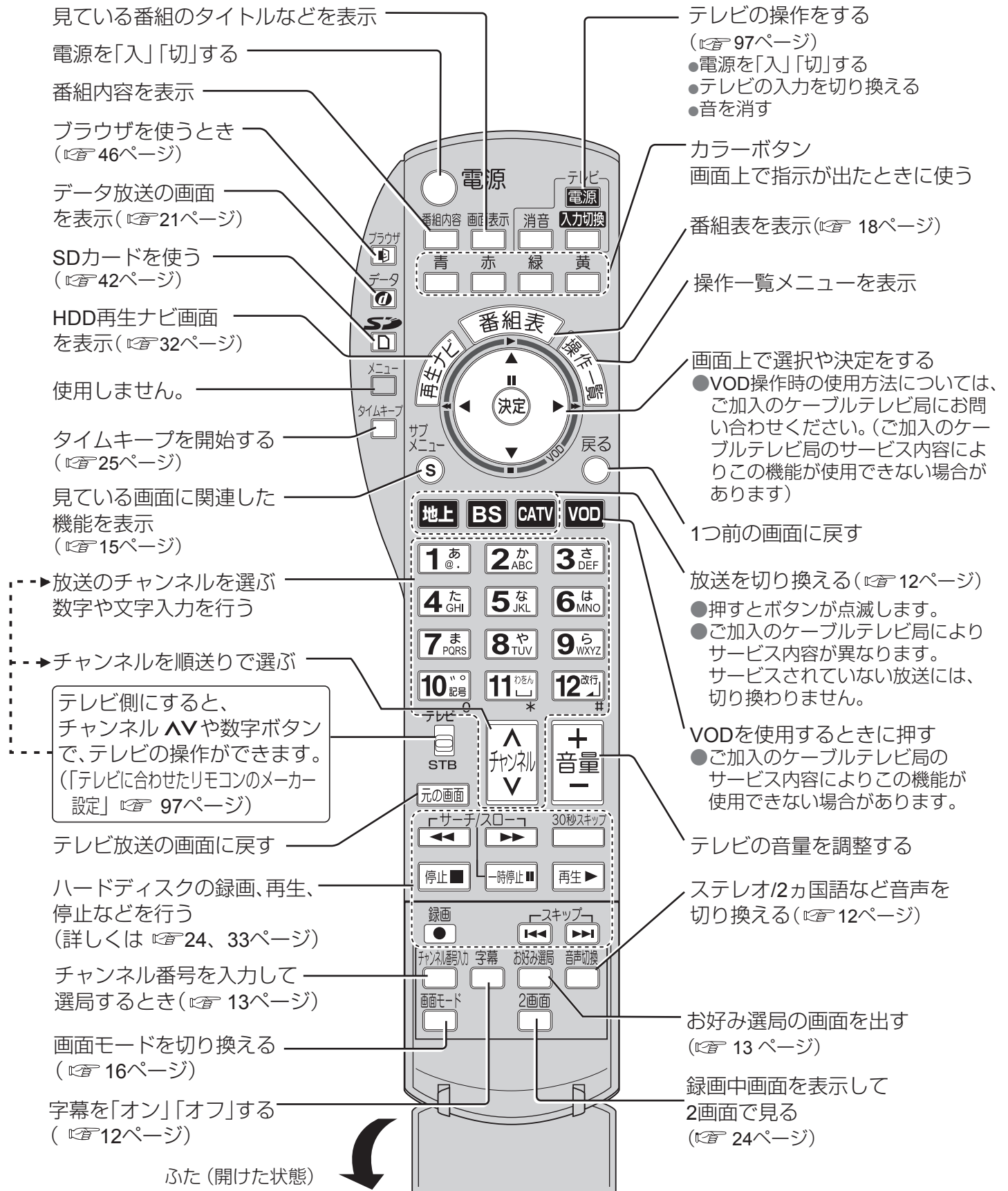
- 2番組同時録画中は、操作できなくなるボタンがあります。受信異常ではありませんので、リセットボタンを押さないでください。録画を中止したい場合は、停止ボタンを押してください。
- 電源「切」時(電源表示ランプが赤色の状態)でも、デジタル放送からの情報受信や有料番組の視聴記録の送信を自動的に行います。

本体背面

イラストはTZ-DCH2810です。

お知らせ

- 録画用ビデオ出力は、画面上に表示されるオンスクリーンがない映像信号が出力されます。
- ビデオ出力「テレビへ」と「録画機器へ」は、裏番組の録画時などに異なった番組の映像信号が出力されます。
- ビデオ出力「テレビへ」のS1／S2映像端子からは、ワイド映像を自動判別するための識別信号も出力しますので、テレビのS1／S2映像入力端子と接続した場合は、テレビ側が識別信号を検出すると自動的に「フル」画面や「ワイド」画面になります。
- ビデオ出力「テレビへ」の映像端子からは、ワイド映像や画面の上下に映像のないアスペクト比の映像を自動判別するための識別信号も出力しますのでID-1検出機能付のテレビを接続すると、テレビ側が識別信号を検出して自動的に「フル」画面や「ワイド」画面になります。接続するテレビによっては、識別信号(例 ID-1など)により4:3画面になることがあります。
- コピーガードがかかっている番組は録画機器を経由してテレビで視聴したり、一部のビデオ内蔵型テレビで視聴すると正常に受像できない場合があります。コピーガードがかかっている番組を視聴する場合は、録画機器を経由しないで直接、本機とテレビを接続してください。

各部のはたらき

リモコン

お願い

●本体のリモコン受信部とリモコンの間に障害物を置かないでください。
●本体のリモコン受信部に直射日光やインバータ蛍光灯の強い光を当てないでください。

基本操作のしかた

設定中や設定後に押すと、テレビ放送の画面に戻る

設定中に押すと、1つ前の画面に戻る

■設定を行うとき

押す → CATV 操作一覧（番組を探す／予約する／機器を操作する／情報を見る／設定する）

●操作一覧の項目については96ページ「操作一覧(メニュー)」をご覧ください。

▲または▼を押して項目を選ぶ → CATV 操作一覧（番組を探す／予約する／機器を操作する／情報を見る／設定する） <例>

押して決定する → 番組表で／おすすめ一覧／ジャンル別に／時間指定予約で／予約一覧／録画・視聴設定

左右に設定項目があるときは、◀または▶を押す

■画面上で選ぶとき

上へ　左へ　右へ　下へ

中央の決定ボタンを押すと次の画面になります。

■数字を入力するとき

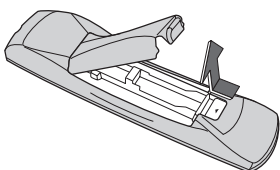
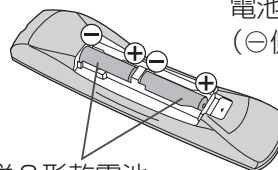
リモコンボタン	入力文字(表示内容)
1 あ @. ～ 9 ら WXYZ	1～9
10 ゛゜ 記号 0	0
11 わをん ␣ *	＊
12 改行 #	＃

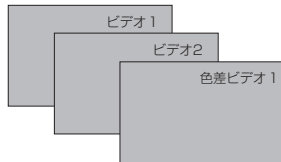
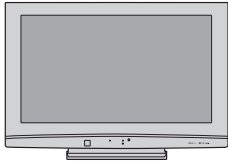
●文字入力について(☞50～53ページ)

■本取扱説明書では

(決定)で選択する操作を▼▲で説明しています。

(決定)で選択する操作を◀ ▶で説明しています。

リモコンの電池の入れかた

テレビ放送を見る

1

①テレビの電源を入れる　②入力画面を切り換える

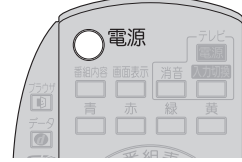
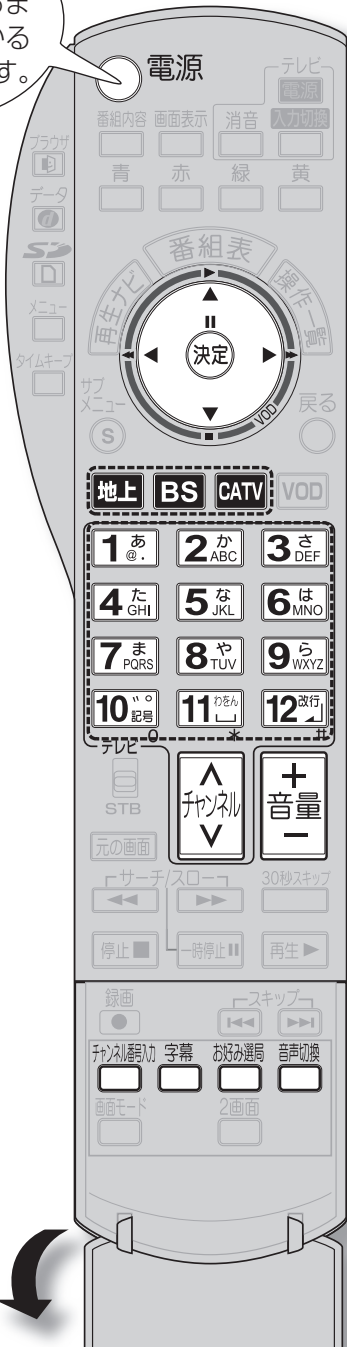
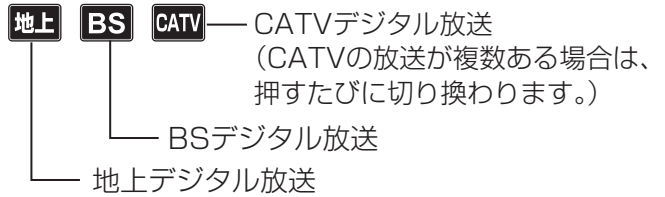
2

本機の電源を入れる

※本機のリモコンでテレビの電源を入れたり、入力切換を行うことができます。(☞97ページ)

放送を選ぶ

地上 **BS** **CATV**

- CATV — CATVデジタル放送（CATVの放送が複数ある場合は、押すたびに切り換わります。）
- BS — BSデジタル放送
- 地上 — 地上デジタル放送

→押すとボタンが数回点滅します。

●ご加入のケーブルテレビ局のサービス内容により視聴できない放送がある場合があります。

音量を調整する

＋音量－

本機のリモコンでテレビの音量を調整するには設定が必要です。(☞97ページ)

字幕付き番組のとき

字幕

押すごとに字幕の表示と消去を繰り返します。

2ヵ国語放送や多重音声放送のとき

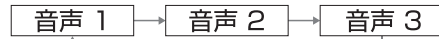
2ヵ国語放送や多重音声放送のときには、音声を切り換えることができます。

音声切換

●押すたびに音声が切り換わります。

音声 1 → 音声 2 → 音声 3 →（音声 1に戻る）

例:音声1が二重音声のとき

音声1(主)（日本語） → 音声1(副)（外国語） → 音声 1(主+副)（日本語+外国語） → 音声 2 → 音声 3 →（音声1(主)に戻る）

お知らせ

●放送によっては、「主」で外国語、「副」で日本語の場合があります。
●切り換えた音声が有料の場合もあります。

3

地上 BS CATV

見たい放送の
切換ボタンを押す

4

チャンネルを選ぶ

いろいろなチャンネルの選びかた（選局）

順送りで選ぶ

●押すたびに、受信できるチャンネルを順々に選局します。

●選局対象とチャンネルアップダウンで設定したチャンネルが選局できます。（☞54ページ）

お好み選局

お好み選局表から選ぶ

●押すたびに、ページが切り換わります。

▼▲◀▶で見たいチャンネルを選び、決定 を押す

●受信されている放送のみ表示されます。
●CATVのお好み選局は設定されていません。ご自由に設定し、ご活用ください。

■BSデジタル放送のボタン割り当て（工場出荷時）

番号	チャンネル	番号	チャンネル	番号	チャンネル	番号	チャンネル
1	101	4	141	7	171	10	200
2	102	5	151	8	181	11	211
3	103	6	161	9	191	12	222

●お好み選局の2、3ページ目にも割り当てがあります。
●地上デジタル放送やCS1、CS2の設定内容は、ご加入のケーブルテレビ局により異なります。

数字ボタンでチャンネルを選ぶ

選局入力方式は2通りあります。
（選局入力方式の選択は☞56ページ）

■選局入力方式が「プリセット」の場合
押すとボタンに登録した放送局を選局します。
（はじめに チャンネル番号入力 を押すと「3桁入力」もできます。）

■選局入力方式が「3桁入力」の場合

例：「地上デジタル101」チャンネルを選ぶとき

●数字ボタンを押して3秒以上経つと、押したボタンで（プリセット）選局されますのでご注意ください。

●3桁入力時に同じチャンネル番号の放送が複数ある場合は、下図のような選択パネルを表示します。

▼▲で見たい放送を選んで、決定を押してください。

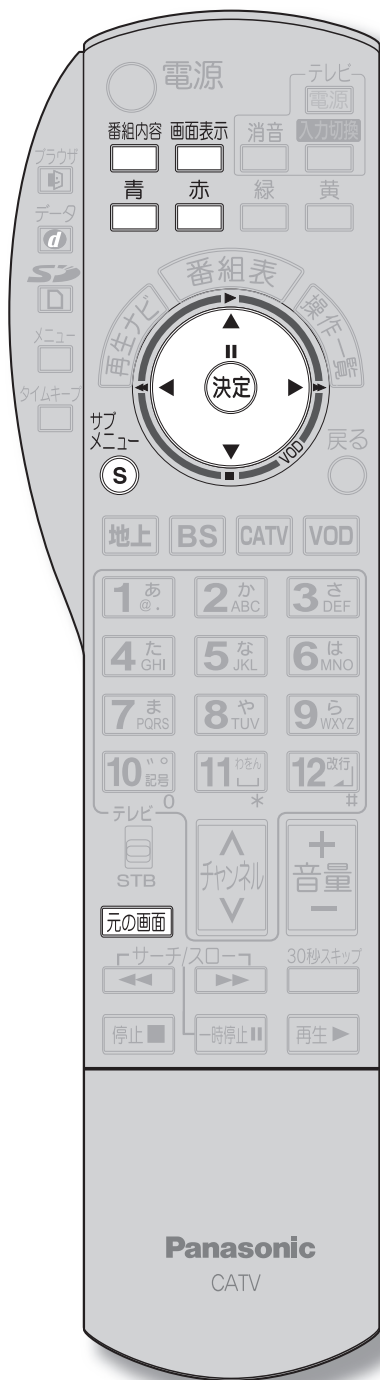
●ボタンを押して、3秒経つか、または決定を押すと、プリセットで選局できます。

お知らせ

●番組表で選局するには（☞18ページ）
●数字ボタン（1～12）で選局するチャンネルを変更するには（☞68～70ページ）
●ご加入のケーブルテレビ局のサービス内容により選択できない場合があります。

■地上デジタル放送で、枝番号の異なる放送を選局する場合

（枝番号とは同じチャンネル番号の放送が複数受信できた場合に追加される区別番号のことです。）
①枝番号のある地上デジタル放送を受信中に、サブメニューボタンを押す
②▼▲で枝番選局を選び、決定する
③表示された放送局リストから、見たい放送を選び、決定する
●手順③でチャンネル番号入力ボタンを押すと、選択中の枝番の放送局にマークが付きます。
（チャンネル番号入力時は、その枝番の放送局を選局します）

テレビ放送を見る

番組の内容を見る

番組を見ているとき、または、番組表や一覧から選んでいるときに…

番組内容

を押す

番組のタイトル

番組の特徴を表すアイコン（☞100ページ）

CATV ケーブルテレビ 番組内容

内容 属性

○月○日(○) 17:02

2 ○○○総合

○月○日(○) ○○○○○○○○

21:05〜21：55

■番組概要

■番組詳細内容

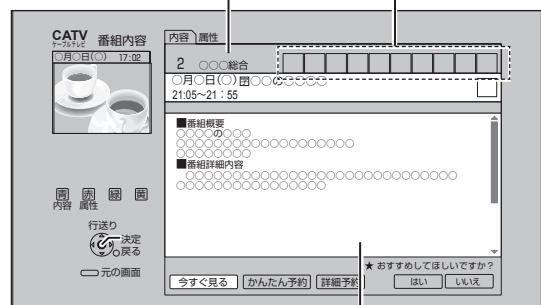
行送り

決定

戻る

元の画面

★ おすすめしてほしいですか？

今すぐ見る　かんたん予約　詳細予約　はい　いいえ

番組の内容

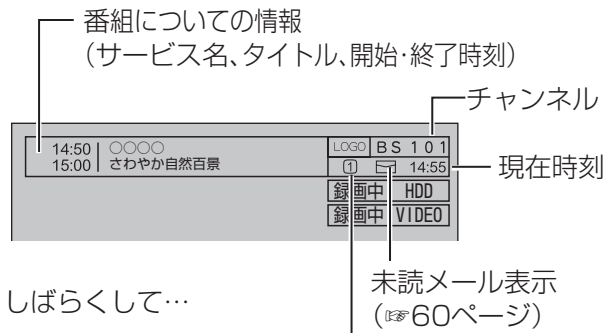
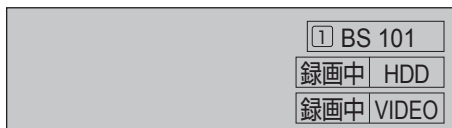
■アイコンで表示している番組の詳しい内容（属性）などを見たいとき

赤 を押す（青 で番組の内容に戻る）

（確認したら 元の画面 を押す）

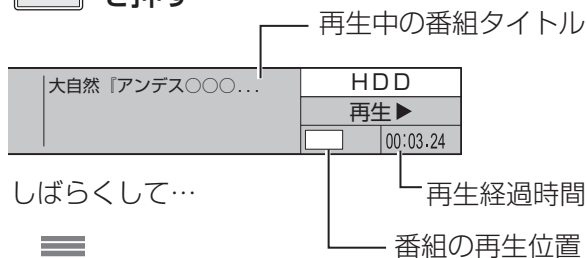
番組のタイトルなどを表示する

番組を見ているときは…

画面表示
[ ] を押す

しばらくして…

<例>
HDD（ハードディスク）と外部の録画機器で番組を録画中

画面表示
再度、[ ] を押すと表示は消えます。

録画した番組を再生しているときは…

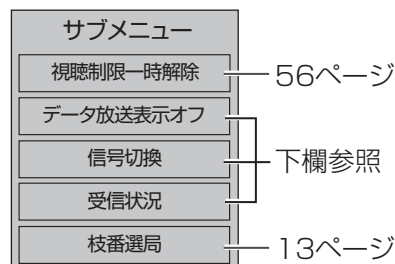
画面表示
[ ] を押す

画面表示
再度、[ ] を押すと表示は消えます。

サブメニューを表示する

1 サブメニュー Ⓢ を押す

→現在の画面に関連したサブメニューが表示されます。

2 ▲▼で項目を選び、決定 を押す

＜例：番組視聴中のとき＞

● 押す前の画面によってサブメニューの項目は変ります。

データ放送表示オフ

● データ放送を終了させることができます。
●「データ」ボタンを押すことにより再度表示されます。
「データ」ボタンを押すまでデータ放送は、起動されません。

信号切換

● マルチビュー対応の放送※や1つの番組に複数の映像や音楽のある放送の場合に「信号切換」を選び、決定すると、切り換えができる信号の選択画面になります。

受信状況

● 受信している信号の強さなどを表示します。

お知らせ

● マルチビュー対応の放送は2008年3月現在行われていません。
● 信号切換で表示される設定項目は、番組によって変わります。
● 信号切換で切り換えた映像が有料の場合もあります。
● 受信状況の表示は簡易表示であり、確認の目安です。

※マルチビューとは1チャンネルで主番組、副番組の複数映像が送られる放送のことです。例えば、野球放送の場合、主番組は通常の野球放送、副番組ではそれぞれのチームをメインにした野球放送が行われます。

画面の黒帯を消す（画面モード）

額縁表示の場合に、上下左右の黒帯を消して大きく表示します。

番組を見ているときに…

画面モード を押す

押すごとに「ノーマル」、「サイドカット」、「サイドカット固定」、「ズーム」の順に画面モードが切り換わります。

ノーマル 通常の出力

サイドカット

ワイド（16:9）放送の左右の黒帯を消して拡大表示（ワイド放送以外では機能しません）
黒帯が無い映像の場合、左右の映像がカットされますので、ご注意ください。

左右に黒帯のある1080i(16:9)の放送 → ノーマルテレビ画面では額縁表示された状態 → サイドカットで帯部分を消して拡大表示

サイドカット固定

設定を変えるまで、上記の「サイドカット」された画面となります。

ズーム

ノーマル（4:3）放送の上下の黒帯を消して拡大表示します。（ノーマル放送以外では機能しません）黒帯が無い映像の場合、上下の映像がカットされますので、ご注意ください。

上下に黒帯のあるレターボックス(4:3)の放送 → ワイドテレビ画面では額縁表示された状態 → ズームで帯部分を消して拡大表示

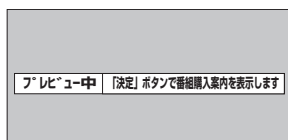
お知らせ

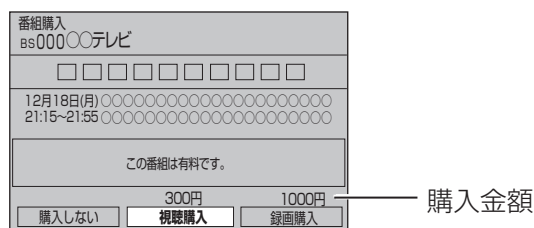
- 選局操作や電源を「切」「入」したり、「元の画面」ボタンを押したり、接続テレビ設定を変更すると、画面モード切換は「ノーマル」に戻ります。
- 「サイドカット固定」は、「接続テレビ」を「ノーマル」に設定しているときに選択できます。（☞73ページ）
  選局操作や電源を「切」「入」したり、「元の画面」ボタンを押しても「ノーマル」には戻りません。
- 「ズーム」が選べるのは、接続テレビ設定の「接続テレビ」を「ワイド」に設定して、「HDMI／D端子出力」を「480p固定」または、「1080i固定」に設定しているときだけです。（☞73ページ）
- データ放送画面のときは画面モード切換は機能しません。
- 録画予約時の設定は（☞29ページ）
- このページで記載している画面イラストは動作の一例です。（接続するテレビやテレビ側の画面設定によっては動作が異なる場合があります）

有料番組を見る(ペイ・パー・ビュー)

- デジタル放送には、無料と有料のものがあります。有料チャンネルを見るには、ご加入のケーブルテレビ局との契約が必要です。
- ペイ・パー・ビュー(番組単位で購入できる)の番組を視聴、録画するには、ご加入のケーブルテレビ局とペイ・パー・ビューの契約と画面上での購入操作が必要です。
- 電話回線の接続または、LANケーブルでケーブルモデムなどとの接続が必要な場合があります。(☞62、66ページ)

1 ペイ・パー・ビューの番組を選局したとき
(番組によっては、プレビュー※が表示される)

(決定) を押す

※ プレビューとは、有料番組の購入前に、わずかな時間だけ視聴できるサービスです。

2 ◀▶で項目を選び、(決定) を押す

- 番組により、選べる項目が変わります。

購入する
番組を購入したことになり視聴できます。
ただし、コピーガードのある番組は録画できません。

購入しない
番組を購入しません。

視聴購入 (料金を払うと視聴できるときのみ表示)
番組を購入したことになり視聴できます。
ただし、コピーガードのある番組は録画できません。

録画購入 (料金を払うと録画できるときのみ表示)
番組を購入したことになり視聴および、録画ができます。

確認画面が出た場合は、表示内容を確認し操作してください。

お知らせ

- **コピーガードについて**
デジタル放送には、ビデオデッキなどで録画できないようにしている(コピーガードのある)番組があります。その番組は正常に録画できません。コピーガードを解除できない番組は「録画購入」の項目が表示されません。
- 購入した番組の視聴中にも、他のチャンネルに切り換えることができます。ただし、購入操作が終了していると、実際には番組を視聴しなくても料金が請求されます。また、番組予約が実行された場合、視聴や録画をしなくても料金が請求されます。

番組表を使う

画面上にテレビ番組表を表示します。
（最大8日分：ご契約のケーブルテレビ局により異なります。）

番組を見ているときに…

を押す

＜操作ボタンの位置＞

＜番組表＞

- 番組表を開く前に見ていた画面
- 現在日時
- 表示中の番組表の日付
- 見ている番組または選択中の番組の紹介
- 放送局名
- 予約された番組（紫色：探して毎回予約）
- 予約された番組（赤色：録画予約）
- 予約された番組（青色：見るだけ予約）
- おすすめアイコン
（予約時は表示されません。）
●おすすめ番組があるときに表示されます。
- 青線部分には、短い番組が存在します。
（カーソルを合わせると番組を表示します。）
- 選択中の番組（黄色表示）
視聴制限を設定した番組を選ぶと暗証番号入力画面が表示されます。（☞ 57ページ）

●電源を入れた直後は番組表が表示されるまでに、約1分程度かかる場合があります。

番組表を拡大、縮小する

1 番組表を表示中に
赤を押す

2 **◀▶で表示サイズを選択し、決定を押す**

表示サイズ（拡大／縮小）	
チャンネル表示数	◀ 7 ▶

番組を探す

1 番組表を表示中に
緑を押す
（番組の探しかたは☞20ページ）

別の日や他の時間帯の番組表を見る

1 番組表を表示中に
青を押す

2 **▼▲で「日付変更」または「時間変更」を選び、◀▶で設定し、決定を押す**

番組表日時変更	
日付変更	◀ 19（火） ▶
時間変更	17時

予約一覧を見る

1 番組表を表示中に
黄を押す
（予約一覧の詳細は☞31ページ手順4）

● **設定中、**戻る◯ で1つ前の画面に戻ります。
● **設定後は、**[元の画面] でテレビ放送の画面に戻します。

別の放送の番組表を表示する

1 **◀▶を押す**
→押すごとに表示する放送局が順番に移動していきます。

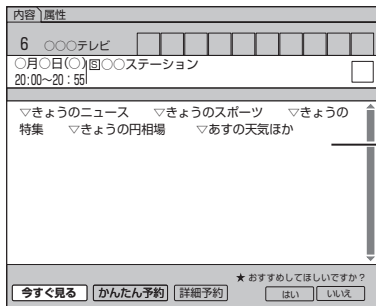
地上デジタル→BSデジタル→CATVデジタル

（ご契約のテレビ局により異なります。）

● [地上] [BS] [CATV] でも放送が切り換わります。

今すぐ番組を見る

1 **▼▲◀▶で見たい番組を選び、(決定) を押す**

2 **「今すぐ見る」を選び、(決定) を押す**

番組の内容を紹介

番組を予約する(見るだけ予約)

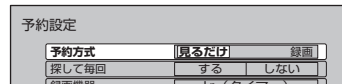
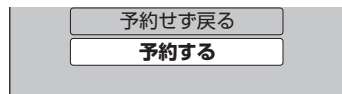
放送予定の番組を予約します。
予約した番組が始まると、そのチャンネルに切り換わります。

1 **▼▲◀▶で予約したい番組を選び、(決定) を押す**

2 **▶で「詳細予約」を選び、(決定) を押す**

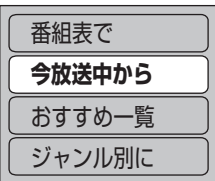
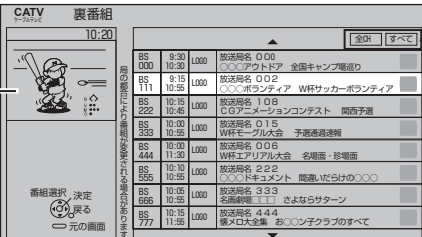
3 **▼で「予約方式」を選び、◀で「見るだけ」を選ぶ**

4 **▼で「予約する」を選び、(決定) を押す**

予約せず戻る
予約する

予約時刻になると、予約した番組が映ります。

お知らせ
● 電源を「切」にしている場合、「見るだけ予約」は無効になります。

番組表をお使いになるために…

本機は電源を切っていても、定期的に放送局からの番組情報などを更新しています。電源を切るときは、電源プラグをコンセントから抜かないで、本体またはリモコンの電源ボタンでお切りください。

お知らせ
● **地上デジタル放送の番組表について**
受信可能な放送局で番組表が表示されない場合は、その局を選んで、決定ボタンを押すと表示されます。(数分かかることがあります。)
● チャンネル番号入力ボタンを押して数字ボタンで3桁のチャンネル番号を入力すれば、指定したチャンネルが表示されます。

お好みの番組を探す

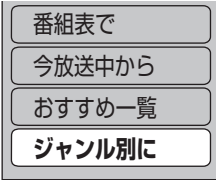
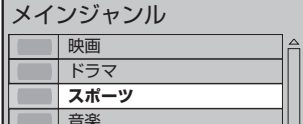
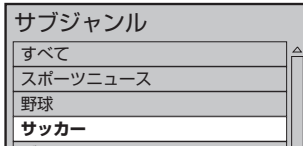
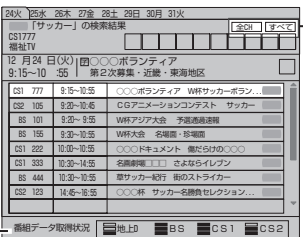
今放送中の番組から探す

操作するリモコンのボタン位置（☞11ページ）

1 操作一覧 を押す

2 ▼▲で「番組を探す」を選び、決定 を押す

3 ▼で「今放送中から」を選び、決定 を押す

4 ▼▲で裏番組一覧表から番組を選び、決定 を押す

全CH
表示CH
すべて
表示内容

選んだ番組が映る

■別の放送の裏番組を見たいとき

→ 地上 BS CATV で切り換える

5 戻る を押す

→裏番組一覧表が消え、選んだ番組が映ります。

ジャンル別に探す

映画やスポーツなどジャンル別で探します。
（項目は一定ではありません）

1 左記手順１．２のあと
▼▲で「ジャンル別に」を選び、決定 を押す

2 ▼でメインジャンルを選び、決定 を押す

3 ▼でサブジャンルを選び、決定 を押す

→条件に合った当日の全番組を表示します。

4 ▼▲で番組を選び、決定 を押す

全CH
表示CH
すべて
表示内容

番組データ取得状況の目安
●検索できる番組数は各放送の番組データの取得状況によって変わります。

選んだ番組の内容を表示

今すぐ見る　かんたん予約　詳細予約

番組を見たいとき（☞19ページ）
番組を録画したいとき（☞28ページ）

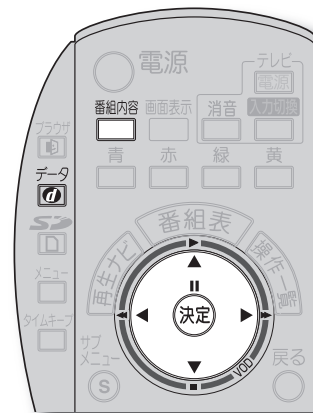
●別の日の番組を探すとき
・前日：青ボタン
・翌日：赤ボタン

お知らせ

●手順４で サブメニュー S を押すと「サブメニュー」画面が表示され「表示CH」と「表示内容」を変更することができます。

●「今放送中の番組から探す」の手順３で「番組表で」を選ぶと、番組表が表示されます。（☞19ページ）

データ放送を見る

■データ放送の番組では…

お住まいの地域の天気予報やテレビ放送やラジオ放送に連動した情報※を閲覧したり、電話回線を使用して視聴者参加番組、ショッピング、チケット購入などの双方向(インタラクティブ)サービスを利用することができます。

デジタル放送を見ているときに…

1 データ [d] **を押す**

●データ放送を行っていない番組もあります。

<画面イメージ>

●情報が多いときは、表示に時間がかかります。

2 **▼▲◀▶で見たい項目を選び、(決定)を押す**

●番組によりカラーボタンなどを使った専用の選択画面や数字入力画面が表示されます。その指示に従ってください。
●お好みページへの登録の案内が表示されることがあります。(使いかた☞61ページ)

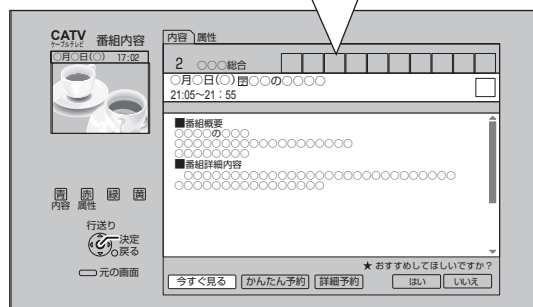
■テレビ放送に戻るとき

データ [d] **を押す**

データ放送のある番組か確認するとき

デジタル放送を見ているときに…

1 番組内容 [ ] **を押す**

●下記のアイコンが表示された番組はデータ放送があります。
(アイコンが表示されない番組もあります)

2 **確認したら、再度** 番組内容 [ ] **を押す**

→番組内容画面が消え、テレビ放送に戻ります。

お知らせ

●データ放送では、本機に接続の電話回線で通信を行う場合があります。通信中は電源ボタン以外は操作できなくなる場合があります。
●本機が電話回線を使用中(TELランプが点灯☞8ページ)には、同じ回線に接続した電話機などは使用できません。
●データ放送のみを行う専用チャンネルがあります。(通常の選局操作でご覧になれます。)

※テレビやラジオの番組によっては、連動した情報がない場合があります。

おすすめ番組を見る

■おすすめ番組機能とは

番組の視聴や予約操作から… / 番組内容画面から番組の好みを登録[※1]すると… / 番組に関連する語句の登録[※2]をすると…	▶ 本機がお客様の好みを学習	▶ おすすめ番組を画面に通知 / ▶ おすすめ番組を一覧で表示

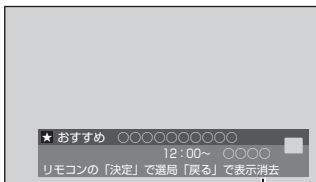
※１　☞23ページ「お好みの番組を登録する」
※２　☞59ページ「おすすめ語句を登録する」

通知されたおすすめ番組を見る

おすすめ番組を通知させるには、「おすすめ番組機能を使う」の設定を「オン」にしてください。(☞58ページ)

1 おすすめ通知の表示中に
 を押す

おすすめ通知

2 おすすめ番組の紹介を表示中に
(決定) を押す

おすすめ番組の紹介

おすすめ番組に切り換わります。

おすすめ番組を一覧で見る

1 (操作一覧) を押す

2 ▼▲で「番組を探す」を選び、
(決定) を押す

CATV ケーブルテレビ　操作一覧
番組を探す
予約する
機器を操作する
情報を見る
設定する

3 ▼▲で「おすすめ一覧」を選び、
 を押す

最大20番組表示できます。

4 ▼▲で番組を選び、(決定) を押す
→選んだ番組の内容を表示します。

- 番組を見たいとき
（☞19ページ「今すぐ番組を見る」手順2）
- 番組を録画したいとき
（☞28ページ手順3）
- おすすめ学習をするとき
（☞23ページ「お好みの番組を登録する」）

（終わったら、元の画面 を押す）

お知らせ
- 「画面表示」ボタンを押しても通知の確認ができます。
- 「戻る」ボタンを押すとおすすめ通知が消えます。一度、押すと再表示されません。

<操作ボタンの位置>

● 地上 BS CATV で放送ごとのおすすめ番組を表示。

サブメニュー S を押すと表示範囲を変更できます。

「時間順」、「おすすめ順」
「全CH」、「地上D」、「BS」、「CATV」

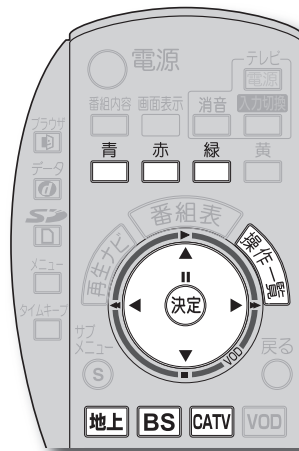
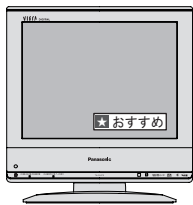
日付　選択中の番組紹介

おすすめアイコン

おすすめ理由
定番(よく見る番組)、
「ジャンル」など

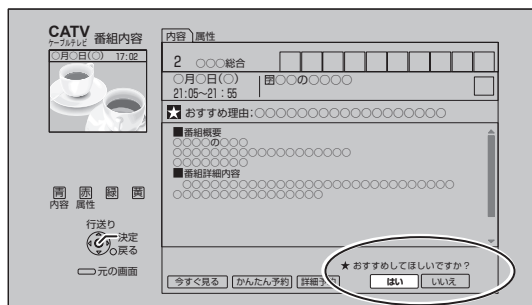
おすすめ番組(選択中の番組は黄色)

● 青 で前日の番組を表示します。

● 赤 で翌日の番組を表示します。

● 緑 を押すごとに…
時間順↔おすすめ順に切り換わる。

お好みの番組を登録する

番組内容画面(☞14ページ)から番組のお好みを登録することができます。

1 **「★おすすめしてほしいですか？」の項目で◀を押して「はい」を選び、**
決定 を押す

「あなたの好みを学習しました」と表示後、番組内容画面に戻ります。

●「いいえ」を選ぶと、このような番組はおすすめしません。

お知らせ

●おすすめ番組の通知数やおすすめして欲しい放送など、各種おすすめ機能の設定を行うことができます。(☞58ページ)

見ている番組を録画する

録画する

録画 ● を押す

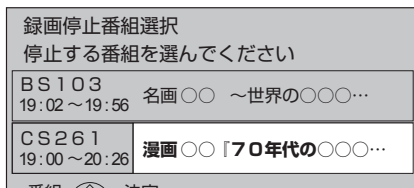
→録画がスタートして本体前面表示部の「録画」が点灯表示します。

● **あらかじめ録画終了時刻設定(☞30ページ)を「番組終了まで」にしておくと番組終了後、自動的に録画を停止します。**

● 現在放送中の他の番組を録画するときは、録画したい番組を選んで録画ボタンを押してください。

録画を停止する

1 停止■ を押す

2 ▼で停止する番組を選び、決定 を押す

3 ◀で「はい」を選び、決定 を押す

● **本体前面にある、「録画」ボタンや「停止」ボタンでも、見ている番組を録画・停止することができます。**(☞8ページ)
録画を停止する場合は、「停止」ボタンを押すと、録画停止の確認画面を表示します。
もう一度「停止」ボタンを押してください。

再生する

再生▶ を押す

● 最後に録画した番組が再生されます。
● 停止や早送りなど再生中の操作は33ページをご覧ください。

2番組を同時に録画する

1 チャンネル∧∨ または、1 ～ 12 で

録画したい番組を選ぶ

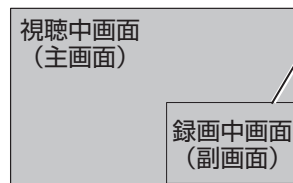
2 録画 ● を押す

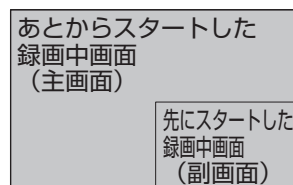
→録画がスタートして本体前面表示部の「録画」が点灯表示します。

3 手順1．2を繰り返して、2つ目の番組を選ぶ

→本体前面表示部の W が点灯し、2番組同時に録画を開始します。

録画中に画面を2画面で表示する

■番組を見ながら、録画しているときに 2画面 を押すと

録画中画面を表示
（視聴中画面を副画面として表示することはできません。）

■2番組を同時に録画しているときに 2画面 を押すと

・主画面と副画面の入れ換えはできません。
・ハードディスク以外の録画ではあとからスタートした録画中画面を副画面に表示します。

お知らせ

●ハードディスクを使った番組の録画時間について
地上・BS・CATVデジタル放送番組などの放送信号をそのまま録画しますのでハイビジョン放送は、高画質な映像で録画できます。
ハイビジョン放送 ： 最大約23時間、標準放送 ： 最大約69時間
※番組によっては、録画時間が短くなる場合があります。
●本機は録画しながら、すでに録画した番組を再生することができます。

番組を途中で停止し、あとで続きを見る タイムキープ

番組を見ているときに来客があったり、用事ができたときなどに一旦画面を停止させ（自動で録画開始）、あとで続きを見ることができます。（この機能をタイムキープといいます。）

1 タイムキープ を押す

→画面が一時停止して、録画がはじまります。

最大30分間の一時録画をします。

■停止画面から続きを見る

1 再生▶ を押す

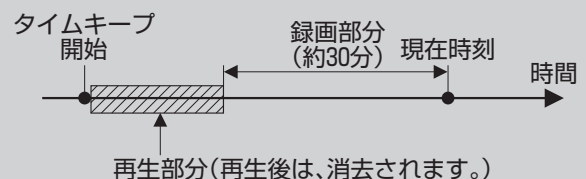
● 停止画面からの続きを再生します。
● 再生中は、早送りや30秒スキップなどの特殊再生ができます。（☞33ページ）

2 タイムキープを終了するとき 停止■ を押す

→停止確認画面を表示します。

3 ◀で「はい」を選び、決定 を押す

● 録画した内容が消去され、視聴画面に戻ります。

タイムキープを開始して30分を超えると、自動的に再生を開始し、再生しながら続きを録画していきます。
再生部分は消去されますので、現在時刻からさかのぼって30分間分のみ録画されています。

お知らせ

● タイムキープは、一時記録であり、ハードディスクに録画番組は残りません。タイムキープを終了すると、再度再生することはできません。

録画予約する

録画予約の前に

正しく録画するために

- **放送中または、開始直前の番組を録画予約した場合**
  →録画機器は、電源「入」後、録画可能になるまで数10秒の時間が必要です。（当社製品での一例）
  - ビデオデッキ：約15秒
  - DVDレコーダー：約90秒
- 番組にコピーガードがかかっている場合は、正しく録画されません。
- 年齢制限を設定しているときは、暗証番号を入力しないと録画されません。

録画中のご注意

- 前の録画予約の終了時間と次の予約の開始時間が同じ場合、次の予約の録画準備のため、前の予約の録画が10秒～20秒早く終了しますのでご注意ください。
- 2番組同時録画中は、操作できなくなるボタンがあります。録画を中止したい場合は、「停止」ボタンを押してください。
- 録画時にHDDの空き容量が十分でない場合に、自動上書き機能を有効にすると、プロテクト（上書き禁止）がされていない録画番組は自動的に消去されることがあります。

「探して毎回」予約時の注意（☞28ページ）

- 「探して毎回予約」は最大20件まで設定できます。
- 番組単位で購入できる有料番組（PPV）の予約はできません。
- 探して毎回予約の取り消しは、「予約一覧」と「探して毎回予約一覧」の両方で行う必要があります。（☞31ページ）
- 番組タイトルが極端に短い場合は設定できない場合があります。（🄽、🈗などの場合は設定できません）
- 番組名が前回と大きく異なる場合は、次回の放送を検索できないことがあります。
- １つの「探して毎回予約」からは同じ番組が1日に連続して複数回放送される場合、1日に7回まで予約設定されます。
- 番組の間隔が10分以上離れている場合は、連続番組として予約設定されません。
- 録画機器の状態により次回の予約が登録されなかったり実行できない場合があります。（ダビング中、起動／終了処理中など）
- 次回の予約が設定されるまで、最大1日かかる場合があります。
- 次回の放送開始時間が90分以上前後した場合は予約設定されないことがあります。
- Irシステムのタイマー予約の場合、録画機器によっては次回の予約設定時に予約設定画面が表示されたり、再生が中断する場合があります。

録画予約後のエラーメッセージ

メッセージ	内容
予約できません。	●契約が必要なチャンネルです。 ご加入のケーブルテレビ局に問い合わせて、契約を行ってください。 ●過去の時間帯を予約しようとした場合にも表示されます。
予約がいっぱいです。 予約を削除してから やり直してください。	●予約は50件までです。 予約一覧で不要な予約を取り消してください。（☞31ページ）
予約が完了しました。 予約が重複しています。 予約が実行されない場合があります。	●予約の重複とは、下記の場合です。 HDDでの予約… 予約した時刻にすでに2つの予約がある場合 Irでの予約…… 予約した時刻にすでに2つの予約がある場合または、Irの予約がある場合 →そのまま実行すると、次のように録画されます。 ▭ 部分は録画されません。 ●放送開始の早い番組を優先 先に始まる番組 開始 終了 後から始まる番組 開始 終了 ●開始時刻が同じ場合 ペイ・パー・ビュー（有料番組）を優先 ペイ・パー・ビュー番組 開始 終了 ペイ・パー・ビュー以外の番組 開始 終了 ●上記以外の場合は、予約一覧の順に録画します。

日時を指定して録画予約する

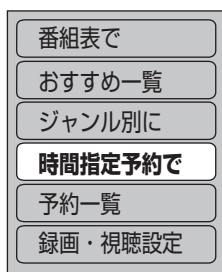
操作するリモコンのボタン位置（☞11ページ）

1 を押す

2 ▼で「予約する」を選び、(決定) を押す

CATV ケーブルテレビ 操作一覧
- 番組を探す
- **予約する**
- 機器を操作する
- 情報を見る
- 設定する

3 ▼で「時間指定予約で」を選び、(決定) を押す

- 番組表で
- おすすめ一覧
- ジャンル別に
- **時間指定予約で**
- 予約一覧
- 録画・視聴設定

●設定が有効でない項目は、灰色表示になります。

●「番組表で」を選ぶと、番組表が表示されます。（☞18ページ）
●「おすすめ一覧」を選ぶと、おすすめ一覧が表示されます。（☞22ページ）
●「ジャンル別に」を選ぶと、メインジャンルが表示されます。（☞20ページ）

自動更新について

毎日、毎週などの連続予約を設定時、自動更新を「入」にすると連続予約で録画した古い番組を消去して新しい番組を録画します。ハードディスクには常に最新の番組のみが録画されています。（☞手順4の⑨）

お知らせ
● 番組追従や録画の終了時間設定など予約の詳細設定（☞29、30ページ）
● 録画予約の確認、変更、取り消し（☞31ページ）

4 ▼▲で項目を選び、◀▶で設定する

項目		設定	
予約方式		見るだけ　録画	①
放送種別		BS	②
予約チャンネル		200	③
曜日／日		12月18日（火）	④
開始時刻	12月18日	20：00	⑤
終了時刻	12月18日	21：00	⑤
録画機器		Ｉｒ（連動）	⑥
録画モード		－－	⑦
信号設定		音声：主+副	⑧
その他の設定			⑨
予約せず戻る			

①「見るだけ」か「録画」を選ぶ
②放送種別を選ぶ
③チャンネルを選ぶ
④曜日／日を選ぶ（毎日･毎週などの連続予約）（青ボタンと赤ボタンでも切り換わります）

日付指定（1カ月先まで）↔ 毎日 ↔ 毎週（月～土）
↕　↕
毎週（日）～毎週（土） ↔ 毎週（月～金）

⑤開始･終了時刻を選ぶ
⑥録画機器を選ぶ（詳しくは☞37～41ページ）
⑦録画モードを選ぶ（詳しくは☞37、39、41ページ）
⑧「二重音声」の設定内容を表示（二重音声の番組のみ有効）（変更は信号設定☞29ページ）
⑨以下の項目の設定を変更できます。

その他の設定		
マルチビュー録画	オフ	オン
サイドカット	する	しない
プロテクト設定	する	しない
自動更新	入	切

自動更新 ―（左記）

●マルチビュー録画、サイドカット、プロテクト設定については29ページ右側の手順3をご覧ください。
●DVDレコーダーで録画時の番組タイトル情報については（☞87ページ）

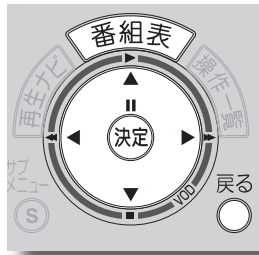
5 ▼で「予約する」を選び、(決定) を押す

- その他の設定
- 予約せず戻る
- **予約する**

● 確認画面（またはエラー画面）が出た場合には、表示内容を確認し操作してください。
● タイマー予約時の「再送信」は録画機器がタイマー予約状態にならなかった場合に、行ってください。
● 暗証番号入力画面が表示された場合は暗証番号を入力してください。（☞57ページ）

● **設定中、**(戻る) で1つ前の画面に戻ります。　● **設定後は、**元の画面 でテレビ放送の画面に戻します。

番組表から録画予約する

1 番組表 を押す

2 ▼▲◀▶で番組表から、録画したい番組を選び、決定 を押す

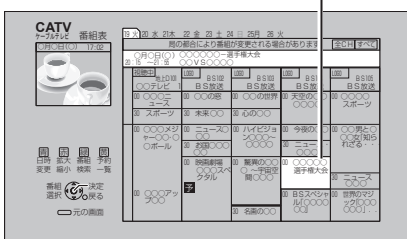
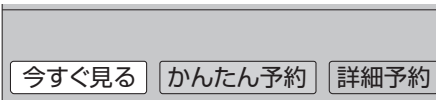
→番組内容と選択ボタンが表示されます。

● 視聴制限の番組で暗証番号入力画面が表示された場合は、暗証番号を入力してください。(☞57ページ)

例：選んでいる番組が黄色になる

<番組表>

●放送中の番組のとき

今すぐ見る　かんたん予約　詳細予約

●放送予定の番組のとき

■詳細な設定をしないで予約するとき

→「かんたん予約」(下記手順3へ)

■詳細な設定を行って予約するとき

→「詳細設定」(☞右記、29～30ページ)

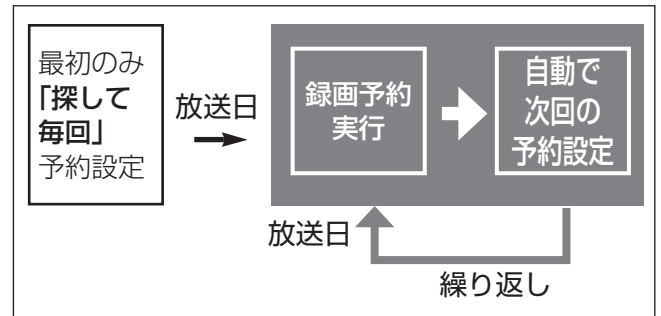
3 ◀▶で「かんたん予約」を選び、決定 を押す

これで、内蔵ハードディスクへの録画予約が完了です。

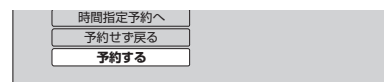
「探して毎回」予約機能を使った予約をする

探して毎回予約は

放送日や放送時間が一定でないシリーズ物の番組を一度、「探して毎回予約」を「する」に設定すると、次回以降の放送は本機が自動的に毎回、予約設定します。

(番組表データの放送チャンネル・時間帯・番組名などから次回の放送を自動検索)

1 左記手順1．2で録画する番組を選んだあと◀▶で「詳細予約」を選び、決定 を押す

2 ▼で「探して毎回」を選び、◀で「する」を設定し、▼で「録画機器」を選び、◀で「HDD」に設定する

3 ▼で「予約する」を選び、決定 を押す

これで、予約完了です。

26ページの予約時の注意をご覧ください。

録画予約の詳細設定

複数の映像や音声がある番組のとき（外部録画機器で録画するとき）

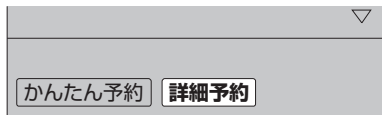
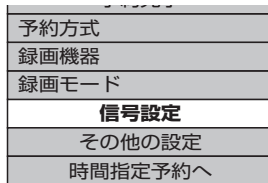
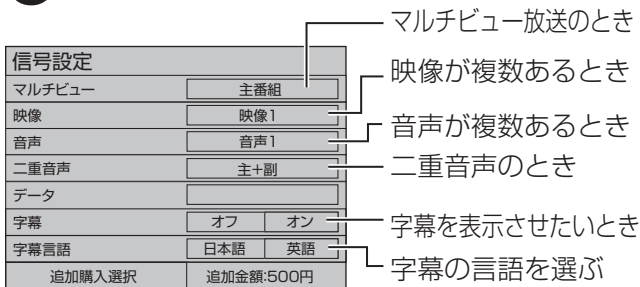
マルチビュー放送や複数の映像、二重音声、字幕などがある番組ではそれぞれ指定して録画することができます。
（本機やデジタル録画に対応した外部機器では、本設定を行わなくても、録画した機器側で必要に応じた再生ができます。）

1 28ページ手順1．2で録画する番組を選んだあと

◀▶で「詳細予約」を選び、(決定) を押す

▽
かんたん予約 | **詳細予約**

2 **▼で「信号設定」を選び、(決定) を押す**

予約方式
録画機器
録画モード
信号設定
その他の設定
時間指定予約へ

3 **▼▲で項目を選び、◀▶で設定する**

● 表示される項目と設定内容は番組によって変わります。

■番組の中に購入が必要な信号があるとき

▲▼で「追加購入選択」を選び、「決定」ボタンを押すと、追加購入画面が表示され、追加購入する信号を選びます。

4 戻る **を押し、▼で「予約する」を選び、**

(決定) を押す（☞27、28ページ）

その他の設定を行うとき

以下の詳細設定を行うことができます。
●番組追従
●予約時間の微調整
●マルチビュー番組を録画
●画面のサイドカット
●録画番組のプロテクト設定

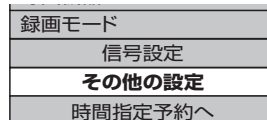
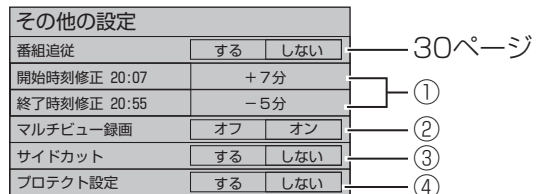
1 28ページ手順1．2で録画する番組を選んだあと

◀▶で「詳細予約」を選び、(決定) を押す

2 **▼で「その他の設定」を選び、(決定) を押す**

録画モード
信号設定
その他の設定
時間指定予約へ

3 **▼▲で項目を選び、◀▶で設定する**

その他の設定			
番組追従	する	しない	30ページ
開始時刻修正 20:07	＋7分		①
終了時刻修正 20:55	－5分		①
マルチビュー録画	オフ	オン	②
サイドカット	する	しない	③
プロテクト設定	する	しない	④

①予約時刻を微調整する
（開始時刻：－1分まで、終了時刻：＋1分まで）
※開始時刻～終了時刻が7分以上必要です。

②マルチビュー番組のとき
●すべての信号を録画する→「オン」
●信号設定した信号だけを録画する→「オフ」（内蔵ハードディスクへの録画時、i.LINK対応機器での録画時）

③サイドカット
「する」に設定すると、ハイビジョン放送の場合、左右両端を切り取った映像に変換して出力されます。

④録画番組のプロテクト設定
「する」に設定すると、自動上書き機能で上書きがされません。工場出荷時は「しない」に設定されています。

録画予約の詳細設定

番組追従（番組の放送時刻変更に合わせて予約時間を自動で変更する）

1 29ページ手順3の画面のとき

▼で「番組追従」を選び、◀で「する」を選ぶ

その他の設定		
番組追従	**する**	しない
開始時刻修正 20:07	＋7分	
終了時刻修正 20:55	－5分	
マルチビュー録画	オフ	オン
サイドカット	する	しない

する　番組の放送時刻変更に合わせて予約も自動で変更したいとき（局からの情報があるときのみ3時間まで追従）

しない　番組の放送時刻変更に関係なく最初の予約完了時刻で予約を実行したいとき（予約設定時間内に番組が始まらない場合、予約は実行されません。）

2 戻る を押し、▼で「予約する」を選び、決定 を押す（☞27、28ページ）

お知らせ

- 番組追従で予約時間が変更された場合、別の予約番組と重複する場合があります。
- 番組追従を「する」に設定されていても、放送局から送られてくる番組情報によっては録画予約が実行されない場合があります。
- 番組追従は時間指定予約時またはタイマー予約時には、はたらきません。

あらかじめ予約の設定を登録しておくとき

以下の詳細設定を行うことができます。
- 番組追従
- マルチビュー番組を録画
- 自動上書き
- 録画終了時刻

1 27ページ手順1．2のあと

▼▲で「録画・視聴設定」を選び、決定 を押す

時間指定予約で
予約一覧
録画・視聴設定

2 **▼▲で項目を選び、◀▶で設定する**

録画･視聴設定			
番組追従	する	しない	①
マルチビュー録画	オフ	オン	②
自動上書き	する	しない	③
録画終了時刻	番組終了まで		④

① **放送時間が変わったとき**
予約も自動で変更したいとき→「する」
（詳しくは左記参照）
※「タイマー予約」「時間指定予約」時は、はたらきません。

② **マルチビュー番組のとき**
- すべての信号を録画する→「オン」
- 信号設定で設定した信号だけを録画する→「オフ」（内蔵ハードディスクへの録画、i.LINK対応機器での録画）

③ **内蔵ハードディスクへの自動上書き機能の設定**
- 自動上書きを有効にしたいとき→「する」
- 自動上書きを無効にしたいとき→「しない」

④ **放送中の番組を録画するとき**
録画ボタンを押して録画する場合（☞24ページ）、番組が終了すると自動で録画停止します。
- 番組が終了すると録画停止する→「番組終了まで」
- 自動終了を設定しない→「指定なし」

- 「番組終了まで」を設定した場合、録画開始時に、番組情報が取得できないときは、録画をすることができません。
- 「番組終了まで」に設定されていないときは、番組が終了しても「停止」ボタンを押すまで録画状態が続きます。

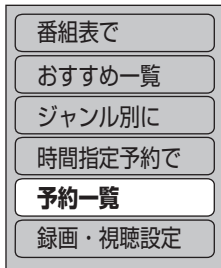
録画予約の確認・変更・取り消し

操作するリモコンのボタン位置（☞11ページ）

1

を押す

2 ▼▲で「予約する」を選び、(決定) を押す

3 ▼▲で「予約一覧」を選び、(決定) を押す

4 ▼▲で確認・変更・取り消したい番組を選び、(決定) を押す

予約の状態をアイコン表示
（詳しくは☞101ページ）

<予約一覧>

予約 | 探して毎回★

CS1 777	12月12日(水) 9:15~10:55	○○○ボランティア W杯サッカーボランティア	
CS2 105	12月12日(水) 10:15~10:45	ＣＧアニメーションコンテスト　関西予選	
BS 101	12月12日(水) 9:03~ 9:55	W杯モーグル大会　予選通過速報	
BS 155	12月12日(水) 9:15~ 9:55	W杯エアリアル大会　名場面・珍場面	
CS1 222	12月12日(水) 10:30~10:55	○○○ドキュメント　間違いだらけの○○○	

- 実行前の予約と実行済みの予約が、それぞれ50件、最大で100件まで表示されます。
- 探して毎回予約の取り消しは、この「予約一覧」と「探して毎回予約一覧」の両方で行う必要があります。「予約一覧」で赤ボタンを押すと、「探して毎回予約一覧」が表示されます。（探して毎回予約　☞28ページ）

5 予約内容や実行結果をパネル表示

設定変更	取り消し

例：実行前の予約を選んだとき

■実行前の予約は
「設定変更」「取り消し」を選んで決定すると、予約の変更や取り消しができます。
（変更時は画面上で内容を修正してから「修正する」を選び決定すると、変更内容が確定します）

「タイマー予約」の変更、取り消しは、録画機器側でも行ってください。

■実行中の予約は
実行を中止するときは「停止」ボタンを押すか、予約一覧から取り消してください。

■実行済みの予約は
「履歴削除」を選んで決定すると、一覧から削除ができます。

番組表で予約済みの番組を選んで「決定」ボタンを押すと「設定変更」「予約削除」を選べます。

録画した番組を見る 再生ナビ

本機に録画(保存)した番組は、再生ナビ(録画番組一覧)から選んで再生を行います。
再生ナビでは録画した番組の再生、消去、番組名編集、ダビングなどを行うことができます。

を押す

再生ナビは、HDD(内蔵ハードディスク)に録画した番組を一覧表示します。(録画開始時刻の古いものから順に表示)

<再生ナビ画面>

録画した番組を再生する

▼▲で見たい番組を選び、(決定) または 再生▶ を押す

選んだ番組を再生します。

● 視聴制限が設定されている番組の場合は、暗証番号入力画面が表示されます。

前回、見ていた番組の途中から再生する

を押す

前回、番組を見ていた地点(停止させた場面)から再生します。

お知らせ

● プロテクト設定(上書き禁止)がされていない録画番組は、HDDの空き容量が十分でない場合、自動上書き設定(☞30ページ)を「する」に設定していると自動的に消去されることがあります。
プロテクト設定の変更は(☞34ページ)

● (操作一覧)→「機器を操作する」→「HDD」で再生ナビ画面を表示させることもできます。

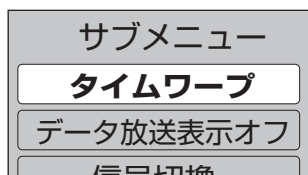
再生中に再生開始位置を設定する

1 サブメニュー Ⓢ を押す

2 ▼▲で「タイムワープ」を選び、(決定) を押す

サブメニュー
タイムワープ
データ放送表示オフ
信号切換

3 ◀▶でタイムワープ(再生開始位置)を設定し、(決定) を押す

タイムワープ ＋15分

「－180分～－1分、1分～180分」

設定した位置より再生します。

●録画番組の再生中のみ番組の時間内で設定ができます。
●◀▶の長押しで15分単位で切り換わります。

再生中の操作

操作内容	操作ボタン
再生	再生▶ ● 再生中に押すと、再生速度が変わります。(通常再生→1.3倍速→0.8倍速)
一時停止	一時停止Ⅱ ● 番組の再生を一時停止します。 ● 再生▶または一時停止Ⅱで再生を再開します。
停止	停止■ 番組の再生を停止します。 ● 停止中に再生▶で再度再生します。
早送り 早戻し	サーチ/スロー ◀◀ ▶▶ ● 押すごとに、速度が速くなります。(5段階) ● 再生▶で通常再生に戻ります。
スロー 再生	サーチ/スロー ◀◀ ▶▶ (一時停止中に) ● 押すごとに、速度が速くなります。(5段階) ● 再生▶で通常再生に戻ります。
スキップ 再生	スキップ ⏮ ⏭ (再生中または一時停止中に) ● 押した回数だけ番組や場面を飛び越して再生します。
30秒先へ スキップ 再生	30秒スキップ ●1回押すごとに、約30秒飛び越して再生します。
30秒逆へ スキップ 再生	30秒スキップ (長押し) ●約30秒戻って再生します。

本体前面にある、「再生」ボタンや「停止」ボタンでも録画番組の再生や停止ができます。(☞8ページ)

録画した番組を消去・設定を変更する 再生ナビ

録画した番組を消去する

1 32ページの再生ナビ画面を表示させ
▼▲で操作したい番組を選び、サブメニュー Ⓢ を押す

録画日時				CH	番組名
	07/12/24	(土)	14：10	地D 111	金曜○○○○○
	07/12/24	(日)	14：10	BS 123	ビューティー○○○○○
	08/01/10	(日)	14：10	地D 017	サンデー○○○○○
	08/01/12	(月)	14：10	BS 200	今日の○○○○○
	08/01/13	(火)	11：10	地D107	コーヒーブレイク『○○○○○. . . 。』

2 **▼▲で「番組消去」を選び、決定 を押す**

3 **◀で「はい」を選び、決定 を押す**

録画した番組の上書き禁止を設定する

1 32ページの再生ナビ画面を表示させ
▼▲で操作したい番組を選び、サブメニュー Ⓢ を押す

録画日時				CH	番組名
	07/12/24	(土)	14：10	地D 111	金曜○○○○○
	07/12/24	(日)	14：10	BS 123	ビューティー○○○○○
	08/01/10	(日)	14：10	地D 017	サンデー○○○○○
	08/01/12	(月)	14：10	BS 200	今日の○○○○○
	08/01/13	(火)	11：10	地D107	コーヒーブレイク『○○○○○. . . 。』

録画番組情報（☞ 32 ページ）

2 **▼▲で「プロテクト設定変更」を選び、決定 を押す**

プロテクト設定が変更されます。
例：上書き禁止の設定がされると、上書きが禁止になり、録画番組情報に（プロテクト設定）のアイコンが表示されます。

録画した番組名を編集する

1 32ページの再生ナビ画面を表示させ
▼▲で操作したい番組を選び、サブメニュー Ⓢ を押す

録画日時				CH	番組名
	07/12/24	(土)	14：10	地D 111	金曜○○○○○
	07/12/24	(日)	14：10	BS 123	ビューティー○○○○○
	08/01/10	(日)	14：10	地D 017	サンデー○○○○○
	08/01/12	(月)	14：10	BS 200	今日の○○○○○
	08/01/13	(火)	11：10	地D107	コーヒーブレイク『○○○○○. . . 。』

2 **▼▲で「番組名編集」を選び、決定 を押す**

3 **番組名を入力する**

● 文字の入力方法は（☞50～53ページ）

4 **▼◀で「変更する」を選び、決定 を押す**

他の録画機器にダビングする

録画機器をi.LINK接続したとき

本機と録画機器をi.LINK接続してダビングする場合、本機側でダビング操作を行います。
（i.LINK接続について ☞84ページ）

1 32ページの再生ナビ画面を表示させ
▼▲で操作したい番組を選び、サブメニュー Ⓢ を押す

	録画日時		CH	番組名
	07/12/24	(土) 14：10	地D 111	金曜○○○○○
	07/12/24	(日) 14：10	BS 123	ビューティー○○○○○
	08/01/10	(日) 14：10	地D 017	サンデー○○○○○
	08/01/12	(月) 14：10	BS 200	今日の○○○○○
	08/01/13	(火) 11：10	地D107	コーヒーブレイク「○○○○○. . . 」

2 **▼▲で「ダビング」を選び、決定 を押す**

サブメニュー
- 番組消去
- **ダビング**
- 番組名編集
- プロテクト設定変更

3 **▶で録画する機器を選ぶ**

ダビング
《番組名》
○○名画の世界○○○…
ダビング可能回数：○回
ご注意：ダビング中は外部機器に録画ができません。
録画機器　D—VHS1

i.LINK接続設定（☞84ページ）で「使用」を「する」にした機器を表示（2台まで）

4 **▼◀で「ダビング開始」を選び、決定 を押す**

ダビング
《番組名》
○○番組名世界○○○…
ダビング可能回数：○回
ご注意：ダビング中は外部機器に録画ができません。
録画機器　D—VHS1
ダビング開始　ダビングしない

1回になると本機に保存された元の番組は削除されます。

ダビング実行確認画面を表示します。
（コピーが可能な録画番組ではダビング実行確認がなくダビングが開始されます。）

- 1回のみデジタルコピーが可能な録画番組（コピーワンス）では、ダビングを開始すると本機に保存された元の番組は削除されます。
- ダビング先の録画機器の容量が満杯になると途中で中断されます。

5 **◀で「はい」を選び、決定 を押す**

「ダビングを開始します」のメッセージが表示され、ダビングを開始します。

- ダビングを中止するときは、「再生ナビ」ボタンを押すとダビング中止確認画面が表示されます。「はい」を選び、決定するとダビングは中止されます。
- ダビング中はIr録画、i.LINK録画など外部機器に録画ができません。

ダビング10について

本機と他の録画機器をデジタル接続した場合、本機のハードディスクで録画した番組を他の録画機器へ10回までダビングすることができます。
（コピー※1 9回 ＋ ムーブ※2 1回）

※1 **コピー**：
オリジナルを残したまま複製が可能。

※2 **ムーブ**：
録画した番組の保存場所を移動させること。
（他の録画機器に10回目のダビングをしたときその録画番組は本機から消去されます。）

- 地上デジタル放送はダビング10に対応していますが、全てのデジタル放送がダビング10に対応しているわけではありません。
- 直接外部機器に録画した場合、ダビング10は対応されません。

お知らせ

- 当社製ブルーレイディスクレコーダー／DVDレコーダー（ディーガ）でのダビング中にディーガを操作する、または重複するディーガ側の録画予約が開始するとダビングが失敗または中断する場合があります。

映像・音声コードで接続したとき

- コピーワンスの番組は、アナログでのダビングはできません。
- ダビング10の番組の場合、ダビング10の機能追加後はダビング（コピー）回数の制限なくダビングできます。（録画機器側でダビング操作を行ってください。）

外部機器に録画予約する

録画予約をする前に

- 本機と外部機器を接続するにはi.LINKやIrシステムなどいろいろな接続方法があります。
  ハイビジョン放送の録画は本機または、i.LINKの使用をお勧めします。それ以外の方法では、従来の地上アナログ放送と同等の画質になります。
- 有料番組(☞17ページ)の番組予約が実行された場合、視聴や録画をしなくても料金が請求されますので、十分にご注意ください。
- 地上デジタルやCSデジタル、CATVデジタルに対応していない録画機器では、予約時などに、放送(地上デジタルやCS、CATV)やチャンネル番号が正しく表示されない場合があります。(当社製NV-DH1／DHE10、NV-DH2／DHE20、NV-HVH1など)また、一部の機能で制限が発生する場合があります。
- ダビング10の運用開始は、2008年6月以降に予定されていますが、すべてのデジタル放送と番組がダビング10に対応しているわけではありません。
  また、デジタル録画機器により、録画、複製、移動ができないことがあります。 (2008年3月現在)

i.LINKで録画機器を接続のとき

i.LINKを使用する場合、接続する録画機器によっては動作しない場合があります。i.LINK接続する録画機器として、当社製ブルーレイディスクレコーダー／DVDレコーダー(ディーガ)をお勧めします。
(一部使用できない機種がありますので、詳細機種については下記サポートサイトでご確認ください。)
http://panasonic.biz/broad/catv-support/index.html (2008年8月現在)

Irシステムで外部機器を接続のとき

本機と外部機器をIrシステムで接続した場合、「連動予約」と「タイマー予約」の2通りの予約のしかたがあります。
(詳細は☞38、39ページ)

	外部機器への録画情報	番組の放送時間が変更になったとき	録画機器側の設定
連動予約	**番組が放送開始するときに**本機から外部機器へ録画情報を送る	変更時間に合わせて録画(番組追従設定※のとき)	あらかじめ設定が必要
タイマー予約	**予約設定した時点で**本機から外部機器へ録画情報を送る	変更前の時間で録画(予約時に録画情報を受けているため、予約時以降の変更はできません。)	設定は不要

※番組追従設定について(☞30ページ)

録画モードについて

- 録画機器の取扱説明書をご覧の上、録画機器で対応している録画モードを設定してください。
- 「機器側設定」を選んだときは、録画機器で設定してください。
- **HDD録画での録画モード表示について**
  予約設定画面で録画モード選択時に表示されるDR(21:00)とは、ダイレクトレコーディングの意味でデジタル放送をデジタル信号のままHDDに録画します。かっこ内は、ハイビジョン放送を録画できる時間の目安です。
- HDR(ハードディスクレコーダー:NV-HDR1000)の場合、標準はSP、3倍はLP、5倍はEPでMPEG-2エンコード録画します。

お知らせ

- 外部録画機器の取扱説明書もよくお読みください。
- 確認画面(またはエラー画面)が出た場合には、表示内容を確認し操作してください。

● **設定中、**戻る◯ で1つ前の画面に戻ります。
● **設定後は、**[元の画面] でテレビ放送の画面に戻します。

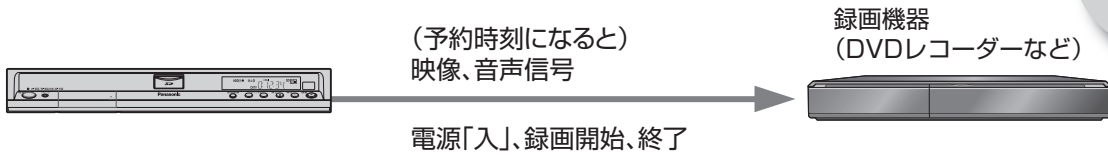
i.LINK

i.LINKで接続した外部機器に録画する

機器の接続と設定 84ページ

（予約時刻になると）
映像、音声信号

録画機器
（DVDレコーダーなど）

電源「入」、録画開始、終了

〈本機側の操作など〉 〈録画機器側の動作など〉

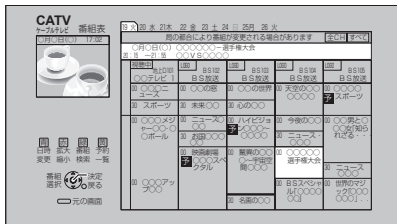
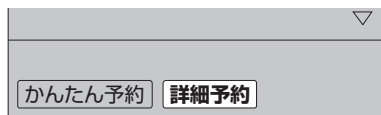
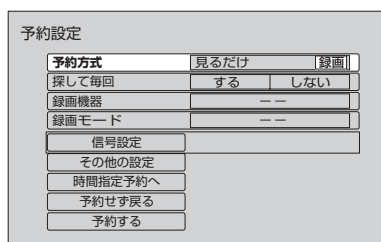
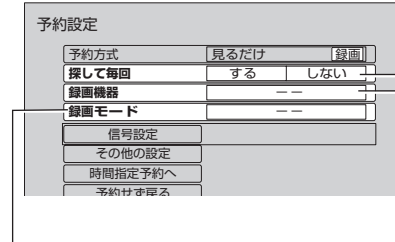
予約時刻になると
- ●i.LINKで電源「入／切」と録画開始信号が送られる（終了時刻に停止信号が送られる）
- ●予約した番組の映像と音声が出力される

電源が入り、録画が実行される（終了時刻に電源が切れる）

当社製ブルーレイディスクレコーダー/DVDレコーダー(ディーガ)でのi.LINK録画中に以下を実行するとi.LINK録画が失敗または中断する場合があります。
・i.LINK録画中にディーガを操作する
・重複するディーガ側の録画予約が開始する

1 [番組表] を押す

2 ▼▲◀▶で録画したい番組を選び、(決定) を押す

3 ▶で「詳細予約」を選び、(決定) を押す

4 ▼▲で「予約方式」を選び、▶で「録画」を選ぶ

5 ▼▲で項目を選び、◀▶で設定する

探して毎回予約を「する」「しない」を設定する

「D-VHS＊」「HDR＊」「AVHDD＊」から選ぶ

「標準」「3倍」「5倍」「自動※1」から選ぶ
AVHDD＊のときは、「DR(残量19:12)※2」に固定
（「5倍」に対応していない録画機器では「標準」で録画）

※1「自動」は高画質なモードを優先して録画します。
・デジタルハイビジョン放送→「HS」で録画
・デジタル標準テレビ放送→「STD」で録画
(放送局側の設定により変わることがあります)
・デジタル録画できない場合→録画機器で設定しているモードでアナログ録画

※2 接続機器により残量の表示が異なります。

当社製ブルーレイディスクレコーダー/DVDレコーダーのときは、「録画機器」を「D-VHS」、「録画モード」を「自動」に設定してください。

番組追従など詳細な予約設定をすることができます。(☞29、30ページ)

6 「予約する」を選び、(決定) を押す

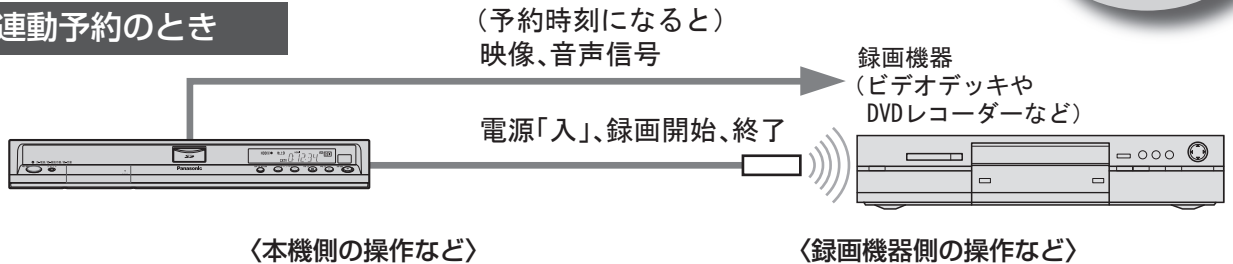
これで、**予約完了**です。

外部機器に録画予約する

Irシステム

Irシステムで接続した外部機器に録画する

機器の接続と設定
86ページ

連動予約のとき

	〈本機側の操作など〉	〈録画機器側の操作など〉
番組の予約操作	下記の手順に従って操作を行う	予約実行開始の3分前までに… ●テープやディスクを入れる ●本機から接続した外部入力に切り換える ●録画モードを設定する ●録画可能状態であることを確認し、リモコンで電源を切る （切らないと、録画開始できません）
予約時刻になると	●Irで電源「入／切」と録画開始信号が送られる （終了時刻に停止信号が送られる） ●予約した番組の映像と音声が出力される	電源が入り、録画が実行される （終了時刻に電源が切れる）

●連動予約はパナソニック、ビクター、東芝、三菱、三洋、シャープ、ソニー、日立、アイワ、NECのビデオデッキおよびパナソニック、パイオニア、三菱のDVDレコーダーのみ使用できます。
※一部、使用できない商品もあります。

1 番組表 を押す

2 ▼▲◀▶で録画したい番組を選び、決定 を押す

3 ▶で「詳細予約」を選び、決定 を押す

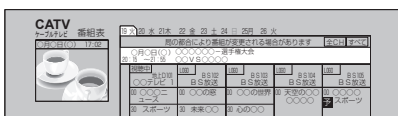
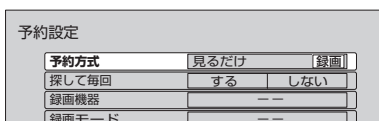
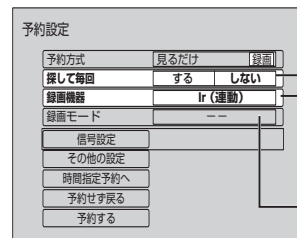
かんたん予約　**詳細予約**

4 ▼▲で「予約方式」を選び
▶で「録画」を選ぶ

5 ▼▲で項目を選び、◀▶で設定する

予約設定

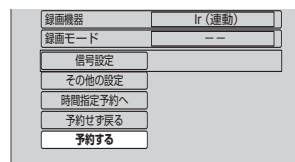
予約方式	見るだけ	録画
探して毎回	する	しない
録画機器	Ir（連動）	
録画モード	－－	

信号設定
その他の設定
時間指定予約へ
予約せず戻る
予約する

探して毎回予約を「する」「しない」を設定する

Ir（連動）を選ぶ

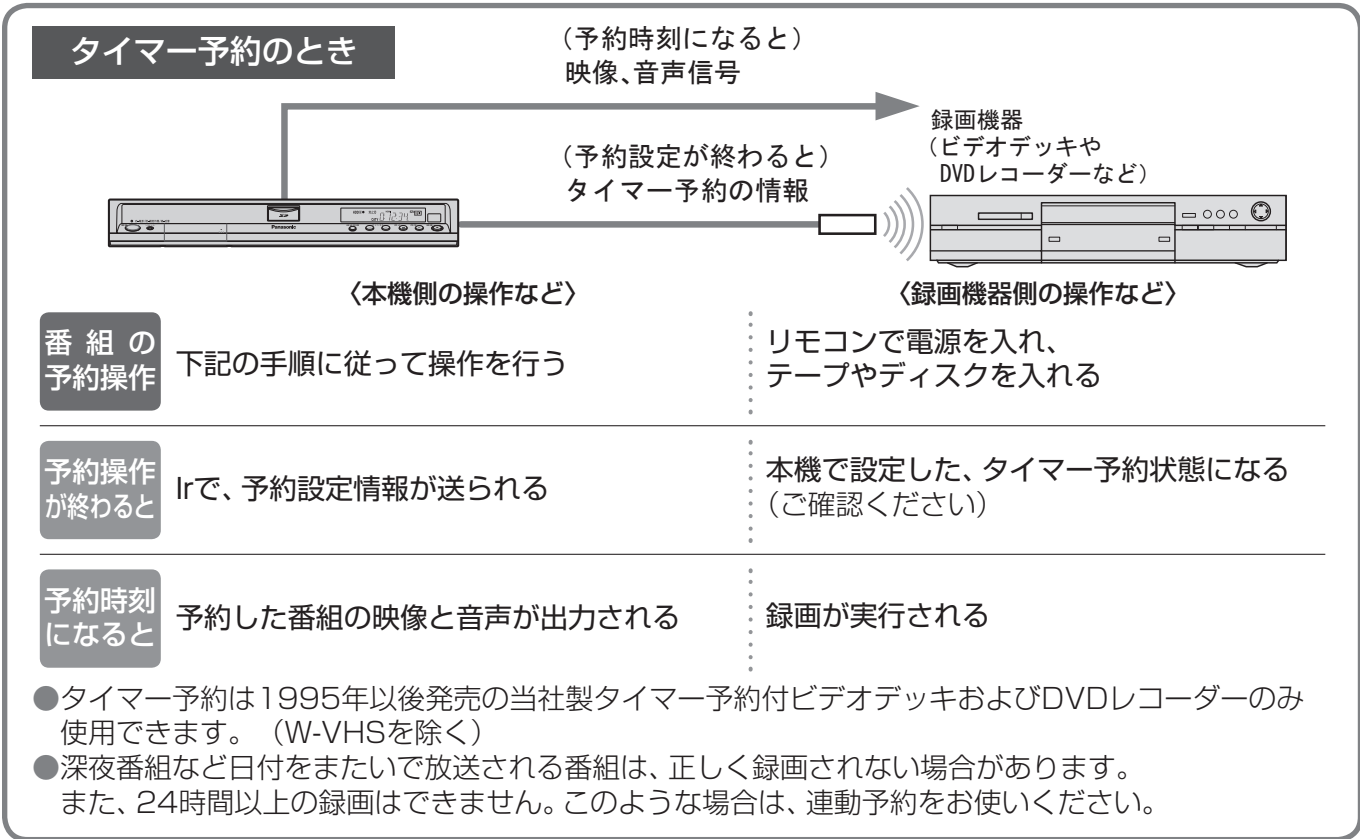
選べません
録画機器側で設定してください。

番組追従など詳細な予約設定をすることができます。（☞29、30ページ）

6 ▼で「予約する」を選び、決定 を押す

これで、**予約完了**です。

●DVDレコーダーで複数の録画予約を行う場合、番組の間隔が1分未満のときは、1つの番組として録画されることがあります。
●録画機器側でも準備操作が必要です。

● **設定中、**戻る ◯ で1つ前の画面に戻ります。
● **設定後は、**[元の画面] でテレビ放送の画面に戻します。

お願い タイマー予約と連動予約を混在させないでください。予約が実行されない場合があります。

●タイマー予約は1995年以後発売の当社製タイマー予約付ビデオデッキおよびDVDレコーダーのみ使用できます。（W-VHSを除く）
●深夜番組など日付をまたいで放送される番組は、正しく録画されない場合があります。
また、24時間以上の録画はできません。このような場合は、連動予約をお使いください。

1 [番組表] を押す

2 ▼▲◀▶で録画したい番組を選び、(決定) を押す

3 ▶で「詳細予約」を選び、(決定) を押す

4 ▼▲で「予約方式」を選び、▶で「録画」を選ぶ

5 ▼▲で項目を選び、◀▶で設定する

探して毎回予約を「する」「しない」を設定する

「Ir（タイマー）」を選ぶ

●ビデオのとき
→「標準」「3倍」「5倍」「標3」「機器側設定」から選ぶ
●DVDレコーダーのとき
→「XP」「SP」「LP」「EP」「FR」「機器側設定」から選ぶ

予約時間の微調整など詳細な予約設定をすることができます。(☞29、30ページ)

6 ▼で「予約する」を選び、(決定) を押す

本機から録画機器に予約情報が送られ録画機器がタイマー予約状態になると、**予約完了**です。

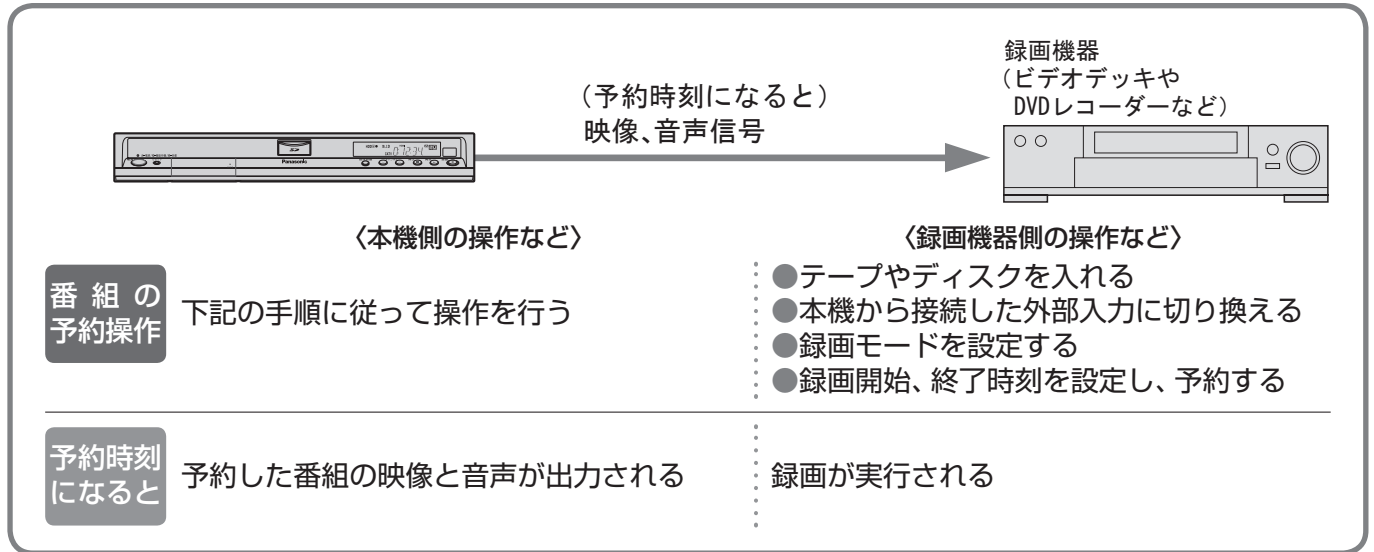
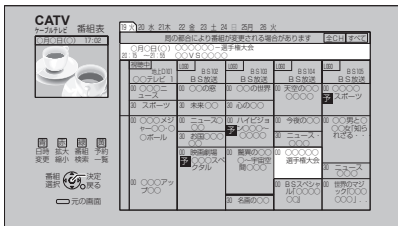
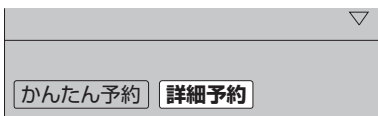
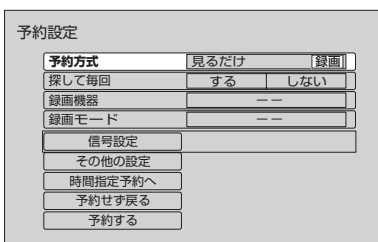
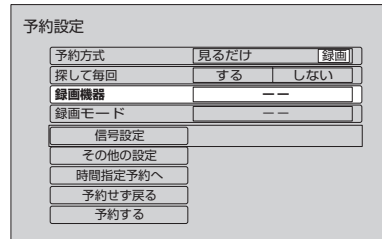
●HDD内蔵のDVDレコーダーでのHDDとDVDの切り換え設定などの本機から設定できない項目は、録画機器側で設定します。
●「再送信」は録画機器がタイマー予約状態にならなかった場合に、行ってください。

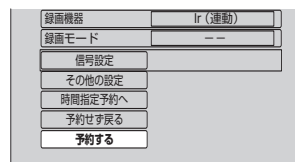
外部機器に録画予約する

Irシステムやi.LINK以外で接続した外部機器に録画する

1 番組表 を押す

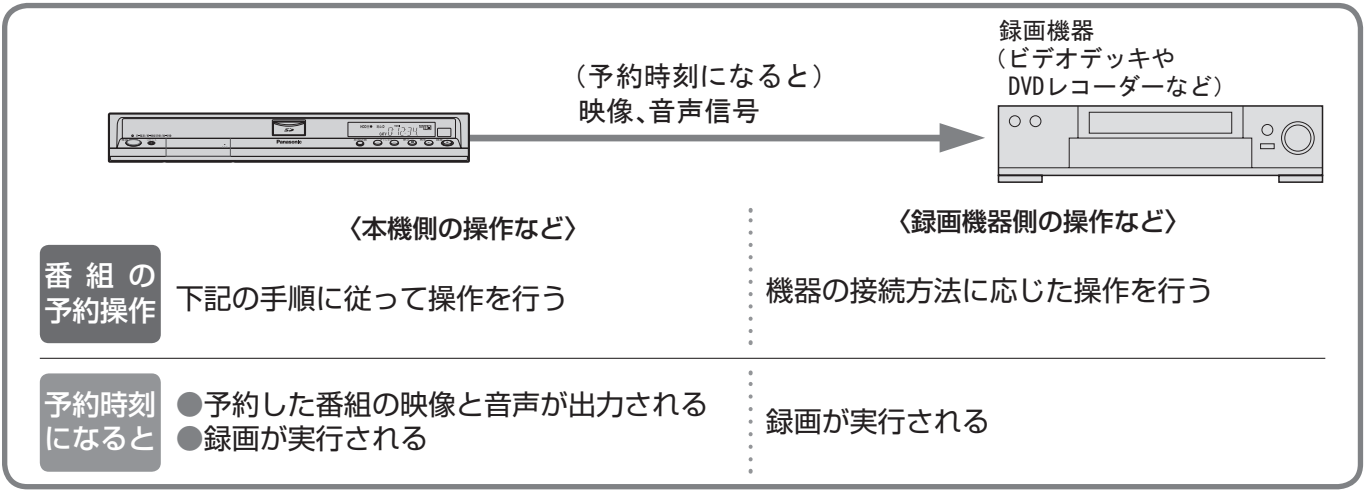
2 ▼▲◀▶で録画したい番組を選び、決定 を押す

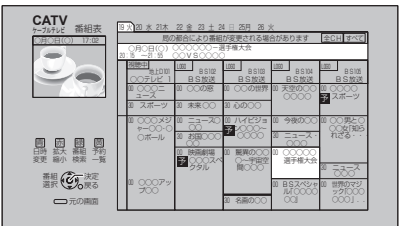
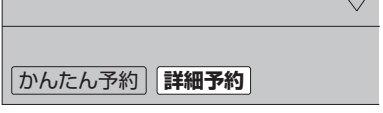
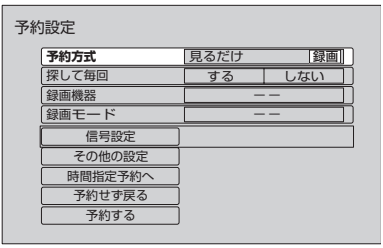
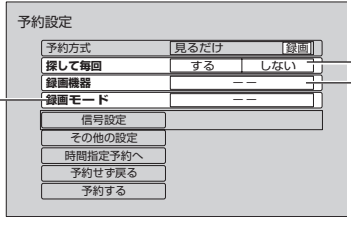
3 ▶で「詳細予約」を選び、決定 を押す

4 ▼▲で「予約方式」を選び、▶で「録画」を選ぶ

5 ▼▲で「録画機器」を選び、◀▶で「ーー」を選ぶ

番組追従など詳細な予約設定をすることができます。（☞29、30ページ）

6 ▼▲で「予約する」を選び、決定 を押す

これで、**予約完了**です。

●録画機器側でも予約設定が必要です。
（☞ 上記）

● **設定中、**戻る ◯ で1つ前の画面に戻ります。
● **設定後は、**元の画面 でテレビ放送の画面に戻します。

本機と外部機器で同時に録画する

同じ番組を2つの機器に録画することができます。

1 番組表 を押す

2 ▼▲◀▶で録画したい番組を選び、決定 を押す

3 ▶で「詳細予約」を選び、決定 を押す

4 ▼▲で「予約方式」を選び、▶で「録画」を選ぶ

5 ▼▲で項目を選び、◀▶で設定する

予約設定

予約方式	見るだけ	録画
探して毎回	する	しない
録画機器	ーー	
録画モード	ーー	

信号設定 / その他の設定 / 時間指定予約へ / 予約せず戻る / 予約する

探して毎回予約を「する」「しない」を設定する

「ーー+HDD」「Ir(連動)+HDD」「Ir(タイマー)+HDD」から選ぶ

●「ーー+HDD」または「Ir(連動)+HDD」のとき
→「ーー+DR」に固定(選べません)

●「Ir(タイマー)+HDD」のとき
・ビデオのとき
→「標準+DR」「3倍+DR」「5倍+DR」「標3+DR」「機器側設定+DR」から選ぶ
・DVDレコーダーのとき
→「XP+DR」「SP+DR」「LP+DR」「EP+DR」「ＦＲ+DR」「機器側設定+DR」から選ぶ

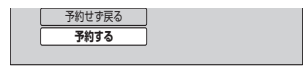
■タイマー予約の場合

本機から録画機器に予約情報が送られ録画機器がタイマー予約状態になると、予約完了です。「再送信」は録画機器がタイマー 予約状態にならなかった場合に行ってください。

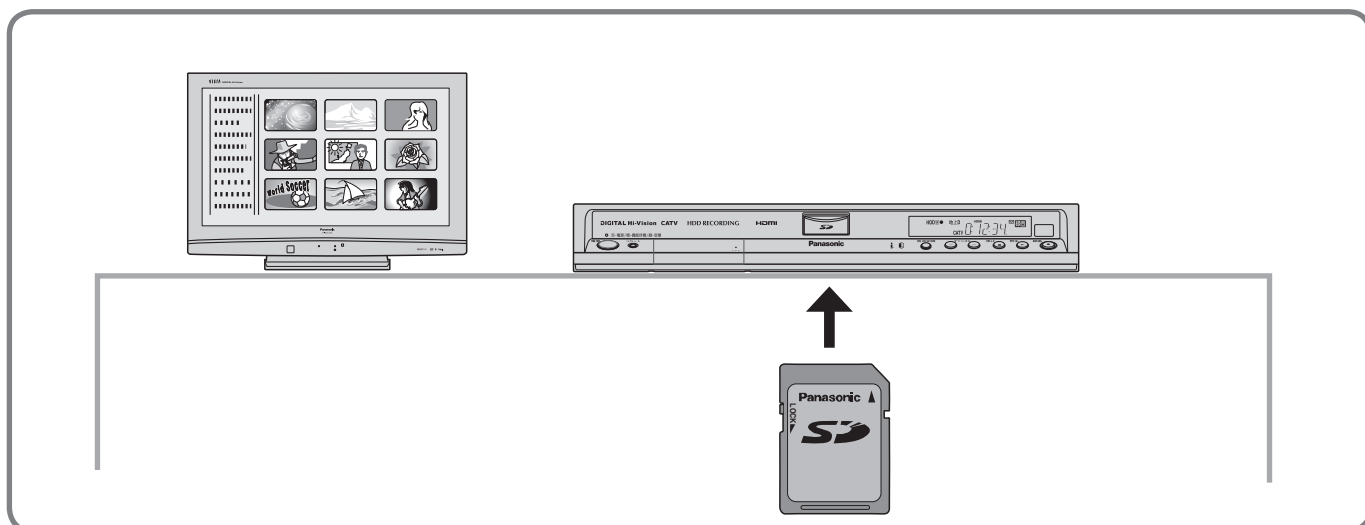
■連動予約の場合

録画機器側でも予約設定が必要です。
(☞38ページ)

番組追従など詳細な予約設定をすることができます。(☞29、30ページ)

6 ▼▲で「予約する」を選び、決定 を押す

これで、**予約完了**です。

SDメモリーカードの画像を見る

本機はデジタルカメラやデジタルビデオカメラで撮影された静止画を見たり、写真現像店に出すプリント枚数を設定することができます。DCF規格[Design rule for Camera File system：電子情報技術産業協会(JEITA)にて制定された統一規格]の画像データに限ります。
当社製のデジタルカメラ「LUMIX」など現在発売されているデジタルカメラは、ほとんどのものがDCF規格を採用しています。

パソコンで編集したデータも見ることができます

JPEG形式のファイルを見ることができます。
拡張子は「.JPG」にしてください。長いファイル名をつけると、一部省略して表示されます。

静止画の画素数が160×120～3840×2160(8,294,400画素)の画像データを表示できます。

同じファイル名があった場合や、DCF規格に準拠していない静止画、音声、JPEG形式以外の静止画(TIFF形式など)は表示できません。

パソコンでのフォーマット形式は、「FAT12」「FAT16」です。

ブラウザ上のデータを保存することができます

ブラウザ上の静止画像データやコンテンツサイトからデータをダウンロードして保存することができます。(☞49ページ)
本機能はご加入のケーブルテレビ局のサービス内容により使用できない場合があります。

作成されたファイルについて

他機器で作成された静止画ファイルは本機で正しく再生されない場合があります。

ご使用のデジタルカメラなどによっては、編集後の画像を再生できない場合があります。
詳しくは、デジタルカメラなどの取扱説明書をご覧ください。

SDメモリーカード（市販品）について

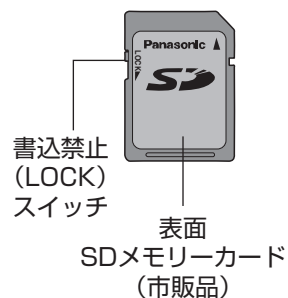
24 mm×32 mm×2.1 mmの、切手とほぼ同じ大きさの半導体メモリーです。

miniSD™カードまたはmicroSD™カードを本機にて使用する場合は、専用アダプターに必ず装着してご使用ください。マルチメディアカードのご使用については保証いたしません。

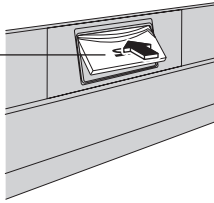
本機では、2 GBまでのSDメモリーカードを動作確認していますが、一部のSDメモリーカードで使用できない場合があります。

最新情報は下記サポートサイトでご確認ください。
http://panasonic.biz/broad/catv-support/index.html
(2008年5月現在)

プロテクトについて

スイッチを「LOCK」側にすると、プリント枚数の設定ができなくなります。

SDメモリーカード（市販品）の出し入れ

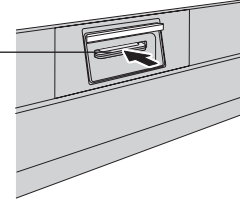
SDメモリーカードの再生操作中は、電源を切ったり、カードを取り出したりしないでください。
データが破壊されたり、本体が正常に動作しなくなる場合があります。
miniSD™カードまたはmicroSD™カードを使用の場合はアダプターごと出し入れしてください。
SDメモリーカード以外のものを挿入しないでください。故障や破損の原因となります。

扉の開けかた

扉の上部を指先で押して開ける

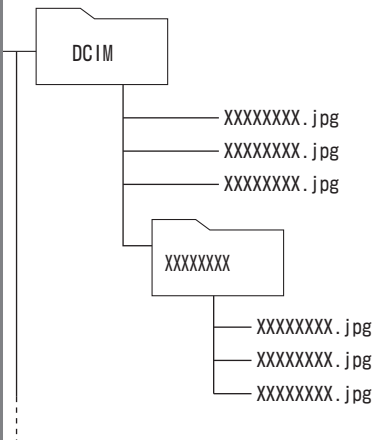
入れかた

表面(ラベル面)を上にしてまっすぐ奥まで差し込む

- ●miniSD™カードまたはmicroSD™カードを直接差し込まないでください。必ず、アダプターを装着してご使用ください。

取り出しかた

カードの中央部を押す

- ●SDメモリーカードの画像を見終わったら、元の画面 を押し、テレビ画面に戻してから取り出してください。

フォルダ（ディレクトリー）構造について

：フォルダ

XXXXXXXX.jpg
XXXXXXXX.ASF ：ファイル名

X：半角文字

[DCIM]：JPEG形式（××××××××.jpgなど）で記録された静止画

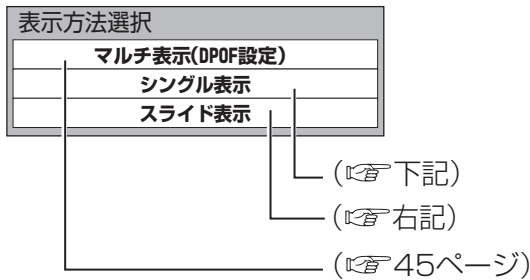
- ●本機は全フォルダ内のJPEGファイルを探して表示します。
- ●本機は、ASFファイルなどの動画を再生することはできません。
- ●ファイル数やフォルダ数が多い場合、表示に時間がかかることがあります。

SD メモリーカードの画像を見る

●SDメモリーカードの全フォルダ内を探し、本機で表示可能な静止画を表示します。
●ファイル数やフォルダ数が多い場合、表示に時間がかかることがあります。

写真を再生する(表示方法を選ぶ)

1 本機にSDメモリーカードを挿入する
(☞43ページ)

2 を押す

● [操作一覧]→「機器を操作する」→「SDカード」でも上記の表示方法選択画面を表示できます。

シングル表示(1枚ずつ表示)

3 ▼▲で「シングル表示」を選び、(決定) を押す

▼▲を押すたびに画像が切り換わります。

「画面表示」ボタンを押すと消える。
(再度押すと表示)

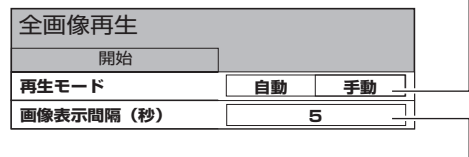
▶を押すたびに90゜ずつ時計回りに回転します。

●表示される画像の大きさは、画像の解像度により異なります。
(常に画面一杯に表示されるわけではありません)

スライド表示(連続して表示)

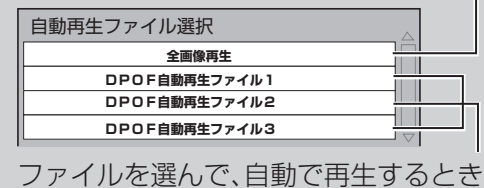
3 ▼▲で「スライド表示」を選び、(決定) を押す

4 ▼▲で「再生モード」、「画像表示間隔(秒)」を選び、◀▶で設定する

手動	リモコンの▲▼を押して画像を切り換えるとき
自動	自動的に画像を切り換えるとき

再生モードが「自動」のとき、画像を切り換える間隔(秒)
「1～10、15、20、30、45、60、120」
●画像サイズが大きいときは、間隔が設定より長くなります。

DPOF自動再生ファイルがあるときは、まず再生方法を選んでください。
(デジタルカメラがサポートしている場合)

すべてを連続再生するとき

ファイルを選んで、自動で再生するとき

5 ▼▲で「開始」を選び、(決定) を押す

スライド表示が始まります。

スライド表示を止める	(決定) を押す
止めた後に再開する	▲▼を押す
終了する	(戻る) を押す

● **設定中、**戻る ◯ で1つ前の画面に戻ります。
● **設定後は、**[元の画面] でテレビ放送の画面に戻します。

マルチ表示(DPOF設定)(9枚ずつ表示)

3 **▼▲で「マルチ表示(DPOF設定)」を選び、(決定) を押す**

データの読み込み中に表示
●**表示中はSDメモリーカードを抜いたり、電源を切らないでください。**

画像番号またはファイル名(先頭から半角で8文字)

記録されている画像の総枚数

スクロールバー

<マルチ表示画面>

次ページにも画像があるときは黄色の表示(▲▼でページ移動)

エラー表示(読み込めない画像など)

▲▼◀▶で選択した画像とその情報

No.	画像番号またはファイル名(先頭から半角で8文字)
日付	画像がSDメモリーカードに書き込まれた日
画素数	横×縦
プリント枚数	写真現像店などにプリントしてもらう枚数(☞右記)

■画像を1枚ずつ見るとき(シングル表示)

→ 赤 ▭ を押す(☞44ページ)

■画像を連続して見るとき(スライド表示)

→ 緑 ▭ を押す(☞44ページ)

■マルチ表示に戻すとき

→ 青 ▭ を押す

プリント枚数を設定する

写真現像店などに出すときに画像のプリント枚数を設定することができます。

1 左記のマルチ表示画面のときに
▲▼◀▶でプリントしたい画像を選び、(決定) を押す

選んだ画像に赤い「◥」の印が付く(再度押すと設定解除)ただし、DPOF※規格に準拠していない画像は選択できません。

2 サブメニュー (S) **を押す**

3 **▼▲で「枚数設定」を選び、(決定) を押す**

選択可能な全画像を選択

全選択を解除

4 **◀▶で枚数を設定する**

0〜999枚まで設定(0枚にすると設定解除)

5 **▼◀で「設定」を選び、(決定) を押す**

プリント枚数	3枚
設定	キャンセル

「DPOF」と枚数を表示(SDメモリーカードに枚数が記録される)

●画面表示ボタンを押すと、DPOF枚数表示／非表示が切り換わります。
表示は枚数が1枚以上の場合に行います。

別の画像のプリント枚数を設定したいときは、手順1〜5をくり返してください。

●DCF規格の画像とファイル名が半角8文字以下のJPGファイルのみ設定できます。ファイル名に使用できる文字は、英数半角文字、-(ハイフン)、_(アンダーバー)、〜(チルダ)です。パソコンで編集したデータは基本的には設定できません。
●SDメモリーカードの書込禁止スイッチが「LOCK」側になっていると設定ができません。(☞42ページ)

※ DPOF(Digital Print Order Format)とは、デジタルカメラなどで撮影した静止画の、プリント枚数などの設定を標準化した規格です。

インターネットを利用した情報を見る ブラウザ

インターネットを利用した生活情報やテレビ向けの双方向情報提供サービスを見ることができます。

※1　ポータルサイトとは、「ブラウザ」ボタンを押したときに最初に表示されるホームページのことです。（ポータルとは玄関･入り口の意味です）

※2　端末情報とは、郵便番号や端末の識別ID（本機にあらかじめ組み込まれた番号）などのブラウザの通信制御に必要な情報のことです。端末情報を送信しないと、ブラウザ機能の一部が使えません。一度送信を行うと、次回から送信画面は表示されませんが、郵便番号が正しくない場合や長期間ポータルサイトを使用しなかった場合は、再び送信画面が表示されることがあります。

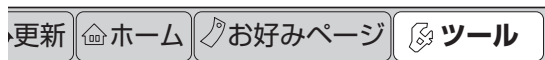
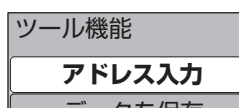
●ご加入のケーブルテレビ局のサービス内容により利用できない場合があります。
ご加入のケーブルテレビ局にご確認ください。
●接続と設定はお済みですか？（☞66、76〜78ページ）

アドレスを入力してホームページを見る

1 「ネット操作」パネルから
▶で「ツール」を選び、(決定) を押す

↻更新 | ホーム | お好みページ | ツール

2 **▼で「アドレス入力」を選び、(決定) を押す**

ツール機能
アドレス入力
データを保存

3 **アドレス(URL)を入力する**
●文字の入力方法は（☞50〜53ページ）

<アドレス入力画面>

アドレス
アドレスを入力してください。
アクトビラサイト以外は正常に表示されない場合や、予期しない情報・有害情報などを含む場合があります。
http://○○○○.ne.jp/cominsoon/index.html
確定

アドレス

4 **▼で「確定」を選び、(決定) を押す**

ブラウザ[※3]の視聴制限(暗証番号の入力)を設定する

テレビ放送の画面にしてから設定します。

1 (操作一覧) **を押す**

2 **▼で「設定する」を選び、(決定) を押す**

3 **▼で「システム設定」を選び、(決定) を押す**

4 **▼で「制限項目設定」を選び、(決定) を押す**

5 **暗証番号を入力する（☞57ページ）**

6 **▼で「ブラウザ制限」を選び、◀▶で設定を選ぶ**

アドレス入力制限	アドレス入力画面を出す前に暗証番号の入力が必要
すべて制限	ブラウザボタンを押したときに暗証番号の入力が必要
無制限	制限なし（暗証番号の入力が不要）

ホームページへの情報登録についてのご注意

ブラウザを使ってホームページに登録した情報は、そのホームページのサーバーに登録されます。ご加入のケーブルテレビ局への返却などで本機のご使用を中止される場合は、登録時の規約などに従って、必ず登録情報の消去を行ってください。

お知らせ

●天災やシステム障害その他の事由により、ポータルサイトのコンテンツを表示できない場合がありますので、あらかじめご了承ください。
●ポータルサイトの利用条件については、別途、ポータルサイトにてご確認ください。
●ご加入のケーブルテレビ局指定のコンテンツ以外の一般のインターネットホームページは、本機では正確に表示されない場合があります。また、予期しない情報や有害な情報が含まれている場合もあります。
●クレジットカードの番号や氏名などの個人情報を入力するときは、そのページの提供者が信用できるかどうか十分注意してください。
●本機能はご加入のケーブルテレビ局のサービス内容により使用できない場合があります。

※3 ブラウザとは、インターネット上のページを表示するためのソフトウェアです。本機にはポータルサイトへアクセスするためのブラウザがあらかじめ入っています。

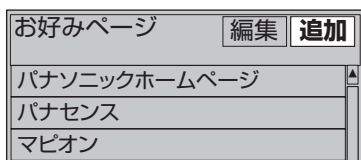
「お好みページ」に登録する

今見ているホームページを「お好みページ」に登録して、すぐに呼び出すことができます。

1 ホームページを見ているときに サブメニュー(S) を押す

2 ◀▶で「お好みページ」を選び、(決定) を押す

3 ▲で「追加」を選び、(決定) を押す

お好みページ	編集	追加
パナソニックホームページ		
パナセンス		
マピオン		

4 ◀▶で「確認」を選び、(決定) を押す

お知らせ

●「お好みページ」の登録は、20件までです。手順3で「これ以上登録できません」と表示されたら、「編集」を選び決定ボタンを押して、不要な「お好みページ」を削除してください。

登録したホームページを見る

1 上記手順3の画面のときに
▼で見たい「タイトル」を選び、(決定) を押す

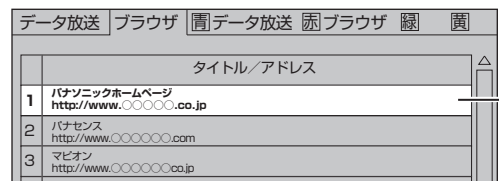
→選んだページが表示されます。

お知らせ

●「お好みページ」に登録したホームページが、提供者の都合により無くなったり、アドレスが変更になった場合には、そのページは表示できません。

「お好みページ」を編集する

1 左記の手順3の画面のときに
▲◀で「編集」を選び、(決定) を押す

2 ▲▼で削除や変更したい「タイトル」を選び、サブメニュー(S) を押す

上段：タイトル
下段：URL

●「データ」になっているときは、赤ボタンを押して「ブラウザ」に戻します。

3 ■削除するとき
▼▶で「削除」を選び、(決定) を押す

タイトル	パナソニックホームページ	
URL	http://www.○○○○○.co.jp	
更新	削除	編集中止

■変更するとき
▼で「タイトル」または「URL」を選び、文字を変更する

●画面キーボードが表示されたときは、（赤ボタン）を押すと、下の項目へ移動します。

タイトル	家電情報	
URL	http://www.○○○○○.co.jp	
更新	削除	編集中止

(例)元のタイトルを削除して、新しいタイトルを入力する。
文字の入力方法は(☞50～53ページ)

4 変更が終わったら、
◀で「更新」を選び、(決定) を押す

URL	http://www.○○○○○.co.jp	
更新	削除	編集中止

5 確認画面が表示されたら、
◀で「はい」を選び、(決定) を押す

●一覧に戻ります。(ご確認ください。)

●確認したら 戻る を押す

ページ上のデータを保存する

SDカードに保存する

1 本機にSDメモリーカードを挿入する

2 ホームページを見ているときに
▲▼◀▶で保存したい項目を選ぶ

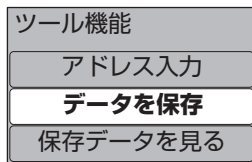
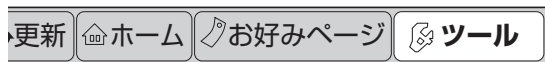
●選んでいる項目が黄色の枠で囲まれます。
●選んでいる項目のハイパーリンク先が保存の対象です。

3 サブメニュー Ⓢ を押し、
◀▶で「ツール」を選び、(決定) を押す

更新 ホーム お好みページ **ツール**

4 ▼で「データを保存」を選び、
(決定) を押す

ツール機能
アドレス入力
データを保存
保存データを見る

5 ▲▼で「このディレクトリに保存」を
選び、(決定) を押す

<表示例（file:///imexport/）>

●他の「ディレクトリ」に保存するときは、
▼▲で「ディレクトリ」を選んで、決定ボタンを押す。
データ保存のため、決定ボタンを押す。

保存したデータを見る

1 左記「SDカードに保存する」手順1～3の操作のあと
▼で「保存データを見る」を選び、(決定) を押す

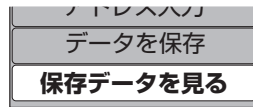
アドレス入力
データを保存
保存データを見る

2 アドレス入力画面で、
■文字入力が「リモコンボタン方式」のとき
(決定) を押す

■文字入力が「画面キーボード方式」のとき
赤 を押す

3 「確定」を選び、(決定) を押す

●ディレクトリ名が分からないときは、アドレス入力画面で「file:///」のみ入力すると、順に画面上でディレクトリを確認できます。
●ファイル名まで入力し決定ボタンを押すと、そのファイルが開きます。
（例: file:///imexport/index.html）
ディレクトリ名　ファイル名
●文字の入力方法は（☞50～53ページ）

4 ▲▼で見たいファイルを選び、(決定) を押す

保存したデータを送信する

■ブラウザのページで、データの送信を要求されたとき
① SD メモリーカードを挿入する
② 送信するファイルを選び、決定を押す

●ブラウザのページ上の説明に従って操作すると、ページを提供しているサイトにデータが送られます。送るデータと相手先を確認の上、操作してください。

お願い

● SDメモリーカード使用中は、電源を切ったり、SDメモリーカードを抜かないでください。
カードのデータが破壊されることがあります。
● カードのデータの削除はパソコンなどで行ってください。

お知らせ

● 黄色の枠で囲まれた表示内容がそのまま保存されるのではなく、ハイパーリンク先のデータ（ページや画像）が保存されます。リンク先がページの場合、全体を保存することはできません。
● 一度表示したデータは、「お好みページ」に登録することもできます。（☞48ページ）
（SDメモリーカードが入っていないと呼び出せません）
● SDメモリーカードから表示できるデータは、HTMLファイルおよび画像ファイル（JPEG、PNG、GIF）です。
● 2 GBを超えるファイルや、50万画素を超える画像、参照データのないHTMLファイルなどは表示できないことがあります。デジタルカメラなどの写真を見るときは、44ページの操作を行ってください。

文字を入力する

文字を入力するには、携帯電話と同じような入力を行う「携帯電話(リモコン方式)」と、画面にキーボードを表示させて入力する「画面キーボード入力方式」の2通りの入力方法があります。
工場出荷時は「携帯電話(リモコン方式)」が設定されています。
(文字入力方式は「文字入力設定」で変更できます。☞55ページ)

■携帯電話(リモコン)方式のとき

リモコンの数字ボタンを使って、携帯電話と同じような操作で入力します。

■文字入力欄にカーソルを移動させると、文字が入力できます。

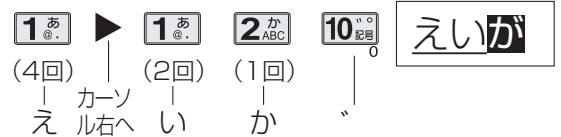
1 緑を押して入力モードを選び、決定を押す

選択中

かな
カナ
英数
数字

- 押すたびに切り換わります。
- 漢字を入力するときは「かな」を選びます。
- 入力欄の状況により、選択できる入力モードが制限される場合があります。(例:英数と数字のみ)

2 文字を入力する

例:「えいが」と入力するとき

- 入力文字一覧表をご覧ください。(☞51ページ)

3 **■漢字に変換しないとき**

→手順4へ

■漢字に変換するとき

→変換したい漢字が出るまで▲▼を押す

4 決定を押す

- **カーソル**
  文字が追加される位置を示しています。

- 続けて文字を入力するときは、手順1から、くり返します。

リモコンボタンでの入力文字一覧表

ボタン＼入力モード	かな	カナ	英数	数字
1	あ い う え お ぁ ぃ ぅ ぇ ぉ 1	ア イ ウ エ オ ァ ィ ゥ ェ ォ 1	@ . / : ~ _ 1	1
2	か き く け こ 2	カ キ ク ケ コ 2	a b c A B C 2	2
3	さ し す せ そ 3	サ シ ス セ ソ 3	d e f D E F 3	3
4	た ち つ て と っ 4	タ チ ツ テ ト ッ 4	g h i G H I 4	4
5	な に ぬ ね の 5	ナ ニ ヌ ネ ノ 5	j k l J K L 5	5
6	は ひ ふ へ ほ 6	ハ ヒ フ ヘ ホ 6	m n o M N O 6	6
7	ま み む め も 7	マ ミ ム メ モ 7	p q r s P Q R S 7	7
8	や ゆ よ ゃ ゅ ょ 8	ヤ ユ ヨ ャ ュ ョ 8	t u v T U V 8	8
9	ら り る れ ろ 9	ラ リ ル レ ロ 9	w x y z W X Y Z 9	9
10	、 。 ? ! ・ ( ) 0	、 。 ? ! ・ ( ) 0	ー , ; ' " ? ! ( ) & ¥ 0	0
11	わ を ん ゎ ー スペース	ワ ヲ ン ヮ ー スペース	スペース	*
12	改行	改行	改行	#

●ボタンを押すたびに、表の順に文字が変わります。(例:「い」を入力するときは 1 を2回押す)
未確定の文字があるときに 12 を押すと、表の逆順で文字が変わります。
●「英数」と「数字」は半角で入力されます。(▼を押すと全角に変換されるものもあります)
●濁点や半濁点を入力するときは→文字に続けて 10 を押す

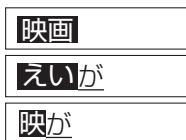
こんなときは

■同じボタンで続けて入力するときは(例:「あい」)

1 を押す→▶でカーソルを右へ移動させる→ 1 1 と押す

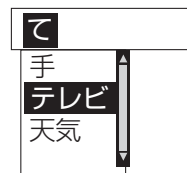
■文節を分けて変換するときは(例:「えいが」の「えい」だけ変換)

①「えいが」と入力して▼を押す
②◀を押して「えい」だけを選ぶ
③▼を押して変換する

映画
えいが
映が

■記号を入力するときは

①「きごう」と入力する
②変換したい記号が出るまで▼を押す

■「予測方式」のときは(例:「テレビ」を入力するとき)

①4 を4回押す
●本機が予測して変換できると、「て」で始まる言葉の候補を表示します。
●うまく変換できないときは、 (緑ボタン)で、
一時的に通常方式に切り換えられます。
②▼で「テレビ」を選び、決定ボタンを押す

文字の追加や削除をしたいときは

■**文字を追加するときは** ➡ ◀▶でカーソルを追加したい位置へ移動させる→文字を入力する
■**文字を削除するときは** ➡ ◀▶でカーソルを消したい文字の位置へ移動させる→ (黄ボタン)を押す
(カーソルの右の文字が削除されます。右に文字がない場合は、左の文字が削除されます)

文字を入力する

■画面キーボード方式のとき

画面上にキーボードを表示し、選択/決定ボタンを使って入力します。
画面キーボードで入力するときは、55ページ「文字入力設定」で「画面キーボード」に設定してください。

■文字入力にカーソルを移動させると、文字が入力できます。(自動的に画面キーボードを表示)

●文字を入力しないときは、［ ］(赤ボタン)を押す。

1 **［緑］を押して入力モードを選ぶ**

→画面上にキーボードが表示されます。

●押すたびに切り換わります。

かな → カナ → 英数

●漢字を入力するときは「かな」を選びます。
●英数のみが入力できる項目のときは、「英数」に固定されます。

2 **◀▶▲▼で文字を選び、(決定) を押す**

改行	ー	ゃ	ぁ	わ	ら	や	ま	は	な	た	さ	か	あ	かな
空白	「	ゅ	ぃ	を	り	ゆ	み	ひ	に	ち	し	き	い	青 変換
キーボード移動	」	ょ	ぅ	ん	る	よ	む	ふ	ぬ	つ	す	く	う	赤 終了
入力位置移動	!	っ	ぇ	`	れ	゛	め	へ	ね	て	せ	け	え	緑 文字切換
	?	わ	ぉ	。	ろ	゜	も	ほ	の	と	そ	こ	お	黄 文字クリア

●この操作をくり返し、文字を入力していきます。

3 **■漢字に変換しないとき**

→ ［赤］ を押す

■漢字に変換するときは

① ［青］ を押す

●画面キーボードが消え、漢字を表示します。
●他の漢字に変換したいときは▼を押し、候補の中から選ぶ。

② (決定) を押す

●続けて文字を入力するときは、手順1からくり返します。

4 **［赤］ を押して、入力を終了する**

→画面キーボードの表示が消えます。

画面キーボードの見かた

入力方法：◀▶▲▼で文字を選び、決定ボタンを押す。

●入力モードが「カナ」のとき

●入力モードが「英数」のとき

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	1	2	3
K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	4	5	6
U	V	W	X	Y	Z	.	@	／	:	7	8	9
～	＿	ー	,	;	'	"	?	&	¥	*	0	#
小文字	(	)	!									

■画面上のキーボードの表示位置を移動させたいときは

「キーボード移動」を選び、「決定」ボタンを押す

●「英数」は半角で入力されます。（全角にしたいときは、左ページの手順3で □（青ボタン）を押して変換します。）

こんなときは

■文節を分けて変換するときは（例：「えいが」の「えい」だけ変換）

①「えいが」と入力して□（青ボタン）を押す

②◀を押して「えい」だけを選ぶ

③▼を押して変換する

映画

えいが

映が

■記号を入力するときは

①「きごう」と入力する

② □（青ボタン）を押すと画面キーボードが消え、記号を表示

●他の記号に変換したいときは▼を押し、候補の中から選ぶ

■「予測方式」のときは（例：「テレビ」を入力するとき）

①◀▶▲▼で「て」を選び、「決定」ボタンを押す

●本機が予測して変換できると、キーボードの上に「て」で始まる言葉の候補を表示します。

●うまく変換できないときは、□（青ボタン）で、一時的に通常方式に切り換えられます。

②◀▶▲▼で「テレビ」を選び、「決定」ボタンを押す

●変換したい字がない場合は、続けて次の文字を入力します。

決定で次の候補を表示

変換候補

文字の追加や削除をしたいときは

■文字を追加するときは➡①◀▶▲▼で「入力位置移動」を選び、決定ボタンを押す。

②◀▶でカーソルを追加したい位置へ移動させ、決定ボタンを押す。

③文字を入力する。

■文字を削除するときは➡①◀▶▲▼で「入力位置移動」を選び、決定ボタンを押す。

②◀▶でカーソルを消したい文字の位置へ移動させる→□（黄ボタン）を押す。

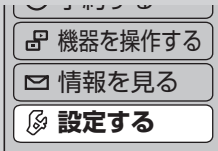
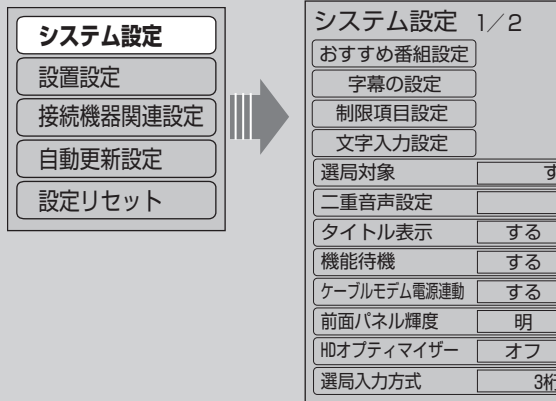
（カーソルの右の文字が削除されます。右に文字がない場合は、左の文字が削除されます）

使いかたに合わせて設定を変える

操作するリモコンのボタン位置（☞11ページ）

1 操作一覧 を押す

2 ▼で「設定する」を選び、決定 を押す

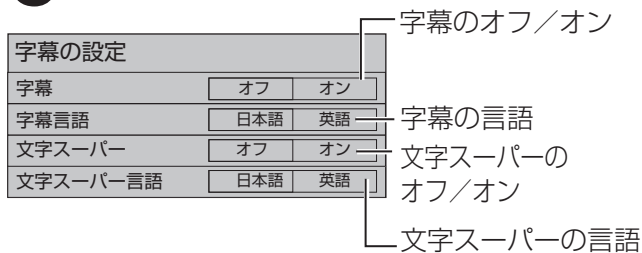
機器を操作する
情報を見る
設定する

3 ▼で「システム設定」を選び、決定 を押す

- 各項目の詳細は以下をご覧ください。
- 「ケーブルモデム電源連動」の設定（☞80ページ）

字幕の設定　字幕や文字スーパーを設定する

文字スーパーとは、視聴者にお知らせしたいことを、番組放送中の画面上に文字で表示します。

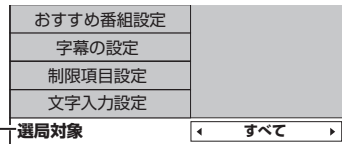
4 ▼で「字幕の設定」を選び、決定 を押す

5 ▼で項目を選び、◀▶で設定する

字幕の設定			
字幕	オフ	オン	字幕のオフ／オン
字幕言語	日本語	英語	字幕の言語
文字スーパー	オフ	オン	文字スーパーのオフ／オン
文字スーパー言語	日本語	英語	文字スーパーの言語

- 強制的に表示される字幕や文字スーパーなど、設定しても番組によって無効になる場合があります。
- 字幕の「オフ」「オン」の切換えは 字幕 でもできます。

選局対象／チャンネルアップダウン　順送りできるチャンネルを設定する

∧チャンネル∨（チャンネルボタン）を押して、順送りに選局できる対象を設定します。

4 ▼で「選局対象」を選び、◀▶で設定する

お好み	リモコンの 1 ～ 12 に設定されているチャンネルと、チャンネル設定（☞68ページ）で設定した13～36までのチャンネル。
テレビ	テレビ放送（映像＋音声）のチャンネルのみ。
ラジオ／データ	ラジオ放送（音声のみ）とデータ放送のチャンネルのみ。
すべて	現在受信可能なすべてのチャンネル。

5 ▼で「チャンネルアップダウン」を選び、◀▶で設定する

システム設定2／2
チャンネルアップダウン　ネットワーク

（システム設定2ページ目）

ネットワーク	地上デジタル放送、BSデジタル放送、CATVデジタル放送などの各放送内で選局する
シームレス	地上デジタル放送、BSデジタル放送、CATVデジタル放送などの各放送をまたいで選局する

● 設定中、戻る ◯ で1つ前の画面に戻ります。
● 設定後は、元の画面 でテレビ放送の画面に戻します。

文字入力設定　文字入力の方式や変換方法を変える

4 ▼で「文字入力設定」を選び、決定 を押す

5 ▼で設定項目を選び、◀▶で設定する

リモコンボタン　携帯電話方式で入力
画面キーボード　画面上のキーボードで入力

文字入力設定	
入力方法	**リモコンボタン**
変換方式	**通常方式**

1文字の入力で変換候補を表示したいとき
→「予測方式」

二重音声設定　二重音声の設定を変える

4 ▼で「二重音声設定」を選び、◀▶で設定する

字幕の設定		
制限項目設定		
文字入力設定		
選局対象	すべて	
二重音声設定	**主**	
タイトル表示	する	しない
機能待機	する	しない

主　音声が日本語
副　音声が外国語
主+副　日本語と外国語を同時に出力

お知らせ

● 電源「切」「入」したときに放送が二重音声の場合、上記で設定した音声になります。
● 放送によっては「主」が外国語で「副」が日本語の場合があります。

タイトル表示　番組タイトルなどの表示を消す

4 ▼で「タイトル表示」を選び、▶で「しない」に設定する

二重音声設定	主	
タイトル表示	する	**しない**
機能待機	する	しない
ケーブルモデム電源連動	する	しない
前面パネル輝度	明	暗
HDオプティマイザー	オフ	オン

● 「しない」に設定すると、チャンネルを切り換えても右上に番組タイトル情報などを表示しません。(チャンネルは表示します。)再度、表示させる場合は設定を「する」に戻してください。
● 「しない」に設定しても、画面表示ボタンを押したときは、タイトル表示します。

機能待機　映像を映し出すまでの時間を短くする

i.LINK機器からの制御信号を受け付けたり、出画時間を早くすることができます。

4 ▼で「機能待機」を選び、◀▶で設定する

文字入力設定		
選局対象	すべて	
二重音声設定	主	
タイトル表示	する	しない
機能待機	する	**しない**

する　i.LINK機器からの制御信号を受け付けたり、出画時間を早くしたいとき
しない　電源「切」時の消費電力を少なくしたいとき

お知らせ

● 機能待機を「する」に設定すると、出画時間は早くなりますが、電力を消費します。各機種の消費電力は仕様(☞112、113ページ)をご覧ください。

前面パネル輝度　本体表示窓の明るさを変える

前面表示窓(蛍光表示管)の明るさを「明」と「暗」の2段階に切り換えることができます。

4 ▼で「前面パネル輝度」を選び、◀▶で設定する

タイトル表示	する	しない
機能待機	する	しない
ケーブルモデム電源連動	する	しない
前面パネル輝度	**明**	**暗**
HDオプティマイザー	オフ	オン
選局入力方式	3桁入力	

● 工場出荷時は「明」に設定されています。

HDオプティマイザー　ノイズやちらつきを低減する

映像のブロックノイズや輪郭部のちらつきを低減します。

4 ▼で「HDオプティマイザー」を選び、▶で「オン」に設定する

機能待機	する	しない
ケーブルモデム電源連動	する	しない
前面パネル輝度	明	暗
HDオプティマイザー	オフ	**オン**
選局入力方式	3桁入力	

オン(工場出荷時)　ブロックノイズ(小さな四角形のノイズ)や輪郭部のちらつき(ノイズ)を低減する
オフ　HDオプティマイザーの機能を無効にする

● 通常は「オン」に設定してください。

使いかたに合わせて設定を変える

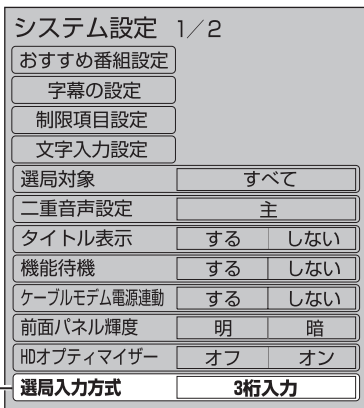
選局入力方式　チャンネルの入力方式を設定する

チャンネルを選ぶとき、3桁のチャンネル番号を入力して選ぶか、数字ボタンに割り当てられたチャンネル番号で選ぶかを設定します。

54ページ手順1～3で「システム設定」画面を表示させてから行ってください。

1 ▼で「選局入力方式」を選び、◀▶で設定する

システム設定　1／2

おすすめ番組設定		
字幕の設定		
制限項目設定		
文字入力設定		
選局対象	すべて	
二重音声設定	主	
タイトル表示	する	しない
機能待機	する	しない
ケーブルモデム電源連動	する	しない
前面パネル輝度	明	暗
HDオプティマイザー	オフ	オン
選局入力方式	**3桁入力**	

3桁入力　数字ボタンを3度押して、3桁のチャンネル番号を入力すると、そのチャンネルに切り換わる

プリセット　数字ボタンを1度押すと、70ページで設定したチャンネルに切り換わる

■「3桁入力」に設定したとき

入力パネルの表示中は
11 不使用
12 一文字削除

● それ以外のときはボタンに設定したチャンネルを選局(プリセット選局)します。

チャンネル番号の入力のしかたは、13ページをご覧ください。

■「プリセット」に設定したとき

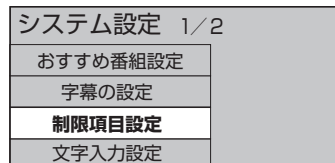
チャンネルの選びかたは、13ページをご覧ください。

制限項目設定　有料番組や視聴年齢制限を設定する

● 年齢の下限や購入金額の上限を設定できます。
● 制限を超える番組は暗証番号の入力が必要です。
● 年齢制限を超える番組は番組表などで「・・・」と表示します。

54ページ手順1～3で「システム設定」画面を表示させてから行ってください。

1 ▼で「制限項目設定」を選び、(決定)を押す

システム設定　1／2
おすすめ番組設定
字幕の設定
制限項目設定
文字入力設定

2 画面の指示に従って 1 ～ 10 で4桁の暗証番号を入力する

● 初めて設定するときは暗証番号を2回入力して登録します。
● 暗証番号の入力がないと約10秒後に「システム設定」の画面に戻ります。

登録した暗証番号は、忘れないようにメモをしておいてください。

● 各項目の詳細は以下をご覧ください。

視聴できるチャンネルを制限する

① ▼で「チャンネルスキップ設定」を選び、(決定)を押す

ブラウザ制限	無制限
制限解除有効期限	選局まで
チャンネルスキップ設定	
暗証番号変更	

② ▲▼で制限するチャンネルを選び、(決定)を押す

C500	○○○○	
C600	○○○○	スキップ
BS100	○○○○	**スキップ**
BS200	○○○○	

③ 戻る を押す

④ 確認画面で、◀で「はい」を選び、(決定)を押す

- 設定中、戻る ◯ で1つ前の画面に戻ります。
- 設定後は、元の画面 でテレビ放送の画面に戻します。

- スキップ設定したチャンネルは選局できなくなります。(番組表にも表示しません)
- スキップ設定したチャンネルを選び、決定を押すと、スキップ設定を解除します。
- 青 でチャンネルスキップ設定を一時解除します。(電源を「切」「入」すると制限状態に戻ります。)
- 黄 でスキップチャンネルのみの表示に切り換わります。

視聴できる年齢を制限する

① ▼で「視聴可能年齢」を選び、◀▶で年齢の下限を設定する

制限項目設定	
視聴可能年齢	無制限
一番組限度額	無制限

制限できる年齢
→「4才」〜「19才」(1才単位)、「無制限(工場出荷時)」

有料番組のとき一番組の購入金額を制限する

① ▼で「一番組限度額」を選び、◀▶で金額の上限を設定する

制限項目設定	
視聴可能年齢	無制限
一番組限度額	無制限
ブラウザ制限	無制限

制限できる金額
→「100円」「500円」「1,000円」「1,500円」「2,000円」「2,500円」「3,000円」「無制限(工場出荷時)」

制限解除の期限を設定する

① ▼で「制限解除有効期限」を選び、◀▶で設定する

ブラウザ制限	無制限
制限解除有効期限	選局まで
チャンネルスキップ設定	
暗証番号変更	

電源OFFまで	電源を切るまで視聴可能
選局まで	チャンネルを変えるまで視聴可能

暗証番号を変更する

① ▼で「暗証番号変更」を選び、(決定) を押す

チャンネルスキップ設定	
暗証番号変更	
暗証番号削除	

② 1 〜 10 で、新しい4桁の暗証番号を入力する

- 入力がないと約10秒後「制限項目設定」の画面に戻ります。

③ 画面の指示に従って再度、4桁の暗証番号を入力する

変更した暗証番号は、忘れないようにメモをしておいてください。

暗証番号を削除する

① ▼で「暗証番号削除」を選び、(決定) を押す

制限解除有効期限	選局まで
チャンネルスキップ設定	
暗証番号変更	
暗証番号削除	

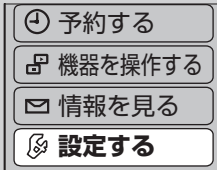
② ◀で「はい」を選び、(決定) を押す

- 視聴制限は、無効になります。

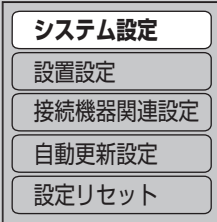
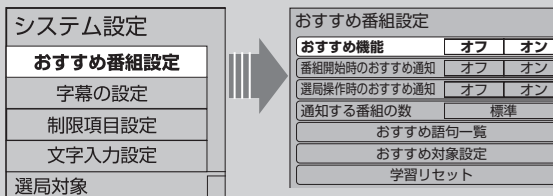
おすすめ番組機能を設定する

操作するリモコンのボタン位置（☞11ページ）

1 操作一覧 を押す

2 ▼で「設定する」を選び、決定 を押す

3 ▼で「システム設定」を選び、決定 を押す

4 ▼で「おすすめ番組設定」を選び、

決定 を押す

●各項目の詳細は以下をご覧ください。

おすすめ機能　おすすめ番組機能を使う

5 ▼▲で「おすすめ機能」を選び、◀▶で「オン」に設定する

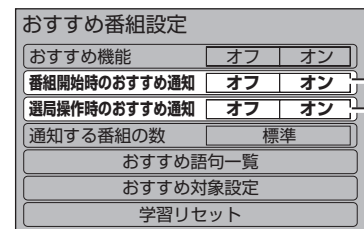
- おすすめ機能を使用する　→「オン」
- おすすめ機能を使用しない　→「オフ」
  「オフ」のときは、好みの学習はされません。

お知らせ

- おすすめ番組があれば、おすすめ一覧や番組表に★を表示したり、おすすめ通知を表示してお知らせします。

番組開始時のおすすめ通知
選局操作時のおすすめ通知　おすすめ番組を視聴中または選局中に通知するかしないかを設定する

5 ▼▲で「番組開始時のおすすめ通知」または「選局操作時のおすすめ通知」を選び、◀▶で設定する

視聴中におすすめ番組開始を通知する　→「オン」
しない　→「オフ」

選局時に放送中のおすすめ番組の通知をする　→「オン」
しない　→「オフ」

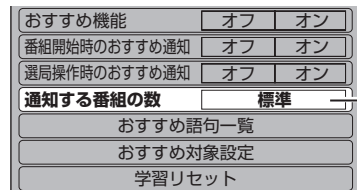
■番組開始時のおすすめ通知を「オン」にしたとき
- ・おすすめ番組が始まる約30秒前に通知します。
- ・電源「入」時に、おすすめ番組が放送中のときに通知します。

■選局操作時のおすすめ通知を「オン」にしたとき
おすすめ番組がすでに始まっているときにチャンネルを変えると通知します。

- おすすめ通知される番組のチャンネルが選局されているときは、おすすめ通知がされません。
- おすすめ一覧（☞22ページ）や番組表（☞18ページ）でのおすすめ（★）はこの設定に関係なく常に行います。

通知する番組の数　一日に通知する番組数を設定する

5 ▼▲で「通知する番組の数」を選び、◀▶で設定する

おすすめ機能	オフ	オン
番組開始時のおすすめ通知	オフ	オン
選局操作時のおすすめ通知	オフ	オン
通知する番組の数	標準	
おすすめ語句一覧		
おすすめ対象設定		
学習リセット		

・「少ない」→最大5番組前後まで通知
・「標準」→最大10番組前後まで通知
・「多い」→最大20番組前後まで通知

お知らせ

- 通知する番組数は放送の内容や本機の設定により変わります。

- **設定中、**戻る ◯ で1つ前の画面に戻ります。
- **設定後は、**元の画面 でテレビ放送の画面に戻します。

おすすめ対象設定 おすすめして欲しい対象を設定する

5 ▼▲で「おすすめ対象設定」を選び、決定 を押す

6 ▼▲で放送を選び、◀▶で設定する

おすすめ対象設定		
地上デジタル	オフ	オン
BS	オフ	オン
CS	オフ	オン
CATV	オフ	オン
視聴年齢制限番組	オフ	オン

●おすすめして欲しいとき →「オン」

おすすめ語句一覧 登録した語句に関連する番組をおすすめする

5 ▼▲で「おすすめ語句一覧」を選び、決定 を押す

■新しい語句を登録する

① 緑 を押す

② 登録する種別を選び、決定 を押す

メインジャンルを選んだ後、サブジャンルを選び、決定を押す

「ジャンル」に該当しない語句を登録するとき

語句を入力する（文字入力☞50～53ページ）

［最大登録文字数は全角15文字］

決定を押すと、新しい語句として登録します。

- フリーワードは全角半角の区別はしません。
- 語句の登録は最大20件までです。

③◀▶で「おすすめする」か、「おすすめしない」かを選び、決定 を押す

語句を含む番組をおすすめする。

語句を含む番組をおすすめしない。

■登録した語句を編集する

① ▼▲で登録した語句から編集したい語句を選ぶ

② 決定 を押す

削除 登録した語句を削除します。

①「削除」を選んで決定を押す

→「おすすめ語句の削除確認」画面を表示します。

②「はい」を選び、決定を押す

おすすめの変更

おすすめ語句の設定を変更する（左記）

フリーワードの編集

「決定」ボタンを押すと、「フリーワードの編集」画面を表示し、語句の編集ができます。

「ジャンル」の場合は選べません。（左記）

学習リセット 学習結果と登録語句を削除する

これまでの学習結果や登録した語句をすべてリセットし、はじめから学習をやり直します。

5 ▼▲で「学習リセット」を選び、決定 を押す

6 ◀で「はい」を選び、決定 を押す

「学習をリセットしました。」の表示後、「おすすめ番組設定」画面に戻ります。

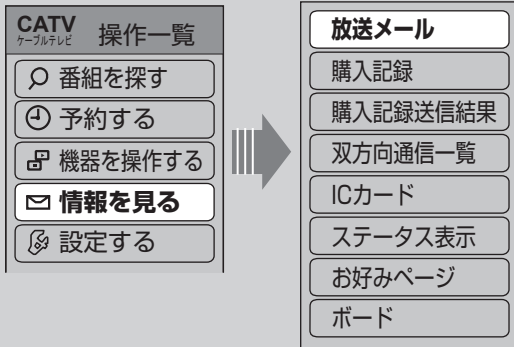
お知らせ

- 学習リセット後は本機はお好みの番組を学習できていないため、おすすめするまで数日かかる場合があります。

いろいろな情報を見る

操作するリモコンのボタン位置（☞11ページ）

1 操作一覧 を押す

2 ▲▼で「情報を見る」を選び、決定 を押す

●各項目の詳細は以下をご覧ください。

放送メール　放送メールを見る

ご加入のケーブルテレビ局や本機からのお知らせや情報を見ることができます。

3 ▼で「放送メール」を選び、決定 を押す

4 ▲▼で確認したいメールを選び、決定 を押す

→メールの内容が表示されます。

未読	CS1	メール5
未読	CS2	メール6

未読、既読を表示　最新の31通を保存

- ●ICカードが挿入されていないと、メールを受信できない場合があります。
- ●メールの内容に合わせて、ボタンが表示されることがあります。
  選んで決定すると、関連画面を表示します。
- ●インターネットメールではありません。
- ●ご加入のケーブルテレビ局のサービス内容により表示が異なります。
- ●放送メールには、ご加入のケーブルテレビ局からのお知らせ（最大31通まで保存）や、本機の機能向上のためのダウンロード情報（最新の1通のみ保存）などがあります。

購入記録　購入した有料番組を確認する

ご加入のケーブルテレビ局のサービス内容により表示が異なります。

3 ▼で「購入記録」を選び、決定 を押す

12月12日(水)からの累計金額　3800円（累計金額）

CS1 777	12月12日(水) 9:15~10:55	○○○ボランティア W杯サッカーボランティア	1000円
CS2 105	12月13日(木) 10:15~10:45	CGアニメーションコンテスト 関西予選	500円
BS 101	12月14日(金) 9:03~ 9:55	W杯モーグル大会　予選通過速報	300円
BS 155	12月15日(土) 9:15~ 9:55	W杯エアリアル大会　名場面・珍場面	500円

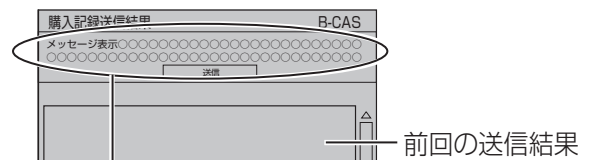
最新の50番組を表示

●表示される金額は参考金額です。価格改定などにより、請求金額とは異なる場合があります。

■**累計金額をリセットする**（0円に戻す）**には**

① 12 を押して、リセット画面を表示する
② ◀▶で「はい」を選び、決定 を押す
●リセットされた項目は、うすい文字で表示されます。

購入記録送信結果　有料番組の購入記録、データ放送の送信記録などを確認する

3 ▼で「購入記録送信結果」を選び、決定 を押す

- ●前回の送信結果で再送信が可能であれば、その旨表示します。このときは決定ボタンを押すと再送信されます。
- ●通常は自動送信されます。

- 青 でB-CASの結果を表示します。
- 赤 でC-CASの結果を表示します。

双方向通信一覧　双方向通信の結果一覧を見る

3 ▼で「双方向通信一覧」を選び、決定 を押す

双方向通信一覧

通信開始時刻	電話番号	
12月12日(水) 10:15	000-000-0000	――
12月12日(水) 10:15	000-000-0000	
12月12日(水) 10:15	000-000-0000	
12月12日(水) 10:15	000-000-0000	

エラーコード（通信失敗時に表示）

- 設定中、戻る◯ で1つ前の画面に戻ります。
- 設定後は、元の画面 でテレビ放送の画面に戻します。

ICカード　B-CAS／C-CASカードの番号などを見る

3 ▼で「ICカード」を選び、決定 を押す

B-CASカード
カード識別 M001
カードID 0000 0000 0000 0000 0000
グループID 2:9999-9999-9999-9991-1111

- 赤でC-CASカードの情報を表示します。
- 緑でCATV-IDの情報を表示します。

ステータス表示　本機に関する情報を見る

3 ▼で「ステータス表示」を選び、決定 を押す

ステータス表示
デコーダーID 0000-0000
ステータス 0070-101A
12345-67890
12345-67890

- 青でソフト情報を表示します。
- 赤でルート証明書を表示します。
- テレビ放送を見ているときに「操作一覧」ボタンを5秒以上押してもステータスを表示します。

ボード　CSデジタル放送の情報を見る

加入のケーブルテレビ局のサービス内容によっては、表示されない場合があります。

3 ▼で「ボード」を選び、決定 を押す

4 ▼で「CS1ボード」または「CS2ボード」を選び、決定 を押す

5 ▼で確認したい情報を選び、決定 を押す

情報を表示します。

お好みページ　データ放送からのお好みページを使う

3 ▼で「お好みページ」を選び、決定 を押す

データ放送 | ブラウザ | 青データ放送 | 赤ブラウザ | 緑 | 黄

	タイトル／内容	有効期限
1	○○○○○○○○○○○○	00/00/00
2	○○○○○○○○○○○○	00/00/00

- 「ブラウザ」になっているときは、青を押して「データ放送」に戻します。

4 ▼で実行したい「タイトル」を選び、決定 を押す

データ放送 | ブラウザ | 青データ放送 | 赤ブラウザ | 緑 | 黄

	タイトル／内容	有効期限
1	○○○○○○○○○○○○	00/00/00
2	○○○○○○○○○○○○	00/00/00
3	○○○○○○○○○○○○	00/00/00
4		

- 登録されている内容に従った動作が行われます。
  <例>
  - 指定されたテレビ放送のチャンネルに切り換えます。
  - ポータルサイトに似た画面でインターネットのページを表示します。（ブロードバンド環境のない場合は動作しません。）
  - エラーメッセージが表示された場合は107ページを参照ください。

■お好みページの削除

①手順4で、サブメニュー S を押す

②「削除」を選び、決定 を押す

■お好みページの自動削除

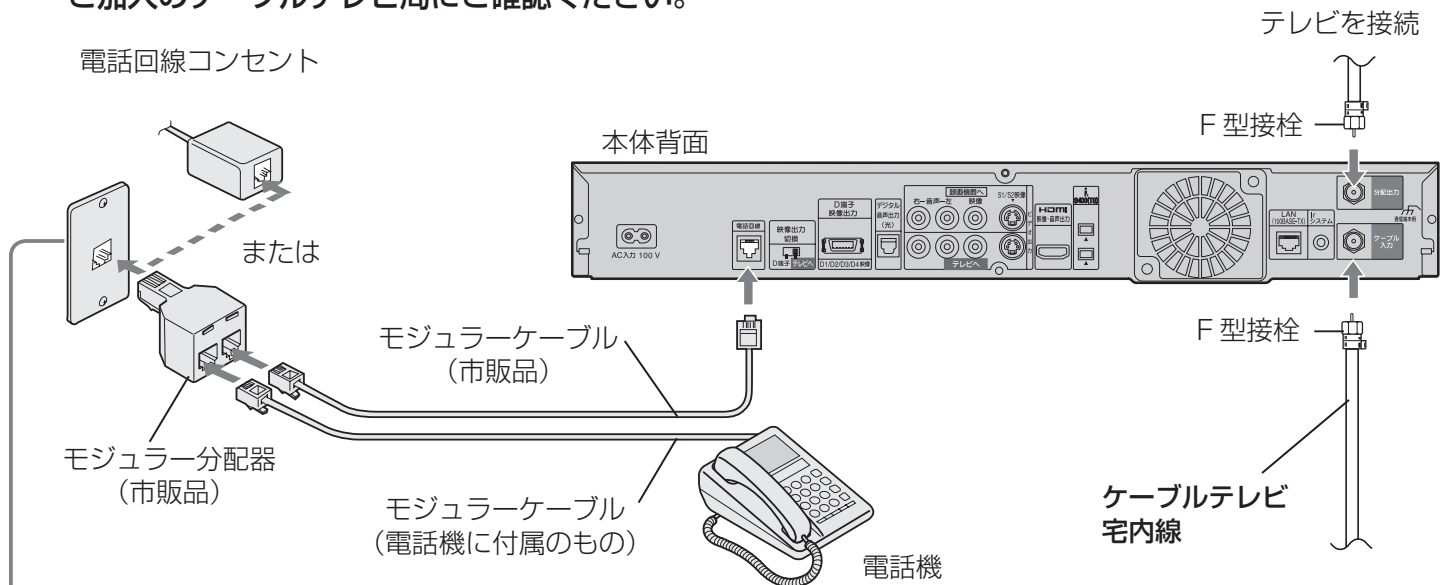
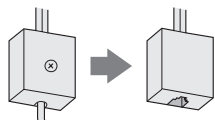
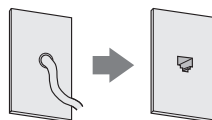
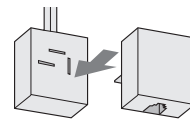
<例：データ放送からの指示で自動的に削除させる>

①手順4で、サブメニュー Sを押す

②「削除許可設定」の項目を選び、設定を「許可」に変える

③「更新」を選び、決定 を押す

ケーブルテレビ宅内線／電話回線

電話回線は、有料番組や視聴者参加番組を楽しむときに必要になる場合があります。ご加入のケーブルテレビ局にご確認ください。

直付型ローゼット
モジュラーコンセントへの工事が必要です。

埋め込み型プレート
モジュラーコンセントへの工事が必要です。

3ピンジャックコンセント
3ピン変換アダプター（市販品）が必要です。

■工事をされる場合は
電話回線に関する工事は資格を受けた人（工事担任者）でなければ行えません。NTT 営業所へご相談ください。

接続上のお願い

● **モジュラー分配器について（市販品）**
- 本機の電話回線端子に差し込まないでください。取り外せなくなる場合があります。
- 1つの電話回線に3つの機器を接続する場合は、3分配用モジュラー分配器をご使用ください。

● **モジュラーケーブルについて**
- 電話コンセントから本機までの長さに合わせて、市販のモジュラーケーブルをお買い求めください。
- 設置場所によっては壁に沿わせるなどして、邪魔にならないように十分配慮してください。

● ISDN回線でターミナルアダプターのアナログポートに接続している場合や、当社製デジタルコードレス電話機でワイヤレスリンク接続している場合は、「回線設定」で「プッシュ」を選んでください。（☞72ページ）

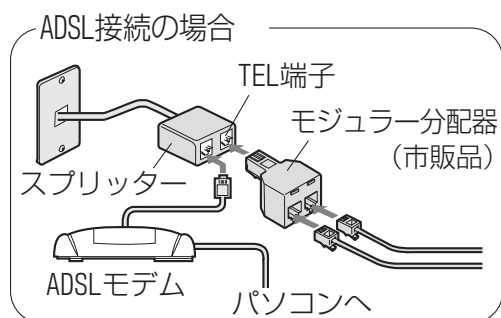
● FAXと電話を並列接続した場合、セットトップボックスからの信号でFAXが誤動作することがあります。

● IP電話回線に接続すると、つながらない場合があります。NTTの電話回線に切り換えると接続できる場合があります。切り換えの方法についてはIP電話回線業者にお問い合わせください。

の接続

B-CAS／C-CASカードの挿入

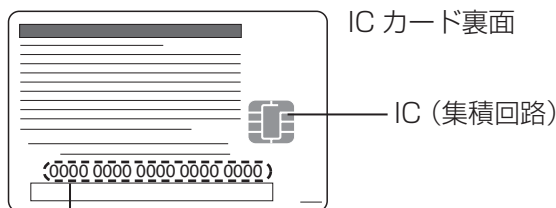
お願い

●ケーブル端子・分配出力端子にF型接栓を接続するときは、手で緩まない程度に締めつけてください。
締めつけ過ぎると本機内部が破損する場合があります。
●ケーブル端子には、ケーブル宅内線以外のケーブルを接続しないでください。
●分配出力端子には、BSアンテナなどへ電源供給を行っているケーブルを接続しないでください。

■次の電話回線には接続できません。

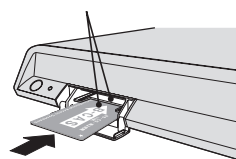
●ISDN回線（ただし、ISDNのターミナルアダプターにアナログポートがあれば接続できます）
●デジタル方式の構内交換機に接続されている電話回線
●「内線設定」が、9桁以上必要な構内交換機の電話回線
●ホームテレホンやビジネスホンが接続されている電話回線（主装置、ターミナルボックス、ドアホンアダプターが接続）

BS／地上デジタルテレビ放送は、放送番組の著作権保護のため、2004年4月からコピー回数を限定したコピー制御信号を加えて放送されています。（☞ 36ページ）
その信号を有効に機能させるためにB-CASカードが必要です。

■ ICカードについて

●ご加入のケーブルテレビ局のサービス内容によりB-CASカードのみの場合があります。

●有料番組の契約内容などを管理するための大切な番号です。問い合わせの際にも必要です。裏表紙の「便利メモ」に記入しておいてください。

1 電源プラグがコンセントに差し込まれていないことを確認する（電源プラグを抜いた状態）

2 前面の扉を開け、ICカードを挿入し、扉を閉める

●ご使用中は抜き差ししないでください。視聴できなくなる場合があります。

■ ICカードのテストをするとき（☞ 71ページ）

■ ICカードを抜くとき

① 電源プラグを電源コンセントから抜く
② ゆっくりとICカードを抜く

●ICカードには、IC（集積回路）が組み込まれているため、画面にメッセージが表示されたとき以外は抜き差ししないでください。（☞ 105ページ）
●ICカードを抜き差ししたときは、3秒以上経ってから、ICカードテストを行ってください。（☞71ページ）

お願い

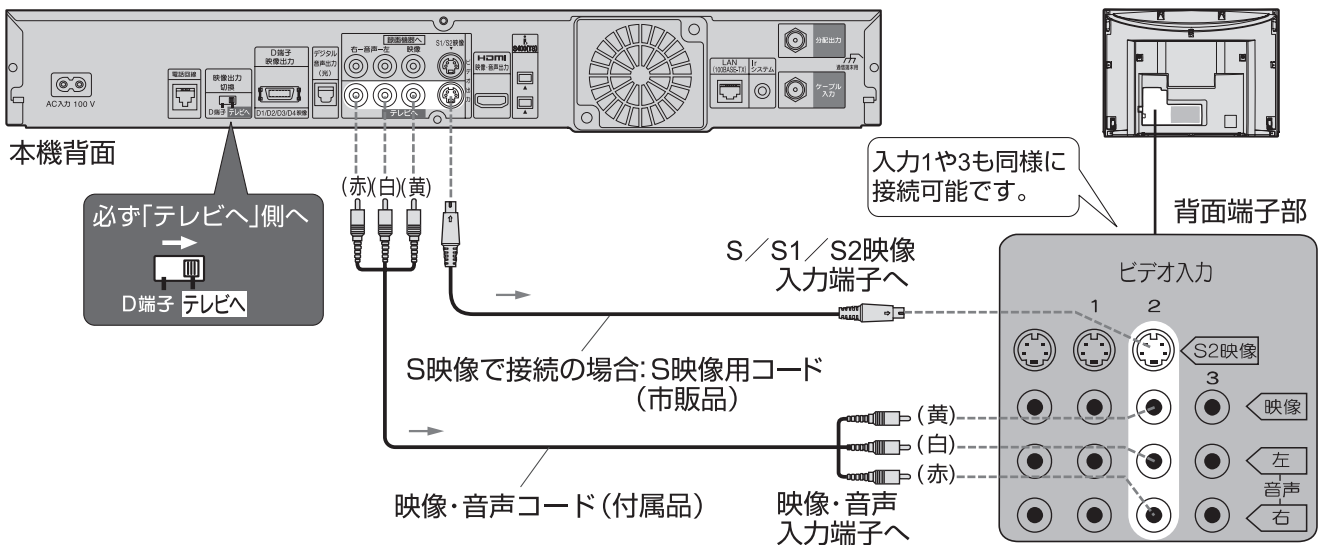
●本機専用のICカード以外のものを挿入しないでください。故障や破損の原因となります。
●裏向きや逆方向から挿入しないでください。
挿入方向を間違うとICカードは機能しません。

ICカードの抜き差しについては、ご加入のケーブルテレビ局にご相談いただき指示に従って操作してください。

テレビの接続

（→ は信号の流れる方向を示します。）

接続は本機および各機器の電源プラグを電源コンセントに接続しない状態で行ってください。
接続後、テレビに合わせて「接続テレビ設定」を行ってください。（☞ 73 ページ）

映像・音声コードやS映像コードで接続する場合

お願い

●S1／S2映像入力端子付きテレビと接続の場合は、「S端子出力」の設定をしてください。（☞74ページ）

D端子ケーブルで接続する場合

D映像入力端子付きテレビ

D映像入力端子へ

D端子ケーブル
（市販品）

入力2も同様に
接続可能です。

音声コード
（市販品）

背面端子部

(白)
(赤)

音声入力端子へ

D端子入力

ビデオ入力

D3映像

S2映像

映像

左
音声
右

本機背面

(赤)(白)

(赤)(白)(黄)

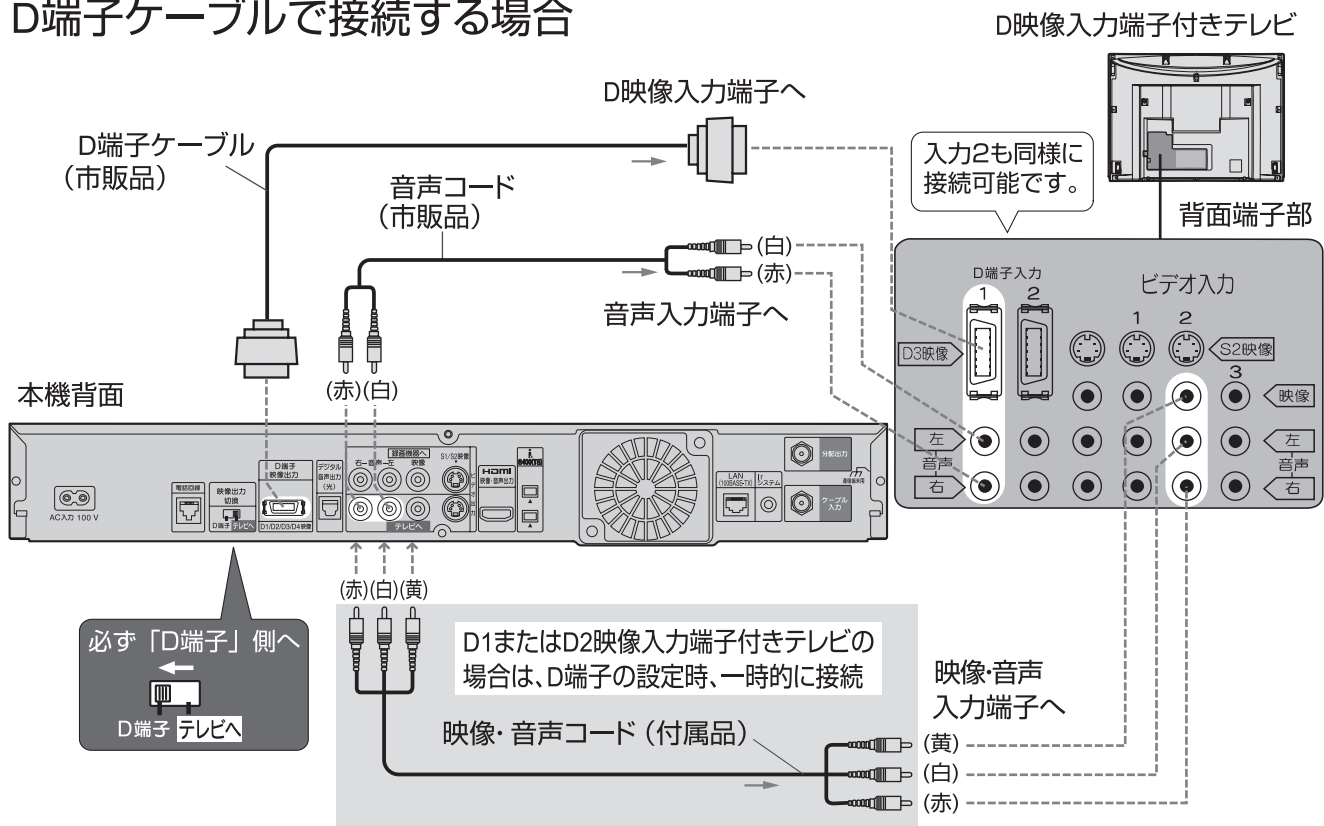
必ず「D端子」側へ

D端子 テレビへ

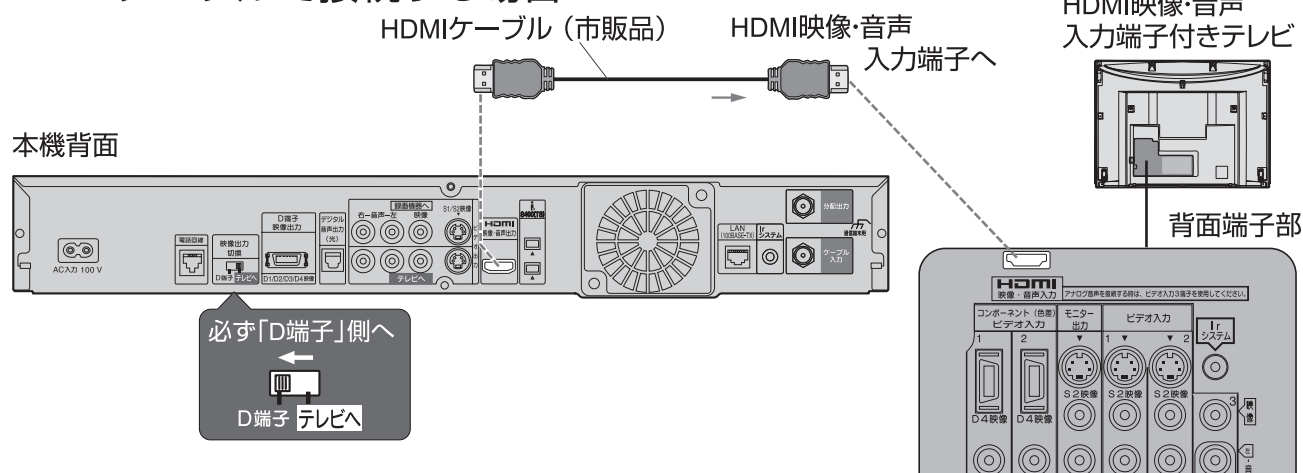
D1またはD2映像入力端子付きテレビの
場合は、D端子の設定時、一時的に接続

映像・音声
入力端子へ

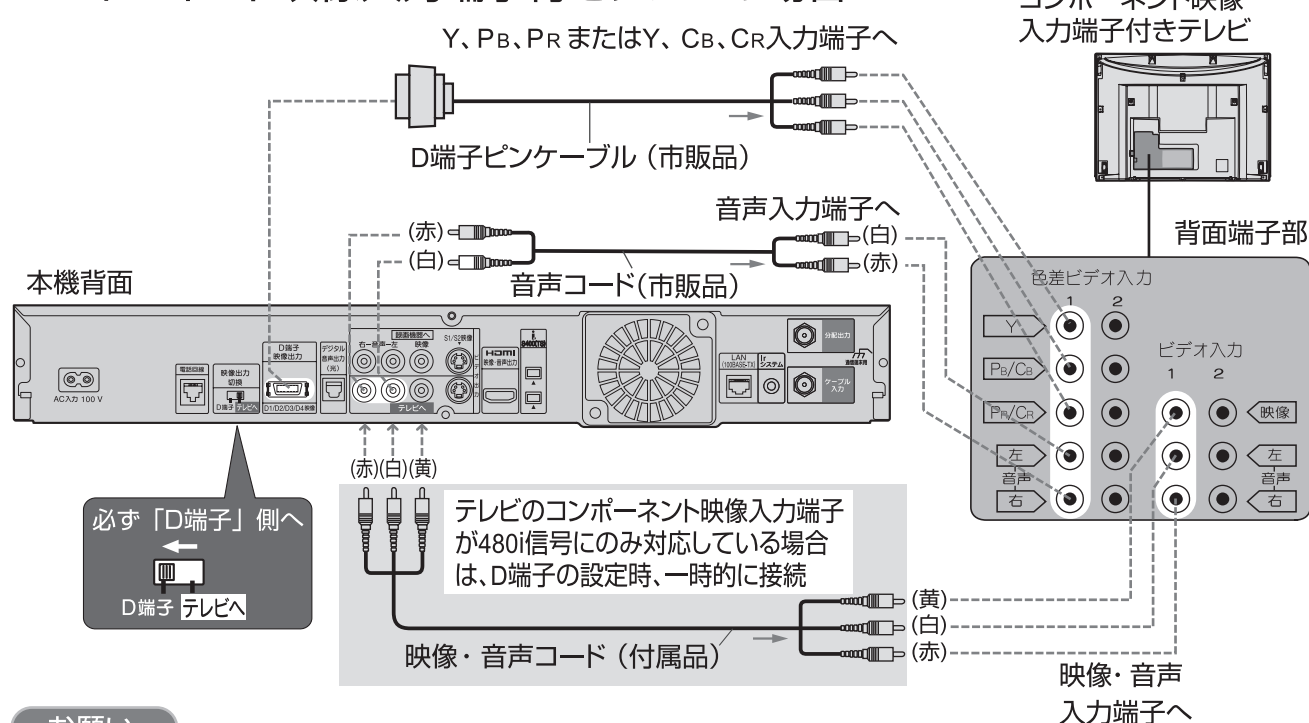
映像・音声コード（付属品）

(黄)
(白)
(赤)

お願い

●接続するテレビのD入力端子に合わせて「HDMI／D端子出力」の設定をしてください。（☞73ページ）
（テレビがD1またはD2映像端子の場合は、上図の映像・音声コードを一時的に接続し、映像出力切換スイッチを「テレビへ」側にしてから、ビデオ入力画面で設定してください。）

HDMIケーブルで接続する場合

お願い

- HDMI規格に準拠したHDMIロゴのついたケーブルをご使用ください。
- 映像出力切換スイッチが「テレビへ」側に設定されていると、アスペクト比（画面の縦横比）が正しく表示されない場合があります。

コンポーネント映像入力端子付きテレビの場合

お願い

- 接続するテレビのコンポーネント入力端子が対応している信号方式に合わせて「HDMI／D端子出力」の設定をしてください。（☞ 73ページ）
（テレビが480i信号のみに対応している場合は、上図の映像・音声コードを一時的に接続し、映像出力切換スイッチを「テレビへ」側にしてから、ビデオ入力画面で設定してください。）

コピーガードがかかっている番組は録画機器を経由してテレビで視聴したり、一部のビデオ内蔵型テレビで視聴すると正常に受像できない場合があります。コピーガードがかかっている番組を視聴する場合は、録画機器を経由しないで直接、本機とテレビを接続してください。

ネットワークへの接続

TZ-DCH2810は、ケーブルモデムを内蔵していないため、
LAN（100BASE-TX）端子にケーブルモデムなどの接続が必要です。

必要な機器を接続する

●詳しくは、ご加入のケーブルテレビ局にご相談ください。
なお、ご加入のケーブルテレビ局以外のプロバイダー経由でインターネット接続されている場合は、ご加入のプロバイダーにご相談ください。

本機のネットワーク接続方法は、ご加入のケーブルテレビ局により異なりますので設置、設定、変更などは必ずご加入のケーブルテレビ局にご相談ください。また、ご加入のケーブルテレビ局のサービス内容によりご利用いただけない場合があります。
ご加入のケーブルテレビ局以外のプロバイダー経由でインターネット接続されている場合は、ご加入のケーブルテレビ局ではなくご加入のプロバイダーにご相談ください。

■ご加入のケーブルテレビ局のサービス内容により必要な機器と接続方法が異なります。

- ケーブルモデムと接続するためには、新たにご加入のケーブルテレビ局とご契約が必要になる場合があります。
  ご加入のケーブルテレビ局にお問い合わせください。
- 本機とケーブルモデムなどブロードバンド機器の設定は、ご加入のケーブルテレビ局にご相談ください。なお、ご加入のケーブルテレビ局以外のプロバイダー経由でインターネット接続されている場合は、ご加入のプロバイダーにご相談ください。
  接続の変更および設定の変更は、ご加入のケーブルテレビ局または、ご加入のプロバイダーにご相談ください。ご自分で変更された場合、動作に支障が出る場合があります。
- ご使用の環境によりケーブルモデムなどブロードバンド機器がご使用になれない場合があります。
  詳細は、ご加入のケーブルテレビ局にご相談ください。なお、ご加入のケーブルテレビ局以外のプロバイダー経由でインターネット接続されている場合は、ご加入のプロバイダーにご相談ください。

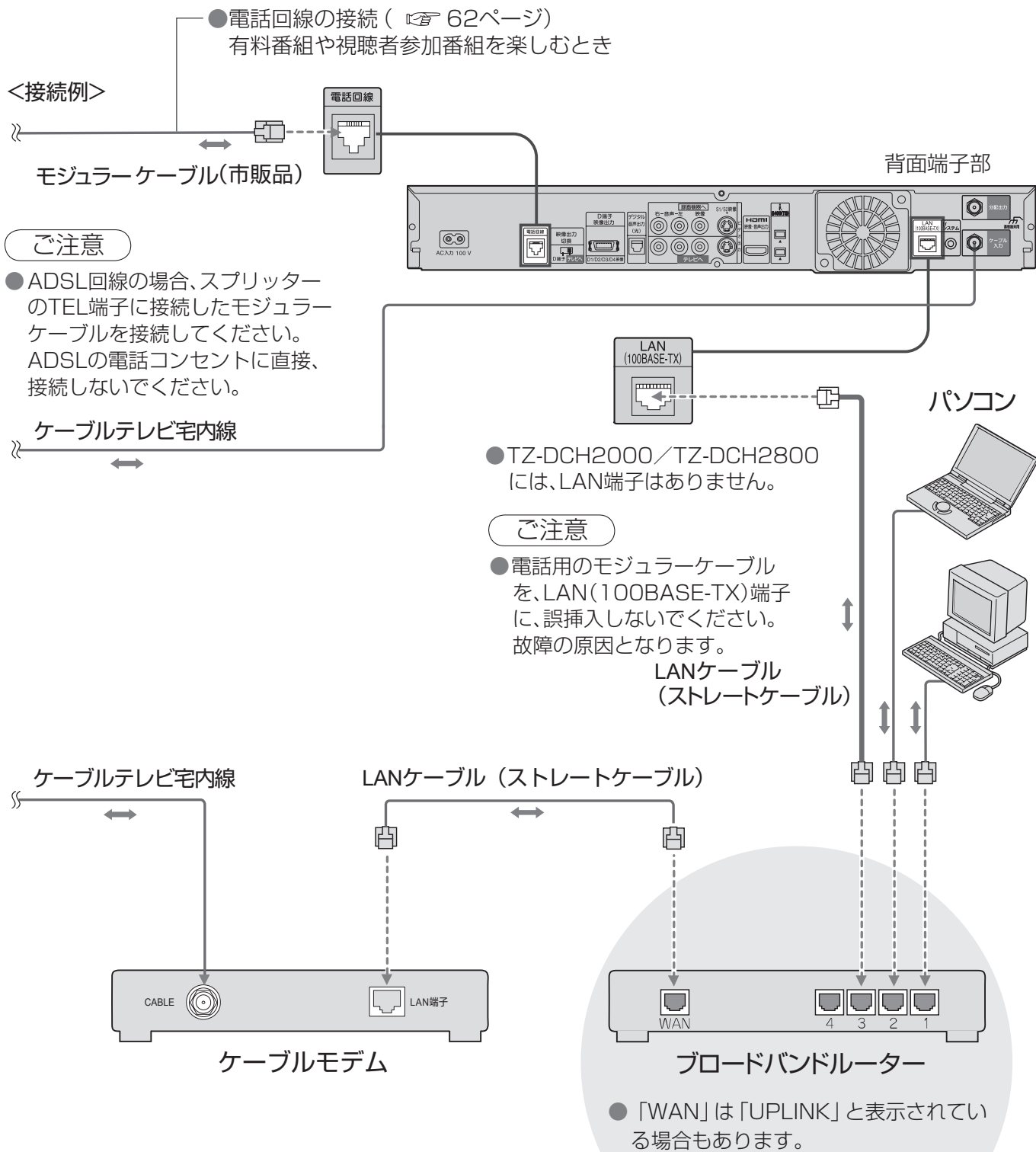
ケーブルモデム

ＣＡＴＶの回線を使ってインターネットに接続するための装置です。
電話回線におけるモデムの役割を果たすため、ケーブルモデムと言います。

ブロードバンドルーター

複数台の機器を同時にインターネットに接続するためのネットワーク機器です。ルーターの接続や設定の詳細は、ルーターの取扱説明書をご覧ください。

お願い

- ご加入のケーブルテレビ局のサービス内容によりこの機能が使用できない場合があります。接続および設定につきましては、ご加入のケーブルテレビ局にご相談ください。なお、ご加入のケーブルテレビ局以外のプロバイダー経由でインターネット接続されている場合は、ご加入のプロバイダーにご相談ください。
- ブロードバンドルーターやケーブルモデムはLAN端子が10BASE-Tでもご使用頂けます。
- 100BASE-TX用の機器を接続する場合は「カテゴリ5」のLANケーブルをご使用ください。

■接続後は、必ずネットワークの設定（ ☞ 76ページ）を行ってください。

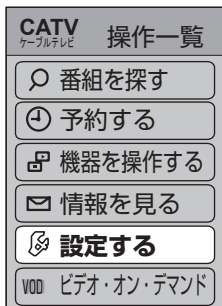
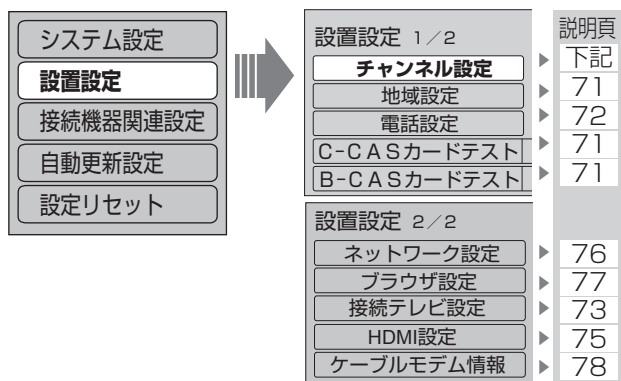
設置設定

各機器を接続後、以下の設置設定を行ってください。

操作するリモコンのボタン位置（☞11ページ）

1

を押す

2 ▼で「設定する」を選び、(決定) を押す

3 ▼で「設置設定」を選び、(決定) を３秒以上押す

●設定が有効でない項目は、灰色表示になります。

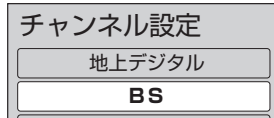
チャンネル設定

BS、CS1、CS2は工場出荷時、いくつかのチャンネルが設定されていますが、お好みに合わせて変更することもできます。

●普段よくご覧になるチャンネルは、リモコンの数字ボタンや、お好み選局に登録すると便利です。

4 ▼で「チャンネル設定」を選び、 を押す

BS、CS1、CS2、CATVのとき

5 ▼で「設定する放送」を選び、(決定) を押す

①◀▶で「修正」を選び、(決定) を押す

チャンネル設定

修正	入替		終了
リモコン	CH	放送局名	種類
1	101	NHK BS1	テレビ
2	102	NHK BS2	テレビ
3	103	NHK h	テレビ
4	141	BS日テレ	テレビ
5	151	BS朝日1	テレビ

●受信されている放送のみ表示されます。ご加入のケーブルテレビ局のサービス内容により表示が異なります。

②▲▼で修正したい行（リモコン番号）を選ぶ

③◀▶で「CH」の項目を選び、▲▼で変更する

チャンネル設定

修正	入替		終了
リモコン	CH	放送局名	種類
1	101	NHK BS1	テレビ
2	102	NHK BS2	テレビ
3	103	NHK h	テレビ
4	**141**	BS日テレ	テレビ
5	151	BS朝日1	テレビ

④ 戻る を押し、▶で「終了」を選び、(決定) を押す

チャンネル設定

修正	入替		終了
リモコン	CH	放送局名	種類
1	101	NHK BS1	テレビ
2	102	NHK BS2	テレビ
3	103	NHK h	テレビ

⑤ 確認画面で◀を押して「はい」を選び、(決定) を押す

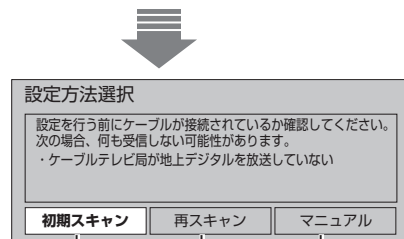
●リモコンの13～36に設定したチャンネルは、お好み選局表に登録され、その表から選局できます。

●選局対象（☞54ページ）を「お好み」にすると、上記の手順で設定したチャンネルでの順送り選局ができます。

● 設定中、戻る ◯ で1つ前の画面に戻ります。
● 設定後は、[元の画面] でテレビ放送の画面に戻します。

地上デジタルのとき

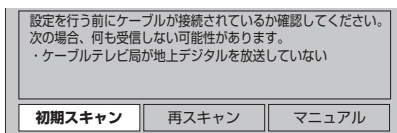
5 ▼で「地上デジタル」を選び、

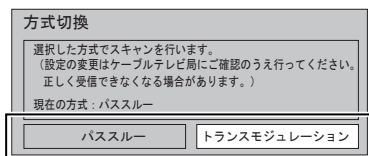
 を押す

改めて自動でチャンネル設定する

自動で設定したチャンネルを修正したいとき

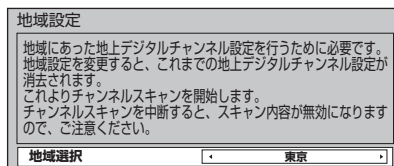
地上デジタル放送の受信チャンネルが変わったとき、受信できる局を自動で追加するとき

初期スキャン

①◀▶で「初期スキャン」を選び、(決定) を押す

② 青 を押し、方式切換の画面が表示されたら◀▶でチャンネルスキャン方式を選び、(決定) を押す

●TZ-DCH2000の場合、この画面は表示されません。手順③へお進みください。

「パススルー」または「トランスモジュレーション」を選ぶ

設定の変更はご加入のケーブルテレビ局にご確認ください。

③◀▶でお住まいの地域を選び、(決定) を押す

●チャンネルスキャン画面を表示します。受信できるチャンネルを調べて新しく一覧表示します。（今までの設定は全てリセットされます。）
●スキャン中は映像と音声は出ません。終わるまでに、10分程度、かかる場合があります。

④正しく設定されていることを画面で確認し、◀▶で「終了」を選び、(決定) を押す

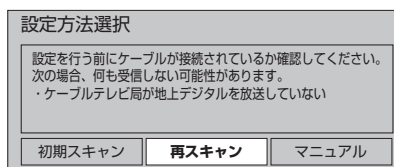
■修正したいとき

→70ページ「マニュアル」の手順②へ

⑤確認画面で◀を押して「はい」を選び、

 を押す

再スキャン

①◀▶で「再スキャン」を選び、(決定) を押す

●10分程度、時間がかかる場合があります。
●新たに受信できた放送局は自動的に追加されます。

② 正しく設定されていることを画面で確認し、▶で「終了」を選び、(決定) を押す

■修正したいとき

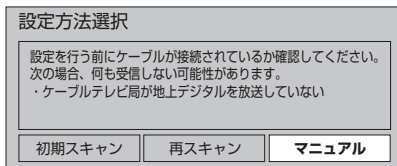
→☞70ページ「マニュアル」の手順②へ

③確認画面で◀を押して「はい」を選び、(決定) を押す

次ページにつづく▶▶▶

設置設定

■ マニュアル

①◀▶で「マニュアル」を選び、(決定) を押す

②◀▶で「修正」を選び、(決定) を押す

チャンネル設定

修正 | 入替 | 終了

リモコン	CH	放送局名	種類
1	011	NHK総合	テレビ
2	021	NHK教育	テレビ
3	----	ーーーー	ーーー
4	041	日本テレビ	テレビ
5	051	テレビ朝日	テレビ
6	061	TBS	テレビ

③▲▼で修正したい行(リモコン番号)を選ぶ

④◀▶で「CH」の項目を選び、▲▼で修正(変更)する

⑤ (戻る) を押し、▶で「終了」を選び、(決定) を押す

チャンネル設定

修正 | 入替 | 終了

リモコン	CH	放送局名	種類
1	011	NHK総合	テレビ
2	021	NHK教育	テレビ
3	----	ーーーー	ーーー
4	041	日本テレビ	テレビ
5	051	テレビ朝日	テレビ
6	061	TBS	テレビ

⑥確認画面で◀を押して「はい」を選び、(決定) を押す

■設定した項目(「放送局名」や「CH」など)を他のリモコン番号と入れ替えたいとき

① ◀▶で、「入替」を選び、(決定) を押す

② ▲▼で、入れ替えたい番号を選び、(決定) を押す

③ ▲▼で、入れ替え先の番号を選び、(決定) を押す

④ (戻る) を押し、▶で「終了」を選び、(決定) を押す

お好み選局ボタンでチャンネル設定する

1 設定したいチャンネルを受信中に
(お好み選局) を約3秒間押して
「お好み設定」画面にする

<お好み設定画面>

お好み設定　BS　101 LOGO

1/3ページ			2/3ページ			3/3ページ		
①101	②102	③103	①300	②316	③320	①900	②910	③933
④141	⑤151	⑥161	④744	⑤755	⑥766	④940	⑤955	⑥963
⑦171	⑧181	⑨191	⑦777	⑧780	⑨791	⑦	⑧	⑨999
⑩200	⑪211	⑫222	⑩800	⑪333	⑫633	⑩	⑪	⑫

▲▼◀▶ 選択　決定 登録　お好み選局1秒押し削除

2 ▲▼◀▶で画面上のボタンを選び、(決定) を押す

●受信中のチャンネルが選んだボタンに登録されます。

■設定したチャンネルを削除するとき

→▲▼◀▶で選び、(お好み選局)を1秒以上押す

チャンネル設定について

チャンネル設定のリモコン1～12に登録したチャンネルはリモコンの数字ボタン1～12で選局できます。またお好み選局の1ページ目に表示します。(同様にリモコン13～24はお好み選局の2ページ目、リモコン25～36は3ページ目に表示します。)

● **設定中、**戻る ◯ で1つ前の画面に戻ります。
● **設定後は、**[元の画面] でテレビ放送の画面に戻します。

以下は、68ページ手順1〜3で「設置設定」画面を表示させてから行ってください。

地域設定

1 ▼で「地域設定」を選び、
(決定) を押す

2 ▼で「県域設定」を選び、◀ ▶でお住まいの地域を選ぶ

● 伊豆、小笠原諸島地域は→「東京都島部」
● 南西諸島鹿児島県地域は→「鹿児島県島部」

3 ▼で「郵便番号」を選び、
(決定) を押す

4 [1] 〜 [10] (ゼロ) 0 で郵便番号を入力し、
(決定) を押す

■入力を間違えたとき
→ [12] を押す

5 確認画面で◀を押して「はい」を選び、
(決定) を押す

■地域設定を工場出荷時に戻すには

①▼で「地域設定削除」を選び、(決定)を押す
②◀で「はい」を選び、(決定)を押す

B-CAS/C-CASカードテスト

●カードを挿入して3秒以上経ってから行ってください。
●ご加入のケーブルテレビ局のサービス内容により、B-CASカードのみの場合があります。

1 ▼で「C-CASカードテスト」を選び、
(決定) を押す

「NG」が出たら、C-CASカードの挿入を確認してください。(☞63ページ)

2 ▼で「B-CASカードテスト」を選び、
(決定) を押す

「NG」が出たら、B-CASカードの挿入を確認してください。(☞63ページ)

設置設定

以下は、68ページ手順1～3で「設置設定」画面を表示させてから行ってください。

電話の設定

電話回線の接続を確認してから設定をしてください。
(☞62ページ)

1 ▼で「電話設定」を選び、(決定) を押す

電話回線を設定する

① ▼で「回線設定」または「トーン検出」を選び、◀ ▶で設定する

- 電話テストで自動的に選ぶとき→「自動」
  自動でうまく設定できないとき→
  - ダイヤルボタンを押すと『ピッポッパ』と音が出る場合は「プッシュ」
  - 出ない場合は「ダイヤル20(20pps)」か「ダイヤル10(10pps)」を選ぶ。
  回線設定が「自動」以外のときに設定します。

- 通常ご使用のとき
  →「する」
- 受話器を上げても『ツー』音が聞こえないとき
  →「しない」

外線使用時に0発信などが必要な電話のとき

①「内線設定」を選び、(決定) を押す

②0発信の電話のときは「0」を入力し、(決定) を押す

(例)
(ゼロ)

③確認画面で◀を押して「はい」を選び、(決定) を押す

■間違えたとき→□(赤ボタン)を押す

■0発信の後、外線につながるまで時間のかかる電話のとき
→□(青ボタン)を押す
(画面に「,」を表示。1つで3秒の待ち時間)

- 外線選択のための番号は、ご使用の環境により「0」でない場合があります。

相手に電話番号を通知するか決める

① ▼で「発信者番号通知」を選び、◀ ▶で設定する
(2ページ目になるまで▼を押す)

電話設定 2／2		
発信者番号通知	指定なし	
電話会社設定		
マイラインプラス	解除する	解除しない

通知する	相手に常に通知する
通知しない	相手に常に通知しない
指定なし	電話会社との契約に従う

本機から電話をかけるときのみ電話会社を変えたいとき

① ▼で「電話会社設定」を選び、(決定) を押す

② [1 あ @.] ～ [10 ゛゜ 記号 0](ゼロ) で電話会社の番号を入力し、(決定) を押す

■入力を間違えたとき
→□(赤ボタン)を押す

③ 確認画面で◀を押して「はい」を選び、(決定) を押す

④ マイラインプラスを契約のとき、◀で「解除する」を選ぶ

発信者番号通知	指定なし	
電話会社設定		
マイラインプラス	解除する	解除しない

- この設定が有効になる放送は2008年3月現在ありません。

電話設定が正しく設定されているか確認する

① ▼で「電話テスト」を選び、(決定) を押す

内線設定	9
電話テスト	－－

OK	正常終了
NG	画面の指示に従ってください。
テスト中	テスト中(最大約3分間かかります。)

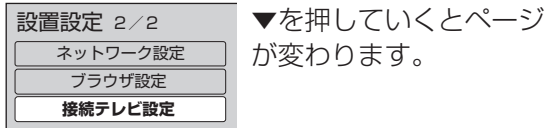
- **設定中、**戻る ◯ で1つ前の画面に戻ります。
- **設定後は、**[元の画面] でテレビ放送の画面に戻します。

接続テレビの設定

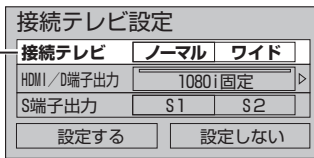
接続するテレビに合わせて映像信号の出力方式を切り換えます。

1 **▼で「接続テレビ設定」を選び、(決定) を押す**

設置設定 2／2
ネットワーク設定
ブラウザ設定
接続テレビ設定

▼を押していくとページが変わります。

（設置設定2ページ目）

2 **▼で「接続テレビ」を選び、◀▶で設定する**

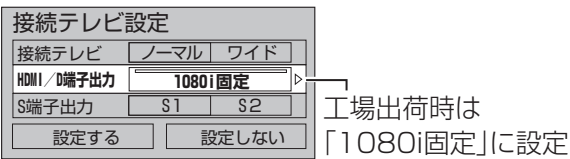
接続テレビ設定
接続テレビ ノーマル ワイド
HDMI／D端子出力 1080i固定
S端子出力 S1 S2
設定する 設定しない

ノーマル 普通のテレビ（4:3）のとき
ワイド ワイドテレビ（16:9）のとき

- ワイドテレビにD端子がなく、別の入力端子で接続している場合は、テレビ側も画面モード切り換えで、送られてくる信号に合わせて正常な映像の横縦比になるモードを選んでください。

HDMI入力端子／D入力端子に接続したとき

接続したテレビに合わせた設定を行います。

3 **▼で「HDMI／D端子出力」を選び、◀▶で設定する**

工場出荷時は「1080i固定」に設定

テレビのD映像入力端子	テレビのコンポーネント映像入力端子（Y、PB／CB、PR／CR） または HDMI端子
D1映像	480i（525i）の信号に対応
本機の設定	「480i／D1」
D2映像	480i（525i）、480p（525p）の信号に対応
本機の設定	「480p固定」または「480p／D2」
D3映像	1080i（1125i）、480i（525i）、480p（525p）の信号に対応
本機の設定	「1080i固定」または「1080i／D3」
D4映像	1080i（1125i）、720p（750p）、480i（525i）、480p（525p）の信号に対応
本機の設定	「1080i固定」または「720p／D4」
	1080i（1125i）の信号に対応
本機の設定	「1080i固定」

- 「接続テレビ」設定が「ノーマル」の場合は、「480i／D1」・「480p／D2」・「1080i／D3」・「480p固定」が選択できます。

お知らせ

- HDMI出力端子または、D端子映像出力端子から出力する映像信号は、放送局から送られてくる信号と HDMI／D端子出力の設定により異なります。正しく設定できていない場合は、映像が映らなかったり映像が映っても、接続されるテレビの持っている本来の画質にならないことがあります。（詳しくは83ページをご覧ください。）
- 「1080i固定」に設定すると、番組内容、画面表示、番組表など、本機の表示する画面がより鮮明な画質で文字などがさらに見やすくなります。
- 「1080i固定」に設定すると画面モードが固定されるため、接続されるテレビによっては、ハイビジョン放送以外の放送を画面いっぱいに広げることができない場合があります。この場合、テレビの入力端子がD3またはD4端子であれば、D端子の設定を「1080i／D3」や「720p／D4」に変更してみてください。
- 「1080i固定」に設定すると、接続されるテレビによっては、映像が若干縦伸びする場合があります。この場合はテレビ側で画面サイズを調整してください。ただし、一部機種にはこの機能がない場合があります。（テレビの取扱説明書をご確認ください。）

次ページにつづく▶▶▶

S出力端子に接続したとき

接続したテレビに合わせた設定を行います。

3 ▼で「S端子出力」を選び、◀▶で設定する

S1	S1入力端子付きテレビのとき
S2	S2入力端子付きテレビのとき

※詳しくは83ページをご覧ください。

4 ▼◀で「設定する」を選び、(決定) を押す

接続テレビ設定
接続テレビ　ノーマル　ワイド
HDMI／D端子出力　1080i固定
S端子出力　S1　S2
設定する　設定しない

- 設定しない場合は、「設定しない」を選びます。
- 設定を変更していない場合は、「設定する」を選び、決定することはできません。

5 ◀で「はい」を選び、(決定) を押す

- 「はい」を選ぶと、設定した映像信号が15秒間出力されます。
  D端子出力の設定を変更した場合は15秒の間にテレビを色差ビデオ入力(D端子)に切り換えて、正しく映るか確認してください。
  正しく映らなかった場合は、元のビデオ入力画面に戻して、再度D端子出力の設定を行ってください。
- 設定しない場合は、「いいえ」を選べば、「接続テレビ設定」画面に戻ります。

6 映像が正しく映れば ◀で「はい」を選び、(決定) を押す

走査線について

1080i
デジタルハイビジョン放送（HD）の1つで、1/60秒ごとに1125本の走査線を半分に分けて交互に流すインターレース（飛び越し走査）方式です。走査線数は現行テレビ放送の525本の倍以上の1125本もあるため、細部まできれいに表現され臨場感豊かな映像になります。

480i
デジタル標準テレビ放送（SD）の1つで、1/60秒ごとに525本の走査線を半分に分けて交互に流すインターレース（飛び越し走査）方式です。現行のテレビ放送やBS放送と同等の解像度です。

480p
デジタル標準テレビ放送（SD）の1つで、1/60秒ごとに525本の走査線を同時に流すプログレッシブ（順次走査）方式です。インターレース方式のように交互に流さないので、チラツキが少なくなります。

720p
デジタルハイビジョン放送（HD）の1つで、1/60秒ごとに750本の走査線を同時に流すプログレッシブ（順次走査）方式です。インターレース方式のように交互に流さないので、チラツキが少なくなります。

● **設定中、**戻る◯ で1つ前の画面に戻ります。
● **設定後は、**[元の画面] でテレビ放送の画面に戻します。

以下は、68ページ手順1～3で「設置設定」画面を表示させてから行ってください。

HDMI端子に接続したとき

HDMI端子で接続したときのみ設定を行ってください。

1 ▼で「HDMI設定」を選び、(決定) を押す

設置設定 2／2
ネットワーク設定
ブラウザ設定
接続テレビ設定
HDMI設定
ケーブルモデム情報

項目を送るとページが変わります。
（設置設定2ページ目）

2 ▼で「カラースペース」を選び、◀▶で設定する

HDMI設定	
カラースペース	**RGB**
RGB出力レンジ	スタンダード
設定する	設定しない

「RGB」、「YCbCr　4:4:4」、「YCbCr　4:2:2」から選ぶ

● 接続する機器によって画質が異なります。お好みの画質を選んでください。
● 接続した機器が対応していない項目は表示されません。
● RGBに設定すると、下記RGB出力レンジ設定が有効になります。

3 ▼で「RGB出力レンジ」を選び、◀▶で設定する

HDMI設定	
カラースペース	RGB
RGB出力レンジ	**スタンダード**
設定する	設定しない

「スタンダード」または、「エンハンス」を選ぶ

● 映像の黒白が鮮明でないときは、「エンハンス」に設定してください。

4 ▼◀で「設定する」を選び、(決定) を押す

HDMI設定	
カラースペース	RGB
RGB出力レンジ	スタンダード
設定する	設定しない

● 設定しない場合は、「設定しない」を選ぶ。
● 設定を変更していない場合は、「設定する」を選び決定することはできません。

5 ◀で「はい」を選び、(決定) を押す

HDMIの出力を変更します。正しく表示されない場合は約15秒で元の設定に戻ります。実行しますか？

はい	いいえ

● 「はい」を選ぶと、設定した映像信号が15秒間出力されます。
● 設定しない場合は、「いいえ」を選べば、「HDMI設定」画面に戻ります。

6 映像が正しく映れば
◀で「はい」を選び、(決定) を押す

ネットワークの設定

本機で、お使いのブロードバンド環境へ接続するための設定です。
● 接続設定につきましては、ご加入のケーブルテレビ局にご相談ください。
● ご加入のケーブルテレビ局以外のプロバイダー経由でインターネット接続されている場合は、ご加入のプロバイダーにご相談ください。

以下は、68ページ手順1～3で「設置設定」画面を表示させてから行ってください。

アドレス設定

TZ-DCH2810のときは、以下のアドレス設定を行ってください。
TZ-DCH2000、TZ-DCH2800のとき、「アドレス設定」は必要ありません。77ページの「接続テスト」から設定を行ってください。

1 ▼で「ネットワーク設定」を選び、(決定)を押す

設置設定 2／2
ネットワーク設定
ブラウザ設定
接続テレビ設定
HDMI設定

項目を送るとページが変わります。

（設置設定2ページ目）

2 DHCPでのIPアドレス自動取得が使えるとき

① ▼で「IPアドレス自動取得」を選び、◀▶で「する」を選ぶ

ネットワーク設定 1／2	
接続テスト	–––
IPアドレス自動取得	する しない
IPアドレス	--- --- --- ---
サブネットマスク	--- --- --- ---
ゲートウェイアドレス	--- --- --- ---

取得したアドレスを表示

ブロードバンドルーターやルーター機能付きADSLモデムをお使いの場合は、通常DHCPでのIP自動取得が使えます。それぞれの機器の説明書をご覧ください。

IPアドレスを手動で入力するとき

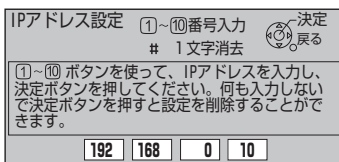
① ▼で「IPアドレス自動取得」を選び、▶で「しない」を選ぶ

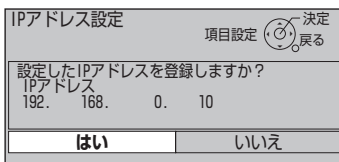
ネットワーク設定 1／2	
接続テスト	–––
IPアドレス自動取得	する しない
IPアドレス	--- --- --- ---
サブネットマスク	--- --- --- ---
ゲートウェイアドレス	--- --- --- ---

② ▼で「IPアドレス」、「サブネットマスク」、「ゲートウェイアドレス」をそれぞれ選び、(決定)を押す

③ ブロードバンドルーターの仕様を確認し、IPアドレスを画面の指示に従ってそれぞれ入力する

<入力画面例（IPアドレス）>

IPアドレス設定　①～⑩番号入力　# 1文字消去　決定　戻る
①～⑩ ボタンを使って、IPアドレスを入力し、決定ボタンを押してください。何も入力しないで決定ボタンを押すと設定を削除することができます。
192　168　0　10

IPアドレスを修正するときは (12) （1文字削除）で消去後に入力してください。

IPアドレス設定　項目設定　決定　戻る
設定したIPアドレスを登録しますか？
IPアドレス
192.　168.　0.　10
はい　いいえ

IPアドレスが0～255の範囲外の場合は、エラーメッセージが表示されます。

● 設定は、77ページの「接続テスト」を行うと有効になります。

3 DHCPでのDNSアドレス自動取得が使えるとき

① ▼で「DNS-IP自動取得」を選び、◀で「する」を選ぶ

ネットワーク設定 2／2	
DNS-IP自動取得	する しない
プライマリDNS	--- --- --- ---
セカンダリDNS	--- --- --- ---
MACアドレス	00-00-00-00-00-00

取得したアドレスを表示

（ネットワーク設定2ページ目）

DNSアドレスを手動で入力するとき

① ▼で「DNS-IP自動取得」を選び、▶で「しない」を選ぶ

ネットワーク設定 2／2	
DNS-IP自動取得	する しない
プライマリDNS	--- --- --- ---

● **設定中、**戻る◯ で1つ前の画面に戻ります。
● **設定後は、**元の画面 でテレビ放送の画面に戻します。

②▼でプライマリDNS、セカンダリDNSをそれぞれ選び、(決定)を押す

③ご加入のケーブルテレビ局または、ご加入のプロバイダーから指示された、IPアドレスを画面の指示に従ってそれぞれ入力する

<入力画面例(プライマリDNS)>

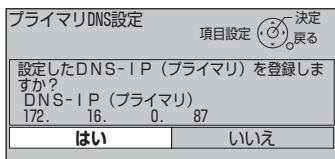
①~⑩ボタンを使って、DNS-IP（プライマリ）を入力し、決定ボタンを押してください。何も入力しないで決定ボタンを押すと、設定を削除することができます。

172 | 16 | 0 | 87

IPアドレスを修正するときは12(1文字削除)で消去後に入力してください。

プライマリDNS設定　項目設定　決定　戻る

設定したDNS-IP（プライマリ）を登録しますか？
DNS-IP（プライマリ）
172.　16.　0.　87

はい | いいえ

IPアドレスが0～255の範囲外の場合は、エラーメッセージが表示されます。

● 設定は、以下の「接続テスト」を行うと有効になります。

接続テスト

1 **76ページ手順2のネットワーク設定画面で▼で「接続テスト」を選び、(決定)を押す**

ネットワーク設定　1／2

接続テスト	ーー
IPアドレス自動取得	する　しない
IPアドレス	--- --- --- ---
サブネットマスク	--- --- --- ---
ゲートウェイアドレス	--- --- --- ---

表示	内容
OK	接続が完了
NG	ブロードバンド環境の接続と設定の確認を行い、上記設定を確認して再度テストしてください。(☞107ページ)
テスト中	テスト中

ゲートウェイアドレスとは
インターネットへのアクセスで経由すべき機器のIPアドレスです。通常はブロードバンドルーターのIPアドレスを言います。（例：192.168.0.1）

ケーブルモデムとは
CATVの回線を使ってインターネットに接続するための装置です。電話回線におけるモデムの役割を果たすため、ケーブルモデムと言います。

サブネットマスクとは
ネットワークを効率的に使うために、ブロードバンドルーターにつなぐ機器のIPアドレスを絞り込むための数字です。（例：255.255.255.0）

ブラウザ設定

本機のブラウザ機能でホームページを正しく表示させるための設定です。

● プロキシアドレス
ブラウザの代わりに目的のサーバーに接続し、ブラウザにデータを送る中継サーバーのアドレス。ご加入のケーブルテレビ局からの指定があるときのみ、設定が必要です。
(例：proxy.○○○.ne.jp)

● プロキシポート番号
プロキシアドレスと共に、ご加入のケーブルテレビ局から指定される番号です。(例：8000)

1 **68ページ手順3の設置設定画面で▼で「ブラウザ設定」を選び、(決定)を押す**

2 **▼で「プロキシアドレス」を選び、(決定)を押す**

ブラウザ設定

プロキシアドレス	
プロキシポート番号	
ホームアドレス	https//t-navi.tv
接続テスト	

3 **アドレスを入力し、(決定)を押す**

プロキシアドレス設定

HTTPプロキシアドレスを入力し、決定ボタンを押してください。何も入力しないで決定ボタンを押すと、設定を削除することができます。

proxy.○○○.ne.jp

●文字の入力方法(☞50～53ページ)

4 **◀で「はい」を選び、(決定)を押す**

プロキシアドレス設定　項目選択　決定　戻る

設定したHTTPプロキシアドレスを登録しますか？
HTTPプロキシアドレス
proxy.○○○.ne.jp

はい | いいえ

5 **▼で「プロキシポート番号」を選び、**

(決定)を押す

ブラウザ設定

プロキシアドレス	proxy.○○○.ne.jp
プロキシポート番号	
ホームアドレス	https//t-navi.tv
接続テスト	

次ページにつづく▶▶▶

ネットワークの設定

- **設定中、**（戻る）で1つ前の画面に戻ります。
- **設定後は、**［元の画面］でテレビ放送の画面に戻します。

6 ［1あ@.］～［10゛゜記号 0］でポート番号を入力し、（決定）を押す

7 ◀で「はい」を選び、（決定）を押す

接続テスト

ポータルサイトに接続できるか確認します。

8 77ページの手順2の画面のとき ▼で「接続テスト」を選び、（決定）を押す

ブラウザ設定

プロキシアドレス	proxy.○○○.ne.jp
プロキシポート番号	8000
ホームアドレス	https//t-navi.tv
接続テスト	

■接続テスト用サイトにつながり正常に接続したことを示すメッセージが表示されたとき
→正しく設定ができています。

■正しく接続されなかったとき
→画面上にメッセージが表示されます。
接続と設定をご確認ください。
（☞62、66、76～78ページ）

ホームのアドレスを確認する

「ネット操作」パネル（☞46ページ）で「ホーム」を選んだときに表示されるページのアドレス（URL）を確認できます。

ブラウザ設定

プロキシアドレス	proxy.○○○.ne.jp
プロキシポート番号	8000
ホームアドレス	**https//t-navi.tv/**
接続テスト	

ケーブルモデムの情報を確認する

内蔵ケーブルのモデム情報を確認することができます。
TZ-DCH2810はケーブルモデムを内蔵していません。

1 68ページ手順3の設置設定画面で ▼で「ケーブルモデム情報」を選び、（決定）を押す

（設置設定2ページ目）

項目を送るとページが変わります。

2 ケーブルモデム情報を確認する

ケーブルモデム情報

MACアドレス	**-**-**-**-**-**
ソフトウェアバージョン	*.**
ダウンストリーム周波数	***.**MHz
ダウンストリーム受信レベル	**dBμV
ダウンストリームＳＮＲ	**.*dB
アップストリーム周波数	**.**MHz
アップストリーム送信レベル	***dBμV

●ケーブルモデムを使用しない設定の場合、「ケーブルモデム情報」は表示しません。

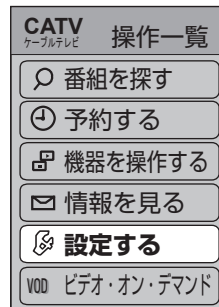
新しい情報のダウンロード方法を選ぶ

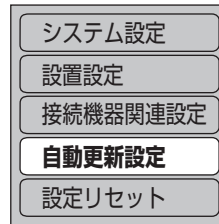
ご加入のケーブルテレビ局から送られる新しい情報のダウンロード方法を選ぶことができます。

ダウンロードについて
ご加入のケーブルテレビ局からの情報を本機に取り込むことにより、本機の制御プログラムを最新のものに書き換えます。

1 操作一覧 を押す

2 ▼で「設定する」を選び、決定 を押す

3 ▼で「自動更新設定」を選び、決定 を押す

4 ◀ ▶で「自動」か「手動」を選ぶ

自動更新設定		
ダウンロード予約	◀ 自動	手動

自動 通常は「自動」をおすすめします。リモコンで電源「切」時に情報が届いた場合は、自動的にダウンロードを実行します。

手動 情報が届いた場合は、メールでお知らせします。
メールを確認し、「ダウンロード予約」の「する」か「しない」を選びます。
（☞60ページ、「放送メール」）

- **設定中、** 戻る で1つ前の画面に戻ります。
- **設定後は、** 元の画面 でテレビ放送の画面に戻します。

本機とテレビなどの電源を連動させる

テレビの電源と連動する

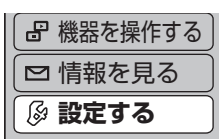
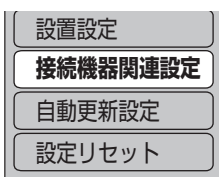
HDMI電源連動機能のある当社製テレビをHDMI経由で接続すると、本機とテレビの電源操作を連動させることができます。
テレビ側でもHDMIの設定を行ってください。

1 を押す

2 ▼で「設定する」を選び、(決定) を押す

- 機器を操作する
- 情報を見る
- **設定する**

3 ▼で「接続機器関連設定」を選び、(決定) を押す

- 設置設定
- **接続機器関連設定**
- 自動更新設定
- 設定リセット

4 ▼で「HDMI機器制御」または「HDMI機器電源オフ連動」を選び、◀で「する」を選ぶ

Irシステム設定	
Ir拡張機器接続テスト	−−
デジタル音声出力	PCM
HDMI機器制御	**する** / **しない**
HDMI機器電源オフ連動	**する** / **しない**

HDMI機器制御

- **する**
  - ●本機の電源を「入」にするとテレビの電源も「入」になり、本機の入力に切り換わる
  - ●テレビの電源を「切」にすると本機の電源も「切」になる
- **しない** HDMI機器制御を無効にする

HDMI機器電源オフ連動

「HDMI機器制御」の項目を「する」に設定している場合に設定できます。

- **する** 本機の電源を「切」にするとテレビの電源も「切」になる
- **しない** HDMI機器電源オフ連動を無効にする

お知らせ

● HDMI規格に準拠していないケーブルでは動作しません。

ケーブルモデムの電源を連動する

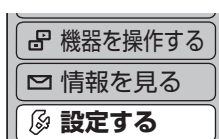
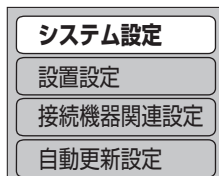
本機と内蔵ケーブルモデムの電源オン･オフを連動させるかどうかの設定を行います。

TZ-DCH2810は、ケーブルモデムを内蔵していないためケーブルモデム関連の各項目は表示されません。

1 を押す

2 ▼で「設定する」を選び、(決定) を押す

- 機器を操作する
- 情報を見る
- **設定する**

3 ▼で「システム設定」を選び、(決定) を押す

- **システム設定**
- 設置設定
- 接続機器関連設定
- 自動更新設定

4 ▼で「ケーブルモデム電源連動」を選び、◀で「する」を選んで、(決定) を押す

制限項目設定		
文字入力設定		
選局対象	すべて	
二重音声設定	主	
タイトル表示	する	しない
機能待機	する	しない
ケーブルモデム電源連動	**する**	しない

- **する** 本機の電源「切」時、内蔵のケーブルモデムも電源「切」
- **しない** 本機の電源「切」時、内蔵のケーブルモデムは電源「入」

お知らせ

- ●ケーブルモデム電源連動設定は、変更できない場合があります。
  変更される場合はご加入のケーブルテレビ局にご相談ください。
- ●機能待機(☞55ページ)を「する」に設定すると、ケーブルモデムの電源設定にかかわらず、ケーブルモデムの電源は、常時「入」になります。
- ●ケーブルモデム電源連動を「しない」に設定すると消費電力は増えますが、電源「入」時にブラウザの起動が早くなります。

● **設定中、**(戻る) で1つ前の画面に戻ります。 ● **設定後は、**[元の画面] でテレビ放送の画面に戻します。

設定をリセットする

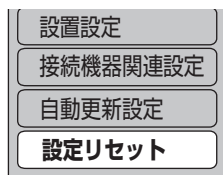
本機(内蔵ハードディスク)に保存したすべての内容を消去します。

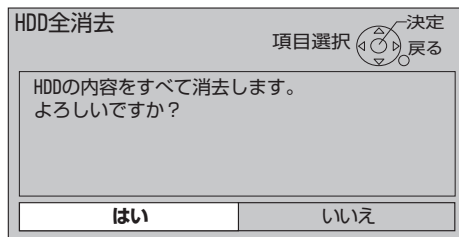
内蔵ハードディスクを全消去する

操作するリモコンのボタン位置(☞11ページ)

1 操作一覧 を押す

2 ▼で「設定する」を選び、決定 を押す

3 ▼で「設定リセット」を選び、決定 を3秒以上押す

4 ▼で「HDD全消去」を選び、決定 を押す

5 ◀で「はい」を選び、決定 を押す

お知らせ

- HDD全消去実行中は、電源「切」「入」など本機の操作は行わないでください。
  故障の原因となります。
- 内容の消去に3分程度かかります。画面表示に従い操作してください。

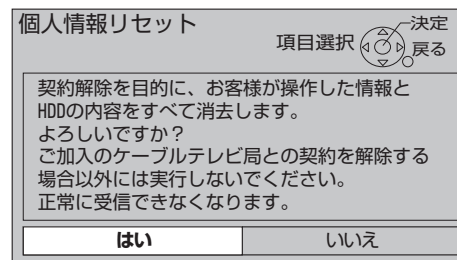
個人情報をリセットする

本機をケーブルテレビ局へ返却するときに登録した個人情報を消去します。

ケーブルテレビ局への返却などで本機のご使用を中止される場合以外には、実行しないでください。

1 左記手順1～3の操作のあと

▼で「個人情報リセット」を選び、決定 を3秒以上押す

2 ◀で「はい」を選び、決定 を押す

「受信機内部の初期化が終了しました。電源プラグを抜いてください。」
のメッセージが表示されます。

本機の電源プラグを抜いてください。

お知らせ

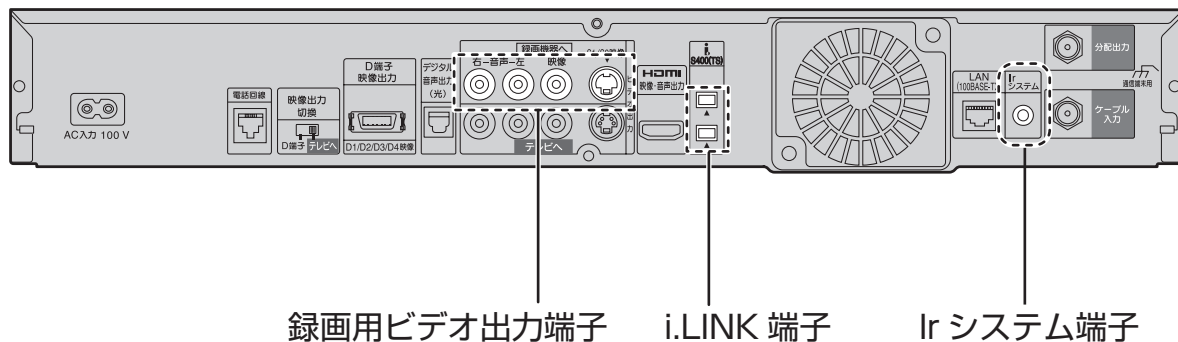
- 本機に記録されているお客様に関する個人情報(メールや購入記録、データ放送のポイントなど)が、すべて削除されます。また、HDDはフォーマット(初期化)されます。
- 双方向データ放送やブラウザでのサービスをご利用の場合、本機からの操作により、ケーブルテレビ局や放送局、インターネットのホームページに登録された情報は、この操作では削除されませんので、ご注意ください。それぞれのサービスで情報の削除操作(退会手続きなど)を行ってください。

●**設定中、**戻る で1つ前の画面に戻ります。 ●**設定後は、**元の画面 でテレビ放送の画面に戻します。

録画機器と接続する

接続は本機および各機器の電源プラグを電源コンセントに接続しない状態で行ってください。

背面端子部（映像・音声出力端子）

背面端子部

録画用ビデオ出力端子

●ビデオデッキなどの「映像」と「音声」の入力端子に接続します。
●本機で受信したテレビ放送の信号を出力します。（チャンネルなどの画面表示は出力しません）
●録画中は、録画しているチャンネルの映像、音声を出力します。

S1/S2 映像出力端子

●「映像」出力端子よりも、色のにじみが少なく、高画質に再生できます。
●録画機器の「S」「S1」「S2」入力端子と接続してください。
- S 端子　：色のにじみが少ない
- S1 端子：S にワイドテレビ対応を追加
- S2 端子：S1 にワイドクリアビジョン対応を追加

● S 1/S2 映像出力端子に接続するときは、音声出力端子にも同時に接続してください。

i.LINK 端子（2 組）

●i.LINKは、1本のケーブルでハイビジョン放送など高画質のデジタル画像や音声信号の出力を可能にし、本機から接続機器（D-VHSビデオデッキなど）の録画や再生など基本操作もできる大変便利な機能です。
●ハイビジョン映像やマルチビュー放送などのデジタル映像に対応しています。
●本機では、2台までの当社製i.LINK機器を制御できます。
●録画中は、使用していない機器でも端子の抜き差しや電源の「入」「切」はしないでください。画像の乱れや異常動作の原因になります。
●i.LINK接続可能機種の情報は下記サポートサイトでご確認ください。
http://panasonic.biz/broad/catv-support/index.html
（2008年5月現在）

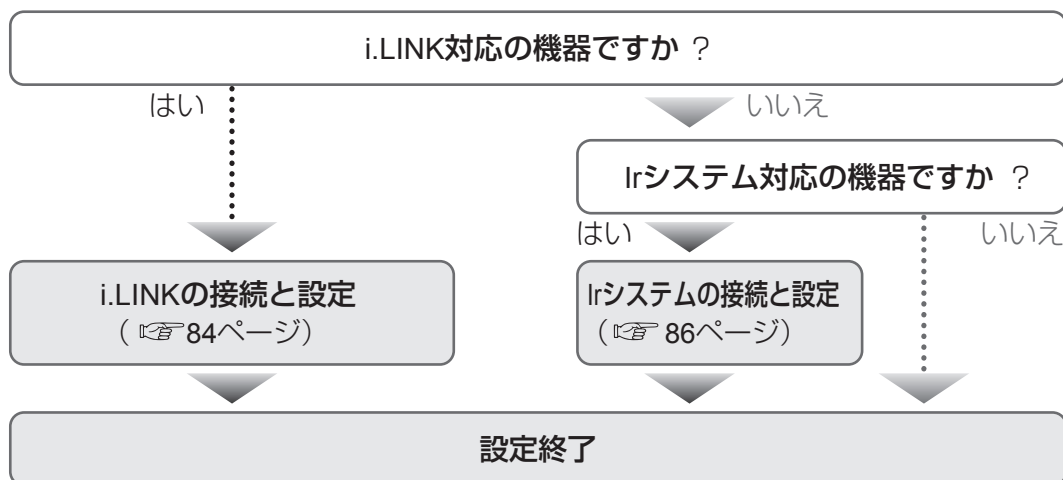
Ir システム端子

●Irシステムは、ビデオデッキやDVDレコーダーなどのリモコンの赤外線信号（Infrared）を利用して、本機からビデオデッキなどの電源「入」「切」や録画の開始など、一部の操作ができる機能です。
●付属の Ir システムケーブルを接続します。

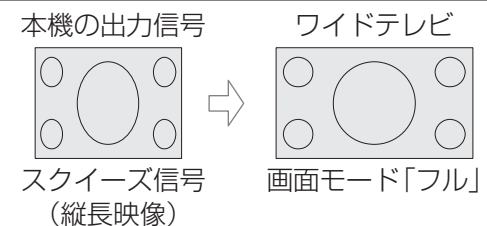
お知らせ

●i.LINK接続した外部録画機器に録画した番組は、本機の内蔵HDDにダビング（ムーブ）することはできません。
●ビデオカメラで撮影した映像は、ビデオカメラのDV出力端子と本機のi.LINK端子を接続しても本機の内蔵HDDに保存することはできません。
●録画時の信号の流れについては （☞ 37～41ページ）

録画機器の接続と設定

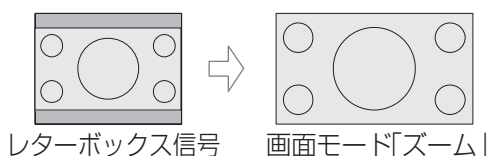
●VHSやD-VHSのビデオデッキ、 DVDレコーダーなどの接続と設定は、下記の通り行ってください。

S1／S2映像出力について

S1映像信号とは

●映像信号をY（輝度信号）とC（色信号）に分離したS映像機能に加え、ワイド映像（スクイーズ信号）を自動判別するための識別信号が付加された信号です。ワイドテレビでは、この識別信号により自動的に画面モードを「フル」に切り換えます。

S2映像信号とは

●S1映像機能に加え、ワイド映像（レターボックス信号）を自動判別するための識別信号が付加された信号です。
ワイドテレビでは、この識別信号により、自動的に画面モードを「ズーム」に切り換えます。

レターボックス信号

画面モード「ズーム」

本機のHDMI出力端子または、D端子、映像出力端子から出力される映像信号について

73ページのHDMI／D端子出力の設定により、放送局から送信された信号方式［1080i、720p、480i、480p］を本機は下表のような信号方式で出力します。

<table>
<tr><th colspan="2" rowspan="2">放送局から送信される信号方式</th><th rowspan="2"></th><th colspan="6">「HDMI／D端子出力の設定」により本機から出力される信号方式</th></tr>
<tr><th>480i／D1 の場合</th><th>480p／D2 の場合</th><th>1080i／D3 の場合</th><th>720p／D4 の場合</th><th>480p固定 の場合</th><th>1080i 固定 の場合</th></tr>
<tr><td rowspan="2">HD</td><td>1080i の放送</td><td>➡</td><td rowspan="2">480i に変換して出力</td><td rowspan="2">480p に変換して出力</td><td>1080i をそのまま出力</td><td>1080i をそのまま出力</td><td rowspan="3">480p に変換して出力</td><td>1080i をそのまま出力</td></tr>
<tr><td>720p の放送</td><td>➡</td><td>1080i に変換して出力</td><td>720p をそのまま出力</td><td rowspan="3">1080i に変換して出力</td></tr>
<tr><td rowspan="2">SD</td><td>480i の放送</td><td>➡</td><td>480i をそのまま出力</td><td>480i をそのまま出力</td><td>480i をそのまま出力</td><td>480i をそのまま出力</td></tr>
<tr><td>480p の放送</td><td>➡</td><td>480i に変換して出力</td><td>480p をそのまま出力</td><td>480p をそのまま出力</td><td>480p をそのまま出力</td><td>480p をそのまま出力</td></tr>
</table>

※「1080i 固定」にすると480i、480p は1080i に変換されますが、画質は480i、480p と同等になります。

i.LINK対応機器の接続と設定

■**接続上のお願い**

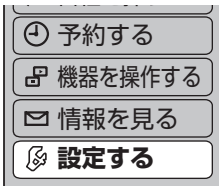
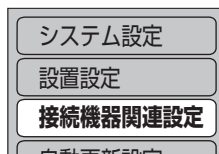
●ケーブルを購入する際は「S400対応の4ピンのi.LINK(アイリンク)ケーブル」とご指定ください。

●2つのi.LINK端子はどちらも同じように使えます。
ただし、接続が輪(ループ)になったり、i.LINK対応パソコンなどを接続すると誤動作する場合があります。

○ 本機 AVHDD D-VHS　✕ 本機 AVHDD D-VHS

i.LINK接続した機器が使用できることと本機に登録された機器名を確認します。

1 **を押す**

2 **▼で「設定する」を選び、(決定)を押す**

3 **▼で「接続機器関連設定」を選び、(決定)を押す**

4 **▼で「i.LINK接続設定」を選び、(決定)を押す**

5 **使いたい機器の「使用」が「する」になっているか確認する(2台まで同時に使用可能)**

オ　ン	電源オン
オ　フ	電源オフ(本機で操作可能)
未接続	一度接続したが現在は未接続
不　明	「使用」の状態が「しない」のときや本機で操作できないとき

す　る	使用する機器
しない	使用しない機器
不　可	使用できない機器

●「する」「しない」を変えるには
①▲▼で機器を選び、決定ボタンを押す
②「使用する」または「使用しない」を確認し、決定ボタンを押す

■**登録を削除(解除)するときは**
①削除する機器のi.LINKケーブルを抜く(はずす)
②▲▼で削除する機器を選び、決定ボタンを押す
③「削除する」を選び、決定ボタンを押す

●HDDレコーダーには、DISCモードとD-VHSモードの切り換え機能がある場合があります。
・**DISCモードの場合**　:本機は機器名を**AVHDD**と認識します。
・**D-VHSモードの場合**:本機は機器名を**D-VHS**と認識します。
本機とのi.LINK接続はDISCモードでご使用になることをおすすめします。

●当社製ブルーレイディスクレコーダー/DVDレコーダーの場合、本機は機器名を**D-VHS**と認識します。
接続後、機器側の設定が必要です。(DMR-BW700、DMR-XW120の場合、初期設定の「i.LINK機器モード設定」を「TSモード2」、「クイックスタート」を「入」に設定してください。)

●詳しくは、録画機器の取扱説明書をご覧ください。

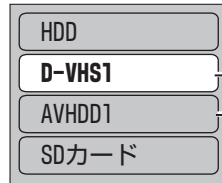
● **設定中、**戻る ◯ で1つ前の画面に戻ります。
● **設定後は、**［元の画面］でテレビ放送の画面に戻します。

i.LINK接続した録画機器(D-VHSビデオデッキなど)を操作する

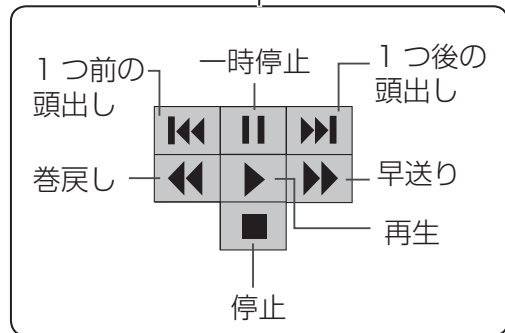
i.LINK の接続と設定を行ってから操作してください。
(☞ 84 ページ)

1 **を押す**

2 **▼で「機器を操作する」を選び、(決定) を押す**

3 **▼で操作する機器を選び、(決定) を押す**

i.LINK接続設定で「使用」を「する」にした機器名が表示されます。(☞ 84ページ)

●「D-VHS1」の操作は右記をご覧ください。ただし、当社製ブルーレイディスクレコーダー/DVDレコーダーの場合は、機器操作パネルでの操作はできません。
●「HDD」や「AVHDD1」を選ぶと、再生ナビが表示されます。(☞32ページ)
「AVHDD1」については、下記「お知らせ」をご覧ください。
●「SDカード」を選ぶと、SDカードの表示方法選択画面が表示されます。
(☞44ページ)

4 画面に表示された機器操作パネルで
▲▼◀▶で操作したい機能を選び、(決定) を押す

● 戻る ◯ で操作パネルが消えます。
● (操作一覧) で操作パネルが表示されます。

お知らせ

● 録画は、番組表から録画設定(☞ 37ページ)を行ってください。
● AVHDD1は、HDD再生ナビ(☞ 32ページ)と同じ方法で録画番組の再生や消去ができますが、プレビュー画面は表示されない場合があります。
● 予約中の機器や、1台のi.LINK機器で録画中に別のi.LINK機器の操作パネルは表示できません。
● i.LINK機器の取扱説明書もお読みください。
● i.LINK機器の操作中は、本機の機能が一部使用できなくなります。
● i.LINK操作ができない場合は、i.LINKケーブルを抜いた状態で本機のi.LINK接続設定(☞ 84ページ)を削除してから、i.LINK機器側の設定を変更してください。

Irシステム対応機器の接続と設定

背面端子部

Irシステムケーブル（付属品）

●リモコン受信部の近くに取り付けます。

発信部

リモコン受信部

例：DVDレコーダー

※録画用出力端子に接続してください。

S映像入力へ

映像/音声入力へ

S映像で接続の場合（市販品）

■Irシステムケーブルの取り付け例

天板に取り付ける場合

録画機器または棚に取り付ける場合

リモコン受信部

- 録画機器のリモコン受信部の位置を確認してください。
- 両面テープは、貼り付ける個所のゴミやほこりを取り除いてから貼り付けてください。
- Irシステムケーブルに付属の両面テープは強力なため、棚などに貼り付けたあと、無理にはがすと板の表面を傷める場合があります。ご注意ください。

1 操作一覧 を押す

2 ▼で「設定する」を選び、決定 を押す

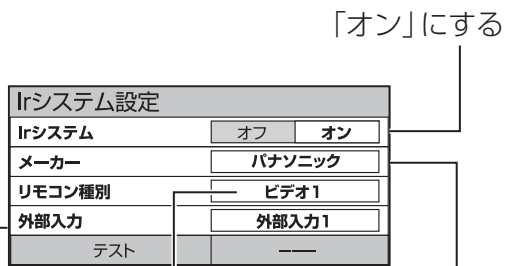
CATV ケーブルテレビ　操作一覧
- 番組を探す
- 予約する
- 機器を操作する
- 情報を見る
- **設定する**

3 ▼で「接続機器関連設定」を選び、決定 を押す

- システム設定
- 設置設定
- **接続機器関連設定**
- 自動更新設定
- 設定リセット

4 ▼で「Irシステム設定」を選び、決定 を押す

接続機器関連設定	
ｉ．ＬＩＮＫ接続設定	
Ｉｒシステム設定	
Ir拡張機器接続テスト	
デジタル音声出力	ＰＣＭ

● **設定中、**戻る◯ で1つ前の画面に戻ります。
● **設定後は、**[元の画面] でテレビ放送の画面に戻します。

5 ▼で各項目を選び、◀ ▶で設定する

当社製のビデオデッキまたは DVD レコーダーで「タイマー予約」をするときのみ設定してください。
→本機に接続した、ビデオデッキやDVDレコーダー側の外部入力端子の番号（1、2、3）に合わせる。（他メーカーの機器では設定できません）

●**本機で設定できる録画機器は以下の通りです。**
パナソニック、ビクター、東芝、三菱、三洋、シャープ、ソニー、日立、アイワ、NECのビデオデッキおよびパナソニック、パイオニア、三菱のDVDレコーダー
※一部、使用できない商品もあります。

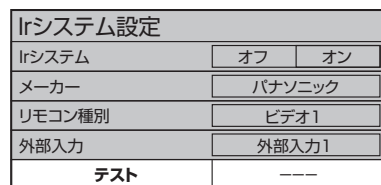
●**「リモコン種別」について**
- メーカーによってはリモコン種別が複数あります。下記のテストを実行しても機器が動作しない場合は、他のリモコン種別に切り換えてください。
- 「DVD レコーダー 1 ～ 3」に設定した場合、パナソニック製 DVD レコーダーでは録画予約を行うと録画予約情報の他に番組タイトルの情報が送られます。（番組表で番組タイトルが取得できていない場合は送られません。また、一部対応していない機種があります。）送られる番組タイトルは 1 分を超える予約番組の最初の番組タイトル 1 つだけです。
  番組タイトルに 天、二、N などの外字が含まれていると DVD レコーダーでは表示されません。
  また、時間指定予約で「毎日」などのくり返しのタイマー予約をされた場合には、予約設定時に初回の番組タイトルを送ります。（くり返しの 2 回目以後の番組タイトルは送りません。）

■終わったら、右記のテストを行ってください。

テスト

Irシステムで接続した機器が正しく動作するか確認します。

1 左記手順5の画面で ▼で「テスト」を選び、(決定) を押す

Irシステム設定	
Irシステム	オフ　オン
メーカー	パナソニック
リモコン種別	ビデオ1
外部入力	外部入力1
テスト	−−−

2 録画機器の電源が「入」「切」するか、確認する

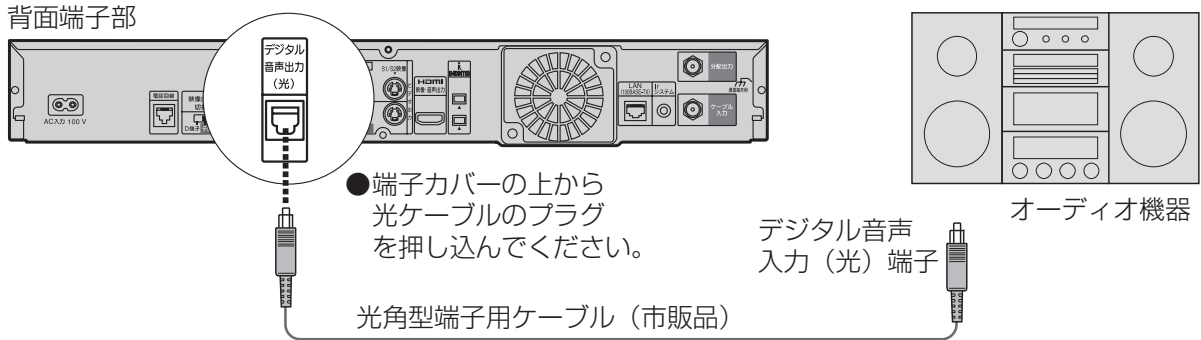
●「送信中」が表示され、電源「入」「切」のリモコン信号がくり返し送信されます。

3 (決定) を押す

→くり返し送信が終了します。

■録画機器の電源が「入」「切」しないときは
●Irシステムケーブルの接続、取り付けを確認してください。（☞ 86ページ）
●リモコン種別を変更してください。
（☞ 左記手順5）

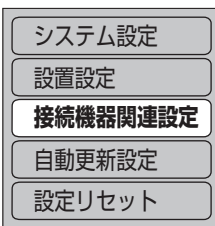
オーディオ機器の接続と設定

AAC対応のオーディオ機器を接続したときは、以下の設定を行ってください。

■接続できるオーディオ機器

- ●デジタル音声入力(光)端子を持ち、PCMまたはAAC※対応でサンプリングレートコンバーター内蔵のMDやアンプなどのオーディオ機器。
- ●本機のデジタル音声出力(光)端子は、デジタル放送の信号をそのまま出力していますので、サンプリングレートコンバーターのないオーディオ機器は使用できません。
- ●オーディオ機器の取扱説明書も、よくお読みください。

1 操作一覧 を押す

2 ▼で「設定する」を選び、決定 を押す

3 ▼で「接続機器関連設定」を選び、決定 を押す

4 ▼で「デジタル音声出力」を選び、◀▶で設定する

接続機器関連設定		
i．ＬＩＮＫ接続設定		
Ｉｒシステム設定		
Ir拡張機器接続テスト		
デジタル音声出力	ＰＣＭ	
ＨＤＭＩ機器制御	する	しない

PCM	オーディオ機器がAACフォーマットに対応していないとき(工場出荷時)
AAC	AACの番組のときは、「AAC」出力それ以外は、「PCM」出力
自動	サラウンド･ステレオ(5.1ch)番組のときのみ自動的に「AAC」出力に切り換える

お知らせ

- ●「AAC」にすると、字幕放送やデータ放送の効果音が、デジタル音声出力(光)端子から出力されません。「PCM」にするか、ビデオ出力の音声端子をご使用ください。
- ●AAC対応のオーディオ機器を接続する場合、「PCM」と「AAC」の入力に対し自動切換機能のあるものをおすすめします。
- ●HDMI接続機器が「AAC」対応の場合は、HDMI音声出力はデジタル音声出力で設定した音声方式で出力されます。HDMI接続機器が「AAC」非対応の場合は、HDMI音声出力は「PCM」で出力されます。

※ AACとは、音声符号化の規格の一つです。AACは、CD(コンパクトディスク)並みの音質データを約1/12にまで圧縮できます。また、5.1チャンネルのサラウンド音声や多言語再生を行うこともできます。

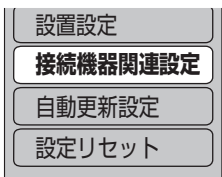
● **設定中、**戻る◯ で1つ前の画面に戻ります。
● **設定後は、**[元の画面] でテレビ放送の画面に戻します。

音声の出力先を切り換える（HDMI機器制御）

HDMI機器制御機能がある当社製テレビ、またはAVアンプをHDMI経由で接続するとテレビの音声出力先を切り換えることができます。

HDMI機器制御機能がある当社製AVアンプをHDMI経由で接続してください。

●テレビ側、AVアンプ側でもHDMIの設定が必要です。

1 操作一覧 を押す

2 ▼で「設定する」を選び、(決定) を押す

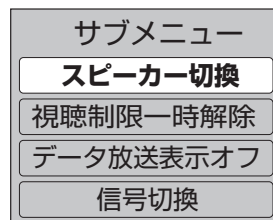
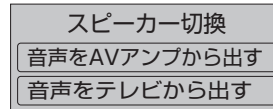
3 ▼で「接続機器関連設定」を選び、(決定) を押す

4 ▼で「HDMI機器制御」を選び、◀で「する」を選ぶ

する	●本機の電源を「入」にするとテレビの電源も「入」になり本機の入力に切り換わる ●テレビの電源を「切」にすると本機の電源も「切」になる
しない	HDMI機器制御を無効にする

5 サブメニュー(S) を押す

6 ▼で「スピーカー切換」を選び、(決定) を押す

7 ▼で音声出力先を選び、(決定) を押す

スピーカー切換
音声をAVアンプから出す
音声をテレビから出す

お知らせ

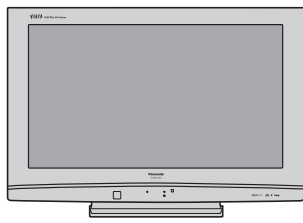
●AVアンプは必ず本機とテレビの間に接続してください。
●HDMI機器制御を行うには、接続したテレビ側、AVアンプ側の設定も必要です。詳しくは、各機器の取扱説明書をご覧ください。
●HDMI規格に準拠していないケーブルでは動作しません。
●本機からAVアンプへ番組に応じた最適な音声モードに切り換えることができます。
（☞90ページ）

ビエラリンク(HDMI)を使う ビエラリンク

ビエラリンク(HDMI)Ver.3以降に対応した当社製テレビ「ビエラ」、またはAVアンプをHDMI経由で接続すると以下の操作ができます。

本機能は、接続した各機器のビエラリンク(HDMI)がVer.3から使用できます。
テレビのビエラリンクのバージョンは、テレビの取扱説明書でご確認ください。
本機はビエラリンク(HDMI)Ver.3に対応しています。(2008年3月現在)

テレビ(ビエラ)のリモコンで本機を操作することができます。

ビエラリンク(HDMI)Ver.3以降の当社製テレビ

HDMIケーブル(市販品)

本機

HDMI
(映像/音声入力)

HDMI
(映像/音声出力)

●本機を操作するときは、テレビのリモコンをテレビに向けてください。

テレビのリモコンで本機を操作するには

本機側の設定を行う(☞ 91ページ)

テレビ側の設定を行う

テレビ側の設定操作については、テレビの取扱説明書を参照ください。

お知らせ

●本機とテレビの電源が「入」の状態で、テレビ側の入力切換の設定が本機のときに、ビエラリモコンで本機を操作することができます。

番組に適したAVアンプの音声モードを自動で切り換えることができます。(オートサウンド連携)

本機との接続は89ページをご覧ください。

オートサウンド連携を使うには

本機側の設定を行う(☞ 91ページ)

AVアンプ側の設定を行う

AVアンプ側の設定操作については、AVアンプの取扱説明書を参照ください。

● 当社製HDMIケーブルを推奨します。
● HDMI規格に準拠していないケーブルでは動作しません。
● ビエラリンク(HDMI)は、HDMI CEC(Consumer Electronics Control)と呼ばれる業界標準のHDMIによるコントロール機能をベースに、当社が独自機能を追加したものです。

■HDMIケーブル(当社製)について
- ·品番:RP-CDHG10(1 m)
- ·品番:RP-CDHG15(1.5 m)
- ·品番:RP-CDHG20(2 m)
- ·品番:RP-CDHG30(3 m)

- **設定中、**戻る ◯ で1つ前の画面に戻ります。
- **設定後は、**［元の画面］でテレビ放送の画面に戻します。

テレビ(ビエラ)のリモコンで本機を操作するための設定

テレビのリモコンで操作するための設定を行います。
本機のリモコンで以下の設定を行ってください。

1 操作一覧 を押す

2 ▼で「設定する」を選び、決定 を押す

3 ▼で「接続機器関連設定」を選び、決定 を押す

システム設定
設置設定
接続機器関連設定
自動更新設定
設定リセット

4 ▼で「HDMI機器制御」を選び、◀で「する」を選ぶ

デジタル音声出力	PCM	
HDMI機器制御	**する**	しない
HDMI機器電源オフ連動	する	しない
ビエラリンク設定		

5 ▼で「ビエラリンク設定」を選び、決定 を押す

デジタル音声出力	PCM	
HDMI機器制御	する	しない
HDMI機器電源オフ連動	する	しない
ビエラリンク設定		

6 ▼で「ビエラリモコンで操作」を選び、◀で「する」を選ぶ

ビエラリンク設定		
ビエラリモコンで操作	**する**	しない
オートサウンド連携	する	しない
バージョン	[ビエラリンク Ver.3]	

ケーブルテレビを見るための各操作
(☞ 92~95ページ)

オートサウンド連携を使うための設定

AVアンプの音声モードを自動で切り換えるための設定を行います。

1 操作一覧 を押す

2 ▼で「設定する」を選び、決定 を押す

3 ▼で「接続機器関連設定」を選び、決定 を押す

システム設定
設置設定
接続機器関連設定
自動更新設定
設定リセット

4 ▼で「HDMI機器制御」を選び、◀で「する」を選ぶ

デジタル音声出力	PCM	
HDMI機器制御	**する**	しない
HDMI機器電源オフ連動	する	しない
ビエラリンク設定		

5 ▼で「ビエラリンク設定」を選び、決定 を押す

デジタル音声出力	PCM	
HDMI機器制御	する	しない
HDMI機器電源オフ連動	する	しない
ビエラリンク設定		

6 ▼で「オートサウンド連携」を選び、◀で「する」を選ぶ

ビエラリンク設定		
ビエラリモコンで操作	する	しない
オートサウンド連携	**する**	しない
バージョン	[ビエラリンク Ver.3]	

ビエラのリモコンで本機を操作する

本機の操作をするための準備

テレビ(ビエラ)のリモコンで本機を操作するには、あらかじめテレビの操作から本機の操作に切り換えるための切り換え操作が必要です。
切り換え操作の詳細はテレビの取扱説明書をご覧ください。

本機を操作できるビエラのリモコンボタン

ブラウザを使う

データ放送を見る

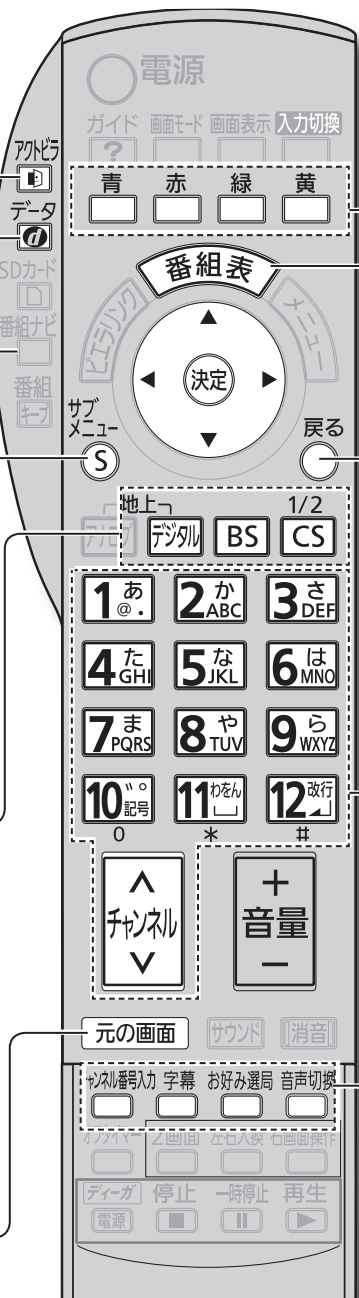
ケーブルテレビの「操作一覧」を表示

サブメニューを表示する
- ●録画再生中は
  - ・操作パネルを表示
  - ・操作パネルを表示中に押すとサブメニューを表示

放送を選ぶ

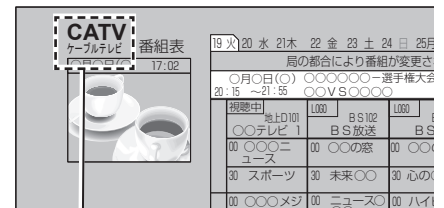
ボタンの名称は本機リモコンと異なります。
- ●「デジタル」→地上デジタル放送
- ●「BS」→BSデジタル放送
- ●「CS」→CATVデジタル放送

● 選局入力方式が「3桁入力」のときは、放送を選ぶ必要はありません。

ケーブルテレビ放送の画面に戻る

ケーブルテレビの番組を見ているとき

サブメニュー(S)を押すとサブメニューが表示され、以下の操作ができます。

- ● 青:番組内容を表示する
- ● 赤:再生ナビ画面を表示する
- ● 緑:放送を切り換える
- ● 黄:操作一覧を表示する

番組表を見る

ケーブルテレビ側の番組表であることをお知らせします。

1つ前の画面に戻る

チャンネルを選ぶ

視聴中に音声や字幕表示の切換などができます。

<ビエラのリモコン(例:TH-32LX80)>

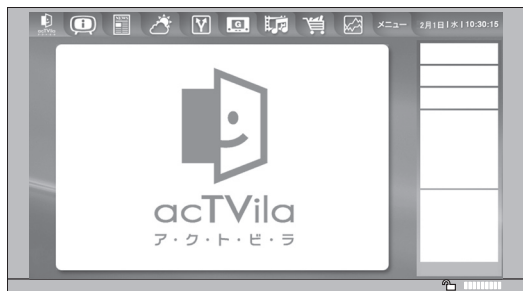
ビエラの機種によっては、ボタンの配置と使用できるボタンが異なる場合があります。詳しくは、ビエラの電子説明書(VIERA操作ガイド)をご覧ください。

テレビ(ビエラ)リモコンの詳細はテレビの取扱説明書をご覧ください。

ブラウザを利用する

インターネットを利用した生活情報やテレビ向けの双方向情報提供サービスを見ることができます。

1 アクトビラ を押す

<画面例>

● ブラウザの詳細操作は、46ページを参照ください。

データ放送を見る

お住まいの地域の天気予報やテレビ放送やラジオ放送に連動した情報を閲覧したり、電話回線を使用して視聴者参加番組、ショッピング、チケット購入などの双方向(インタラクティブ)サービスを利用することができます。

1 データ を押す

<画面イメージ>

2 ▼▲で見たい項目を選び、決定 を押す

● 以降の操作は、21ページを参照ください。

各種の設定を行う

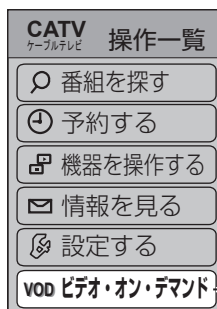
1 番組ナビ を押す

→本機の「操作一覧」が表示されます。

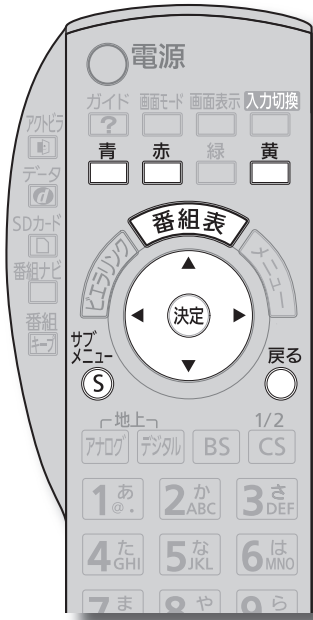
以降の操作は、本取扱説明書の各設定に対応したページをご覧ください。

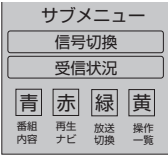
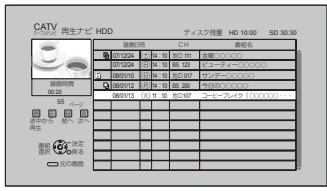
ビエラの機種によっては番組ナビがない場合があります。
その場合は、サブメニュー(S)を押し、サブメニュー画面を表示させてから黄を押すと上記の「操作一覧」が表示されます。

VODをご利用のとき

1 上記の操作一覧画面のとき
▼で「ビデオ・オン・デマンド」を選び、決定 を押す

VODを設定していないときは、表示されません。

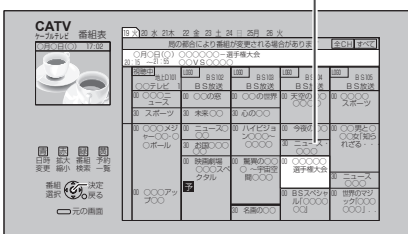
ビエラのリモコンで本機を操作する

テレビ(ビエラ)リモコンの詳細はテレビの取扱説明書をご覧ください。

<ビエラのリモコン(例:TH-32LX80)>

録画・再生

録画予約する

1 番組表 を押す

2 番組表から▼▲◀▶で
録画したい番組を選び、(決定) を押す

例:選んでいる番組が黄色になる

●予約録画についての詳細(☞26ページ)

再生する

1 サブメニュー (S) を押す

→サブメニューが表示されます。

2 赤 を押す

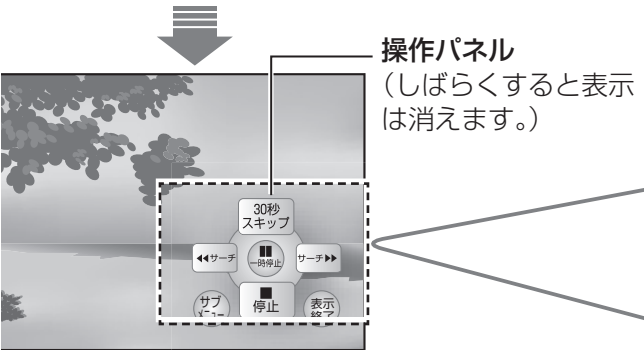
→再生ナビ画面が表示されます。(☞32ページ)

3 ▼▲で番組を選び、(決定) を押す

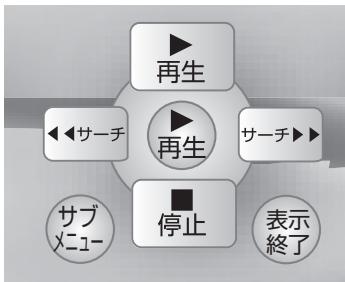
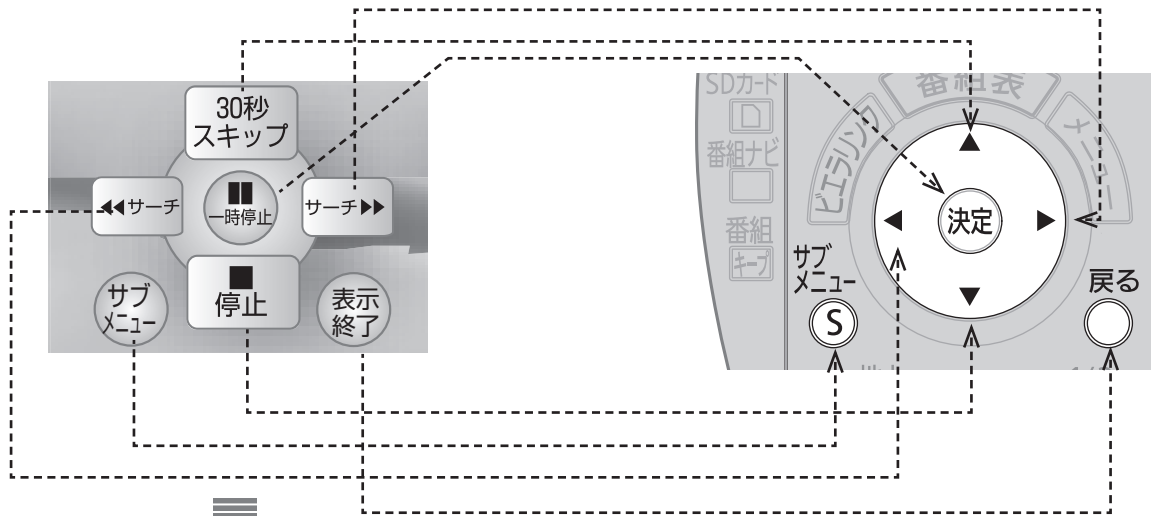
→選んだ番組の再生が始まります。

●再生中の操作は(☞下記)
●録画番組の消去や番組名変更について
(☞34ページ)

再生中の操作(一時停止やサーチなど)

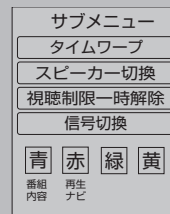
再生中に、サブメニュー (S) を押す

→操作パネルが表示されます。

操作パネルを表示中に、操作パネルに応じたリモコンのボタンを押してください。(操作内容の詳細は下記の表を参照ください。)
操作パネルのボタンは、リモコンのボタン位置に対応しています。

操作パネルが消えたときは、再度、サブメニュー Ⓢ を押してください。

一時停止やサーチなどのボタンを押すと操作パネルの表示が変ります。

操作内容	操作ボタン	
通常の再生に戻す	決定 または ▲	一時停止中、早送り中、早戻し中、スロー再生中から通常の再生画面に戻します。
一時停止	決定	番組の再生を一時停止します。
停止	▼	番組の再生を停止します。
早送り(サーチ▶▶)	▶	押すごとに、速度が速くなります。(5段階)
早戻し(◀◀サーチ)	◀	押すごとに、速度が速くなります。(5段階)
スロー再生	一時停止中に ◀ ▶	押すごとに、速度が速くなります。(5段階)
30秒先へスキップ再生	▲	1回押すごとに、約30秒飛び越して再生します。
30秒逆へスキップ再生	▲ 長押し	約30秒戻って再生します。

■**操作パネルを消す**
戻る ◯ **を押す**

■**サブメニューを表示する**
サブメニュー Ⓢ **を押す**

サブメニュー表示中にできるカラーボタンの操作
(録画した機器により操作内容が異なります。)

カラーボタン(再生中にサブメニュー表示のとき)	録画機器	
	HDD※/AVHDD	D-VHS
青	番組内容を表示する	番組内容を表示する
赤	再生ナビ画面を表示する	—
黄	—	機器操作を表示する

※HDD:本体に内蔵のハードディスクのこと

操作一覧(メニュー)

操作一覧	設定項目	ページ
番組を探す	番組表で	20
	今放送中から	20
	おすすめ一覧	22
	ジャンル別に	20
予約する	番組表で	18
	おすすめ一覧	22
	ジャンル別に	20
	時間指定予約で	27
	予約一覧	31
	録画・視聴設定	30
機器を操作する	HDD	32
	SDカード	44
情報を見る	放送メール	60
	購入記録	60
	購入記録送信結果	60
	双方向通信一覧	60
	ICカード	61
	ステータス表示	61
	お好みページ	61
	ボード	61

操作一覧	設定項目	詳細設定項目	ページ
設定する	システム設定	おすすめ番組設定	58
		字幕の設定	54
		制限項目設定	56
		文字入力設定	55
		選局対象	54
		二重音声設定	55
		タイトル表示	55
		機能待機	55
		ケーブルモデム電源連動	80
		前面パネル輝度	55
		HDオプティマイザー	55
		選局入力方式	56
		チャンネルアップダウン	54
	設置設定	チャンネル設定	68
		地域設定	71
		電話設定	72
		C-CASカードテスト	71
		B-CASカードテスト	71
		ネットワーク設定	76
		ブラウザ設定	77
		接続テレビ設定	73
		HDMI設定	75
		ケーブルモデム情報	78
	接続機器関連設定	i.LINK接続設定	84
		Irシステム設定	86
		Ir拡張機器接続テスト※1	―
		デジタル音声出力	88
		HDMI機器制御	80
		HDMI機器電源オフ連動	80
		ビエラリンク設定	91
	自動更新設定	ダウンロード予約	79
	設定リセット	HDD全消去	81
		個人情報リセット	81
ビデオ・オン・デマンド※2	―	―	―

※1 Ir拡張機器を接続したときに接続テストを行います。設置及び操作につきましては、Ir拡張機器に付属の取扱説明書をご確認ください。ご加入のケーブルテレビ局のサービス内容により使用できない場合があります。

※2 VODを使用しているときに表示されます。

お知らせ

- 詳細については該当のページをご覧ください。
- メニュー操作で設定画面を表示させたとき、設定が有効でない項目は、灰色表示になります。

テレビに合わせたリモコンのメーカー設定

本機のリモコンでお手持ちのテレビの基本的な操作をすることができます。
（電源の入切、テレビ／ビデオの切り換え、チャンネル選局、音量調整）

設定手順

①テレビ／ STB 切換スイッチを「テレビ」側に切り換える

②リモコンの信号を変更する

ボタンを押したまま、

下表より
お手持ちのテレビのメーカーに対応するボタンを選び、
順番に押す。（工場出荷時はパナソニック（新 1）に設定）

テレビメーカー	ボタンを順番に押す	テレビメーカー	ボタンを順番に押す	テレビメーカー	ボタンを順番に押す
パナソニック（新1）	1 と 1	SONY（1）	3 と 5	富士通ゼネラル（2）	5 と 6
パナソニック（新2）	1 と 2	SONY（2）	3 と 6	三洋（1）	6 と 1
パナソニック（旧）	1 と 3	パイオニア	4 と 1	三洋（2）	6 と 2
パナソニック（地上D1）	1 と 4	シャープ（1）	4 と 5	NEC（1）	6 と 5
パナソニック（地上D2）	1 と 5	シャープ（2）	4 と 6	NEC（2）	6 と 6
ビクター	2 と 1	シャープ（3）	4 と 7	AIWA	7 と 1
東芝	2 と 5	三菱（1）	5 と 1	FUNAI	7 と 2
日立（1）	3 と 1	三菱（2）	5 と 2	―――	―――
日立（2）	3 と 2	富士通ゼネラル（1）	5 と 5	―――	―――

お知らせ

- 同一メーカーで設定が 2 種類以上ある場合は、動作するほうに設定してください。
- 接続したテレビにリモコン機能がない場合は、本機のリモコンでも動作しません。
- 電池の交換などで設定が「パナソニック（新 1）」に戻った場合は、再設定してください。
- 一部動作しない機種もあります。動作しない場合は、テレビに付属のリモコンをご使用ください。

地上デジタル放送チャンネル一覧表

●お住まいの地域別地上デジタル放送のチャンネル一覧です。
　ご加入のケーブルテレビ局によりチャンネル数と放送局名が異なる場合があります。

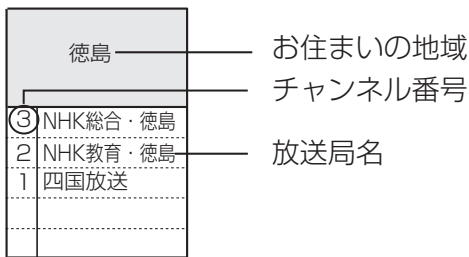
お住まいの地域	北海道（札幌）	北海道（函館）	北海道（旭川）	北海道（帯広）	北海道（釧路）	北海道（北見）	北海道（室蘭）
放送局名	3 NHK総合・札幌	3 NHK総合・函館	3 NHK総合・旭川	3 NHK総合・帯広	3 NHK総合・釧路	3 NHK総合・北見	3 NHK総合・室蘭
	2 NHK教育・札幌	2 NHK教育・函館	2 NHK教育・旭川	2 NHK教育・帯広	2 NHK教育・釧路	2 NHK教育・北見	2 NHK教育・室蘭
	1 HBC札幌	1 HBC函館	1 HBC旭川	1 HBC帯広	1 HBC釧路	1 HBC北見	1 HBC室蘭
	5 STV札幌	5 STV函館	5 STV旭川	5 STV帯広	5 STV釧路	5 STV北見	5 STV室蘭
	6 HTB札幌	6 HTB函館	6 HTB旭川	6 HTB帯広	6 HTB釧路	6 HTB北見	6 HTB室蘭
	8 UHB札幌	8 UHB函館	8 UHB旭川	8 UHB帯広	8 UHB釧路	8 UHB北見	8 UHB室蘭
	7 TVH札幌	7 TVH函館	7 TVH旭川	7 TVH帯広	7 TVH釧路	7 TVH北見	7 TVH室蘭

お住まいの地域	宮城	秋田	山形	岩手	福島	青森	東京
放送局名	3 NHK総合・仙台	1 NHK総合・秋田	1 NHK総合・山形	1 NHK総合・盛岡	1 NHK総合・福島	3 NHK総合・青森	1 NHK総合・東京
	2 NHK教育・仙台	2 NHK教育・秋田	2 NHK教育・山形	2 NHK教育・盛岡	2 NHK教育・福島	2 NHK教育・青森	2 NHK教育・東京
	1 TBCテレビ	4 ABS秋田放送	4 YBC山形放送	6 IBCテレビ	8 福島テレビ	1 RAB青森放送	4 日本テレビ
	8 仙台放送	8 AKT秋田テレビ	5 YTS山形テレビ	4 テレビ岩手	4 福島中央ﾃﾚﾋﾞ	6 ATV青森テレビ	6 TBS
	4 ミヤギテレビ	5 AAB秋田朝日放送	6 ﾃﾚﾋﾞﾕｰ山形	8 めんこいﾃﾚﾋﾞ	5 KFB福島放送	5 青森朝日放送	8 ﾌｼﾞﾃﾚﾋﾞｼﾞｮﾝ
	5 KHB東日本放送		8 さくらんぼﾃﾚﾋﾞ	5 岩手朝日ﾃﾚﾋﾞ	6 ﾃﾚﾋﾞﾕｰ福島		5 テレビ朝日
							7 テレビ東京
							9 TOKYO MX
							12 放送大学

お住まいの地域	神奈川	群馬	茨城	千葉	栃木	埼玉	長野
放送局名	1 NHK総合・東京	1 NHK総合・東京	1 NHK総合・水戸	1 NHK総合・東京	1 NHK総合・東京	1 NHK総合・東京	1 NHK総合・長野
	2 NHK教育・東京	2 NHK教育・東京	2 NHK教育・東京	2 NHK教育・東京	2 NHK教育・東京	2 NHK教育・東京	2 NHK教育・長野
	4 日本テレビ	4 日本テレビ	4 日本テレビ	4 日本テレビ	4 日本テレビ	4 日本テレビ	4 テレビ信州
	6 TBS	6 TBS	6 TBS	6 TBS	6 TBS	6 TBS	5 ABN長野朝日放送
	8 ﾌｼﾞﾃﾚﾋﾞｼﾞｮﾝ	8 ﾌｼﾞﾃﾚﾋﾞｼﾞｮﾝ	8 ﾌｼﾞﾃﾚﾋﾞｼﾞｮﾝ	8 ﾌｼﾞﾃﾚﾋﾞｼﾞｮﾝ	8 ﾌｼﾞﾃﾚﾋﾞｼﾞｮﾝ	8 ﾌｼﾞﾃﾚﾋﾞｼﾞｮﾝ	6 SBC信越放送
	5 テレビ朝日	5 テレビ朝日	5 テレビ朝日	5 テレビ朝日	5 テレビ朝日	5 テレビ朝日	8 NBS長野放送
	7 テレビ東京	7 テレビ東京	7 テレビ東京	7 テレビ東京	7 テレビ東京	7 テレビ東京	
	3 tvk	3 群馬テレビ	12 放送大学	3 ちばテレビ	3 とちぎテレビ	3 テレビ埼玉	
	12 放送大学	12 放送大学		12 放送大学	12 放送大学	12 放送大学	

お住まいの地域	新潟	山梨	大阪	京都	兵庫	和歌山	奈良
放送局名	1 NHK総合・新潟	1 NHK総合・甲府	1 NHK総合・大阪	1 NHK総合・京都	1 NHK総合・神戸	1 NHK総合・和歌山	1 NHK総合・奈良
	2 NHK教育・新潟	2 NHK教育・甲府	2 NHK教育・大阪	2 NHK教育・大阪	2 NHK教育・大阪	2 NHK教育・大阪	2 NHK教育・大阪
	6 BSN	4 YBS山梨放送	4 MBS毎日放送	4 MBS毎日放送	4 MBS毎日放送	4 MBS毎日放送	4 MBS毎日放送
	8 NST	6 UTY	6 ABCテレビ	6 ABCテレビ	6 ABCテレビ	6 ABCテレビ	6 ABCテレビ
	4 TeNYﾃﾚﾋﾞ新潟		8 関西テレビ	8 関西テレビ	8 関西テレビ	8 関西テレビ	8 関西テレビ
	5 新潟テレビ21		10 読売テレビ	10 読売テレビ	10 読売テレビ	10 読売テレビ	10 読売テレビ
			7 テレビ大阪	5 KBS京都	3 サンテレビ	5 テレビ和歌山	9 奈良テレビ

お住まいの地域	滋賀	広島	岡山	香川	島根	鳥取	山口
放送局名	1 NHK総合・大津	1 NHK総合・広島	1 NHK総合・岡山	1 NHK総合・高松	3 NHK総合・松江	3 NHK総合・鳥取	1 NHK総合・山口
	2 NHK教育・大阪	2 NHK教育・広島	2 NHK教育・岡山	2 NHK教育・高松	2 NHK教育・松江	2 NHK教育・鳥取	2 NHK教育・山口
	4 MBS毎日放送	3 RCCテレビ	4 RNC西日本テレビ	4 RNC西日本テレビ	8 山陰中央ﾃﾚﾋﾞ	8 山陰中央ﾃﾚﾋﾞ	4 KRY山口放送
	6 ABCテレビ	4 広島テレビ	5 KSB瀬戸内海放送	5 KSB瀬戸内海放送	6 BSSテレビ	6 BSSテレビ	3 TYSﾃﾚﾋﾞ山口
	8 関西テレビ	5 広島ﾎｰﾑﾃﾚﾋﾞ	6 RSKテレビ	6 RSKテレビ	1 日本海テレビ	1 日本海テレビ	5 YAB山口朝日
	10 読売テレビ	8 TSS	7 ﾃﾚﾋﾞせとうち	7 ﾃﾚﾋﾞせとうち			
	3 BBCびわ湖放送		8 OHKテレビ	8 OHKテレビ			

■表の見方

（2008年3月現在）

お住まいの地域	愛知		三重		岐阜		石川		静岡		福井		富山	
放送局名	3	NHK総合・名古屋	3	NHK総合・津	3	NHK総合・岐阜	1	NHK総合・金沢	1	NHK総合・静岡	1	NHK総合・福井	3	NHK総合・富山
	2	NHK教育・名古屋	2	NHK教育・名古屋	2	NHK教育・名古屋	2	NHK教育・金沢	2	NHK教育・静岡	2	NHK教育・福井	2	NHK教育・富山
	1	東海テレビ	1	東海テレビ	1	東海テレビ	4	テレビ金沢	6	SBS	7	FBCテレビ	1	KNB北日本放送
	5	CBC	5	CBC	5	CBC	5	北陸朝日放送	8	テレビ静岡	8	福井テレビ	8	BBT富山テレビ
	6	メ～テレ	6	メ～テレ	6	メ～テレ	6	MRO	4	静岡第一ﾃﾚﾋﾞ			6	ﾁｭｰﾘｯﾌﾟﾃﾚﾋﾞ
	4	中京テレビ	4	中京テレビ	4	中京テレビ	8	石川テレビ	5	静岡朝日ﾃﾚﾋﾞ				
	10	テレビ愛知	7	三重テレビ	8	岐阜テレビ								

お住まいの地域	愛媛		徳島		高知		福岡		熊本		長崎		鹿児島	
放送局名	1	NHK総合・松山	3	NHK総合・徳島	1	NHK総合・高知	3	NHK総合・福岡	1	NHK総合・熊本	1	NHK総合・長崎	3	NHK総合・鹿児島
	2	NHK教育・松山	2	NHK教育・徳島	2	NHK教育・高知	3	NHK総合・北九州	2	NHK教育・熊本	2	NHK教育・長崎	2	NHK教育・鹿児島
	4	南海放送	1	四国放送	4	高知放送	2	NHK教育・福岡	3	RKK熊本放送	3	NBC長崎放送	1	MBC南日本放送
	5	愛媛朝日			6	テレビ高知	2	NHK教育・北九州	8	TKUﾃﾚﾋﾞ熊本	8	KTNﾃﾚﾋﾞ長崎	8	KTS鹿児島ﾃﾚﾋﾞ
	6	あいテレビ			8	さんさんﾃﾚﾋﾞ	1	KBC九州朝日放送	4	KKTくまもと県民	5	NCC長崎文化放送	5	KKB鹿児島放送
	8	テレビ愛媛					4	RKB毎日放送	5	KAB熊本朝日放送	4	NIB長崎国際ﾃﾚﾋﾞ	4	KYT鹿児島讀賣TV
							5	FBS福岡放送						
							7	TVQ九州放送						
							8	TNCﾃﾚﾋﾞ西日本						

お住まいの地域	宮崎		大分		佐賀		沖縄							
放送局名	1	NHK総合・宮崎	1	NHK総合・大分	1	NHK総合・佐賀	1	NHK総合・那覇						
	2	NHK教育・宮崎	2	NHK教育・大分	2	NHK教育・佐賀	2	NHK教育・那覇						
	6	MRT宮崎放送	3	OBS大分放送	3	STSｻｶﾞﾃﾚﾋﾞ	3	RBCテレビ						
	3	UMKﾃﾚﾋﾞ宮崎	4	TOSﾃﾚﾋﾞ大分			5	QAB琉球朝日放送						
			5	OAB大分朝日放送			8	沖縄ﾃﾚﾋﾞ（OTV）						

アイコン一覧

●本機はアイコン（機能表示のシンボルマーク）によって、表示画面の情報をお知らせします。
●放送局から情報が送られてこない場合は、正しいアイコンを表示しない場合があります。

番組内容画面

アイコン	説明
テレビ	テレビ放送（映像＋音声）の番組。
データ	データ放送の番組。
＋d テレビ	番組内容に関連したデータ放送を行っている番組。
＋d ラジオ	ラジオ放送番組で、番組内容に関連したデータ放送を行っている番組。
●●● 信号	映像や音声、データのいずれかを信号切り換えができる番組。
モノラル	モノラル音声の番組。
ステレオ	ステレオ放送の番組。
デジタル XCOPY	デジタルコピーガードが、かかっている番組。（デジタルで録画できません）
アナログ XCOPY	アナログコピーガードが、かかっている番組。（アナログで録画できません）
デジタル 1COPY	1 回のみデジタルコピーが可能な番組。（録画後、ダビングできません）
制限 COPY	9 回のコピーと 1 回のムーブが可能な番組 ・HDD 再生中に番組内容ボタンを押したときに表示されます。 ・10 回目がムーブとなり、本機に保存された番組は削除されます。
ラジオ	ラジオ放送の番組。
d テレビ	番組とは別のデータ放送を行っている番組。
d ラジオ	ラジオ放送で、番組とは別のデータ放送を行っている番組。
16:9 1080i	番組の映像信号情報。 上：画面の横縦比（16：9、4：3） 下：信号方式（1080i、720p、480p、480i）
主＋副	二重音声信号で、「主＋副」音声の番組。
サラウンド	5.1ch などのサラウンド放送の番組。
有料	有料のデータを含む番組。 （ペイ・パー・ビュー番組） CATV 放送では表示されません。
マルチビュー	マルチビュー放送の番組。
字幕	番組の中に字幕（日本語／英語）の情報が含まれている番組。
20 才～	視聴年齢制限がある番組。 （表示される年齢は 4 ～ 20 才まであります）
アナログ X出力	アナログ（ビデオ出力、D 端子映像出力）出力していない番組。

お知らせ

●「デジタル 1COPY」のアイコンが出ない番組でも、録画機器によってはダビングができない場合があります。

予約一覧画面

見るだけ予約した番組。

放送開始時間を変更して予約される番組。

録画 AVHDD / 録画 D-VHS / 録画 HDR / 録画 Ir / 録画 -- / 録画 HDD / 録画 Ir+HDD / 録画 --+HDD
録画予約した番組。（下：録画機器、方式）

探して毎回★　探して毎回予約で予約した番組。

検索中　時間変更追従を実行中。（時間確認中）

次回未定　探して毎回予約で次回の放送がまだ見つかっていないとき。

済 取消　お客様の操作や録画機器の状態により録画が取り消されたときに表示。

月~土 / 月~金 / 毎日 / 毎週　毎週、毎日、曜日指定での予約。

済 おしらせ　予約実行の途中中断、時間の変更、指定の信号で録画できない、録画機器が正しく動作していない場合。

重複　予約時間が重なっている予約。

PPV　有料のデータを含む番組。（ペイ・パー・ビュー番組）

済　予約時間が終了した予約。

リレー　番組追従でリレーが実行されたリレー先の予約。

実行中　現在、実行中の予約。

番組ジャンル

●番組をジャンル別に検索するときに選ぶ。（☞ 20 ページ）

映画

音楽

ニュース・報道

劇場・公演

ドラマ

バラエティ

アニメ・漫画

趣味・教育

スポーツ

情報・ワイドショー

ドキュメンタリー・教養

福祉

●別に、ジャンル名をイラスト化して表示しているアイコンがあります。

その他の画面

メール一覧画面で、お客様がまだ読まれていないメール。（未読メール）

メール一覧画面で、お客様が既に読まれたメール。（既読メール）

番組表で予約された番組
（青色：見るだけ予約
赤色：録画予約
紫色：探して毎回予約）

おすすめアイコン

故障かな!?

症状	原因と処置	ページ
リモコンで 操作できない	●電池が消耗していたり、電池の極性が違っていませんか? ●リモコン受信部に向けて操作していますか? ●電池の交換により、リモコン設定が変わる場合があります。 ●受信異常により、本機の操作ができなくなる場合があります。 →本体前面にあるリセットボタンを押していただくか電源プラグを一度抜き、しばらくした後、再度電源プラグを差し込み動作を確認してください。	11 8 97 6
ダウンロードを 行ったら、 受信できなくなった	●ダウンロードの内容によっては、各種設定が工場出荷時の設定値に戻る場合があります。再度設定をやり直してください。	–
チャンネル番号が 画面から消えない	●画面表示ボタンで、画面表示が出る状態にしていませんか? →再度、画面表示ボタンを押してください。	15
横長映像や縦長映像 になる	●「接続テレビ設定」が、接続されているテレビに合っていますか? ●ワイドテレビの場合、映像に合った画面モードに設定されていますか? ● HDMI 端子で接続の場合は、背面にある映像出力切換スイッチを「D 端子」側に切り換えてください。	73 – 65
電源「切」時に DATA ランプが点灯する	●自動的に放送情報を受信するため、DATA ランプが一時的に点灯する場合があります。 (通常、深夜から早朝)	8
電源「切」時に TEL ランプが点灯する	●自動的に視聴記録の送信を行うため、TEL ランプが一時的に点灯する場合があります。 (通常、深夜から早朝)	8
電源を入れても映像 がすぐに出ない	●本機は電源を入れても、ソフトウェアが起動して映像を表示するまでに時間がかかる場合があります。 ●機能待機「する」に設定すると、出画時間を早くすることができます。	– 55
乱れた映像になる または 特定のチャンネルで 映像が乱れる	●本機の D 端子映像出力端子をご使用の場合、HDMI ／ D 端子出力設定が間違っていないか確認してください。	73
映像も音も出ない	●テレビ側の入力切換え(テレビ／ビデオ)は間違っていませんか?	–
音は出るが 映像は出ない	●背面にある映像出力切換スイッチは接続する端子にあっていますか? →テレビへ端子に接続する場合は、「テレビへ」側へ切り換えてください。 → D 端子に接続する場合は、「D 端子」側へ切り換えてください。	9 64 65

症状	原因と処置	ページ
画質や音質が少し悪くなった	●降雨対応放送になっていませんか？ →雨の影響により、衛星からの電波が弱くなっている場合は、ケーブルテレビ局で電波が弱くても受信可能な降雨対応放送に切り替える場合があります。降雨対応放送は画質、音質が少し悪くなります。天候が回復すれば、元の画質や音質に戻ります。	105
電話機にノイズ（雑音）が入る 電話回線につないでいるとき電話機やファクシミリに呼び出し音が鳴る	●モジュラー分配器を使用すると、一部の電話機やファクシミリで、この症状が出る場合があります。 → 市販の自動転換器または、電話回線用ノイズフィルター（雑音防止器）で改善される場合があります。詳しくはご使用の電話機やファクシミリなどのメーカーへご相談ください。 → 市販の自動転換器（パソコン対応用）を使用すると改善される場合があります。詳しくは、ご使用の電話機やファクシミリなどのメーカーへご相談ください。	－
字幕や文字スーパーが出ない	●メニュー画面などが表示されていませんか？ →元の画面ボタンを押して、メニューや操作説明画面などを消してください。 ●「字幕の設定」の「字幕」や「文字スーパー」が「オフ」に設定されていませんか？ →「オン」にしてください。 ●「字幕の設定」の「字幕言語」や「文字スーパー言語」の設定が放送の言語と一致していますか？ →放送の言語に設定を合わせてください。 ●字幕や文字スーパーのある番組を選局していますか？ →字幕は、「字幕」のアイコンが表示されている番組で表示されます。	－ 54 54 100
有料放送の視聴ができない	● IC カードが正しく挿入されていますか？ ●有料放送を視聴するための手続きはされていますか？ →視聴契約手続きをしてください。 ●電話回線が正しく接続されていますか？ ●「電話設定」が正しく設定されていますか？ ●ネットワークの接続は正しくされていますか？ →「ネットワーク接続テスト」が「OK」か確認してください。	63 － 62 72 66 77
画面に「購入できませんでした。」などが表示され、購入または予約ができない状態が続く	●電話回線の接続や設定は正しいですか？ →電話回線を接続し、「電話設定」を正しく行ってください。 ● IC カードは正しく挿入されていますか？ ●ネットワークの接続は正しくされていますか？ →「ネットワーク接続テスト」が「OK」か確認してください。	62 72 63 66 77
Ir システムで録画機器の録画予約ができない	● Ir システムケーブルは正しく接続されていますか？ ●「Ir システム設定」は正しいですか？ ●録画機器は正しく準備できていますか？ →録画機器の電源や、ビデオテープなどは必ず確認してください。	86 86 38

故障かな！？

症状	原因と処置	ページ
Ir システム設定が変更できない	●予約されている番組を全て削除して再設定してみてください。 → Ir を使用する録画予約が設定されていると、Ir のメーカー、種類などは変更できません。	–
i.LINK 操作や i.LINK での録画予約ができない	●本機に対応していない i.LINK 対応機器を接続していませんか？ →本機で制御できる i.LINK 対応機器は当社製 D-VHS ビデオデッキなどの i.LINK 対応機器 2 台までです。 ●「i.LINK 接続設定」で「使用」を「する」に設定されていますか？（「しない」に設定していると操作できません） ●録画機器側の設定は正しいですか？ → i.LINK ケーブルを抜いた状態で本機の i.LINK 接続設定を削除してから、録画機器側の設定を変更してください。	– 84 84
i.LINK での録画予約を失敗したまたは中断した	●当社製ブルーレイディスクレコーダー／ DVD レコーダー（ディーガ）での録画中にディーガを操作する、または重複するディーガ側の録画予約が開始すると i.LINK 録画が失敗または中断する場合があります。 →ディーガの設定や注意事項など詳しくはディーガの取扱説明書をご覧ください。 ディーガ以外の録画機器でも同様の注意が必要な場合があります。詳しくは、録画機器の取扱説明書をご覧ください。	37
見るだけ予約が実行されない	●見るだけ予約をして、電源が「切」になっていませんか？ →見るだけ予約した場合、電源を「切」にしていると予約が実行されません。	19
時間指定予約で英語の音声が録画できない	●英語が第一音声で放送されていますか？ →デジタル放送では、英語（日本語以外）の音声が、第一音声の二重音声（主または副音声）として放送される場合と、2 つ目の音声信号（第一音声または第二音声）として放送される場合があります。 詳しくは、番組内容で詳しい内容（属性）をご確認ください。 →番組表からの録画・視聴予約では、音声信号が複数ある場合や、二重音声で放送される場合、状況に応じて音声信号を予約設定（信号設定）することができます。	14 29
天面に触れると熱い	●本機は放熱のため天面の一部で温度が高くなります。品質・性能には異常ありません。（風通しの良い所に設置してください。）	6

メッセージ表示一覧

本機では、メールで送られてくる情報とは別に、状況に合わせて「メッセージ」が表示されます。主なメッセージとその内容は下記の通りです。

メッセージ	内容
購入できません。本機の接続･設定を確認のうえ、ご加入のケーブルテレビ局へ連絡してください。	購入記録が送信できず、IC カードの記録容量を超えている場合などに表示されます。電話回線やネットワークの接続・設定をご確認ください。（☞ 62、66、72、76 ページ）
現在、受信できません。	受信するための送信データが異常の場合に表示されます。
視聴できません。 視聴するには、決定ボタンを押してください。	有料番組の購入をしなかった場合などに表示されます。 決定ボタンで、再度選局操作が行えます。
気象条件などにより、信号品質が低下しています。	雨等の影響により、衛星からの電波が弱くなったため、ケーブルテレビ局で引き続き放送を受信できる降雨対応放送に切り替えると表示されます。画質、音質が少し悪くなります。また、番組情報も表示できない場合もあります。
緊急警報放送が開始されました。「決定」ボタンで選局、「戻る」ボタンで本メッセージを非表示にします。	緊急警報放送が始まると表示されます。必ず放送内容を確認するようにしてください。
C-CAS カードを正しく挿入してください。	IC カードの挿入方向の間違い、または使用できないカードが挿入されると表示されます。本機専用の IC カードを正しく挿入してください。（☞ 63 ページ） IC カードが挿入されていない場合にも表示されます。
B-CAS カードを正しく挿入してください。	
C-CAS カード（または B-CAS カード）の交換が必要です。ご加入のケーブルテレビ局へ連絡してください。	IC カードの交換が必要なときに表示されます。 ご加入のケーブルテレビ局にご相談ください。
この C-CAS カード（または B-CAS カード）は使用できません。ご加入のケーブルテレビ局へ連絡してください。	
信号が受信できません。ケーブルの接続を確認してください。接続に問題がない場合は、 ご加入のケーブルテレビ局へ連絡してください。	●ケーブル宅内線の接続不良などでケーブル入力信号が正しく入力されていないと表示されます。ケーブル宅内線の接続などを確認してください。 ●天候の影響などでケーブルテレビ局において受信障害が発生している、または放送されていないチャンネルを選局をしていると表示される場合があります。
チャンネル制限が設定されている為選局できません。	視聴制限のチャンネルスキップ設定でスキップ設定したチャンネルを選局しています。（☞ 56 ページ）
このチャンネルはご覧いただけません。ご加入のケーブルテレビ局へ連絡してください。	視聴するために契約が必要な番組を選局すると表示されます。 ご加入のケーブルテレビ局にご相談ください。
視聴条件によりご覧いただけません。ご加入のケーブルテレビ局へ連絡してください。	
このチャンネルは契約されていません。ご加入のケーブルテレビ局へ連絡してください。	
ご契約の確認をしております。 しばらくお待ちください。	視聴するために契約が必要な番組を選局すると表示されます。しばらく待って選局されない場合は、ご加入のケーブルテレビ局にご相談ください。
番組がワイド放送の場合、両端を切り取った 映像に変換して出力します。 （データ放送時を除く）	ワイド（16：9）放送の番組を予約するときに、予約設定の「その他の設定」画面で､「サイドカット」を「する」に設定すると表示します。両端に黒帯がある映像の場合、黒帯部分を切り取った映像で録画できますが、黒帯の無い映像の場合に設定すると、映像の両端が切り取られた映像になりますので、ご注意ください。（☞ 16 ページ）

メッセージ表示一覧

メッセージ	内容
あなたの好みを学習中です。 学習に数日かかる場合があります。	おすすめ一覧は本機が学習したお客様の好みを基に表示します。本機の使用状況により学習が完了する時間が異なります。数日間のご使用後に、再度おすすめ一覧を表示してください。
おすすめ番組を探しています。	おすすめ番組を探す処理を行っています。数分以上かかる場合があります。しばらくしてからおすすめ一覧を表示してください。
HDD に正しくアクセスできません。録画または再生を停止します。リセットボタンを押して再起動してください。	ハードディスクの異常により、録画・再生・タイムキープができません。リセットボタンを押して再起動してください。 (☞ 8 ページ)
HDD が満杯のため、録画できません。	ハードディスクが満杯状態で空き容量が不足しているため、録画ができません。不要な録画番組を消去してください。 (☞ 34 ページ)
表示できる画像データがありません。	本機は、SD メモリーカードに JPEG 形式で記録された静止画ファイルのみ表示することができます。SD メモリーカード内に表示可能な静止画ファイルがありません。
SD カードがライトプロテクトされているため 設定を保存できません。	SD メモリーカードの書込禁止スイッチが「LOCK」側になっているため、プリント枚数の設定ができません。書込禁止スイッチを切り換えてください。(☞ 42 ページ)
i.LINK 接続による再生ができません。	i.LINK 機器接続や設定によるエラーメッセージです。接続や設定を確認してください。(☞ 84 ページ)
i.LINK 接続による再生ができません。外部機器との接続・設定を確認してください。	
i.LINK 接続による録画ができません。外部機器との接続・設定を確認してください。	

ブラウザ関連のメッセージ表示

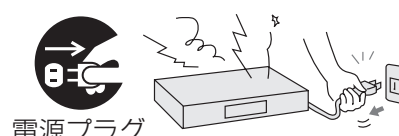
ネットワーク設定の接続テスト時やブラウザ使用時およびデータ放送からのお好みページ操作時などの主なエラーメッセージと内容は、下記の通りです。

メッセージ（エラーコード）	内容
IP アドレスが設定されていません。 本機の「ネットワーク設定」をご確認ください。 （C201）	ご加入のケーブルテレビ局にご相談ください。
IP アドレスが取得できませんでした。 接続や設定をご確認ください。（C203）	
接続テストに失敗しました。 ゲートウェイが応答しません。 接続や設定をご確認ください。（C207）	
IP アドレスの重複を検出しました。 設定をご確認ください。（C204）	
接続テストを実行できませんでした。（C205）	一度、本機の電源プラグをコンセントから抜いて入れなおして、再度実行してください。それでも症状が改善しない場合、ご加入のケーブルテレビ局にご相談ください。
アドレスが正しく設定できませんでした。（C206）	
接続サイト先の証明書の検証で問題がありました。 接続先の安全性が確認できませんが接続しますか？サイト名：○○○○	接続先サイトが安全かどうかの確認ができませんでした。このまま接続することもできますが、接続しないことをお勧めします。しばらく待って再度実行すると、接続先の安全性が確認できる場合もあります。

安全上のご注意　必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、物的損害を未然に防止するため、必ずお守りいただきたいことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使いかたをしたときに生じる危害や物的損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

警告	この表示の欄は、「死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度」です。
注意	この表示の欄は、「傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度」です。

■お守りいただきたい内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。（下記は絵表示の一例です。）

	この絵表示は、気をつけていただきたい「注意」内容です。
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただきたい「指示」内容です。

警告

異常が発生したときはすぐに使用をやめてください 。

そのまま使用すると火災・感電の原因となりますので、すぐに電源プラグをコンセントから抜いてご加入のケーブルテレビ局にご相談ください。

■ 故障や煙が出ている、へんな臭いや音がしたら電源プラグを抜く！

電源プラグを抜く

煙が出なくなるのを確認して修理をご加入のケーブルテレビ局にご依頼ください。
お客様による修理は危険ですから、おやめください。

■ 内部に異物や水などの液体が入ったり、落としたり、カバーが破損したら、電源プラグを抜く！

電源プラグを抜く

■ 雷が鳴りだしたら、機器やケーブルには触れないでください

接触禁止

感電の原因となります。

■ 不安定な場所に置かないでください

禁止

ぐらついた台の上や傾いた所などに置くと倒れたり、落ちたりしてけがの原因となります。

■ 水などの液体が入ったり、ぬらしたりしないようにしてください

水ぬれ禁止

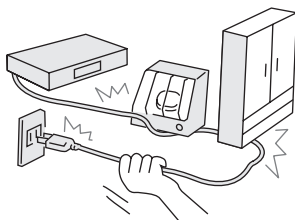
水などの液体の入った容器を置いたり、ペットが機器の上に乗らないようにしてください。水などの液体や排泄物などが中に入った場合、火災・感電の原因となります。

●この取扱説明書のイラストや画面はイメージであり、実際とは異なる場合があります。

⚠ 警告

電源コードについて

■ 電源コードや電源プラグを破損するようなことはしないでください

禁止

傷つけたり、加工したり、重いものをのせたり、加熱したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っぱったりすると芯線の露出、ショート、断線により火災・感電の原因となります。

● 電源コードやプラグの修理は、ご加入のケーブルテレビ局にご相談ください。

■ コンセントや配線器具の定格を超える使い方や交流100 V以外では使用しないでください

禁止

たこ足配線などで、定格を超えると発熱により火災の原因となります。

■ 電源プラグにほこりがたまらないよう、定期的に掃除をしてください

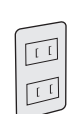
湿気などで絶縁不良になり火災・感電の原因となります。
電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

■ 電源プラグは根元まで確実に差し込んでください

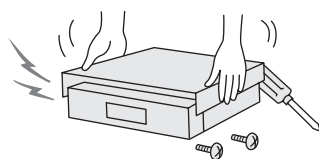
差し込みが不完全ですと感電や発熱による火災の原因となります。

● 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

■ ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください

ぬれ手禁止

感電の原因となります。

■ カバーを外したり、改造したりしないでください

分解禁止

内部に触れないでください。火災・感電の原因となります。

● 内部の点検・調整・修理はご加入のケーブルテレビ局にご相談ください。

■ 電源コードは本機に付属のもの以外は使用しないでください

禁止

火災や感電の原因となります。

■ 異物を入れないでください

禁止

通風孔やICカード挿入口などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。

● 特にお子様にはご注意ください。

■メモリーカードは、乳幼児の手の届く所に置かないでください

禁止

誤って飲み込む恐れがあります。

● 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

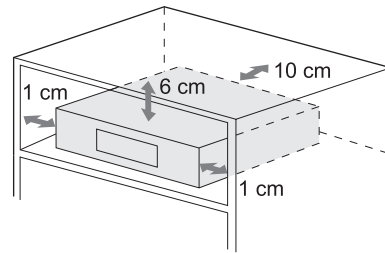
安全上のご注意

必ずお守りください

⚠ 注意

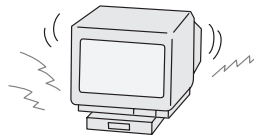
■通風孔をふさがないでください

内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがありますので次の点にご注意ください。

- テレビ台などに設置した場合、上側が 6 cm 以上、左右が 1 cm 以上、後側が 10 cm 以上の間隔をあけて据えつけてください。

- 押し入れ、本箱など風通しの悪い狭い所に押し込まないでください。
- テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや布団の上に置かないでください。
- あお向けや横倒し、逆さまにしないでください。

■湿気やほこりの多い所、油煙や湯気があたるような所に置かないでください

調理台や加湿器のそばなどに置くと火災・感電の原因となることがあります。

■上に重い物を置かないでください

バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

■機器に乗らないでください

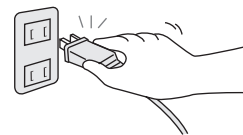
倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。

- 特に小さなお子様にはご注意ください。

■長期間ご使用にならないときは電源プラグをコンセントから抜いてください

電源プラグを抜く

電源プラグにほこりがたまり火災・感電の原因となることがあります。

■電源プラグを抜くときは、プラグを持って抜いてください

コードを引っぱると、コードが破損し、感電・ショート・火災の原因となることがあります。

⚠ 注意

リモコンについて

■ 電池を入れるときには、極性表示（プラス⊕とマイナス⊖の向き）に注意してください

機器の表示通り正しく入れてください。間違えますと電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

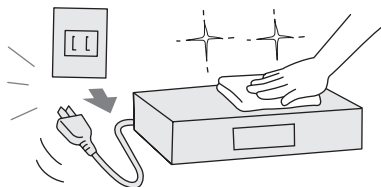
■ 新しい電池と古い電池を混ぜたり、指定以外の電池を使用しないでください

禁止

間違えますと電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

お手入れについて

■ お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください

電源プラグを抜く

感電の原因となることがあります。

■ 移動されるときは、必ず接続線を外してから行ってください

コードや接続している機器が傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

● 電源プラグやケーブルテレビ宅内線、機器間の接続線を外したことを確認のうえ、行ってください。

お手入れについて

キャビネットをいためないために次の点にお気をつけください。

●殺虫剤、ベンジン、シンナーなど揮発性のものをかけないでください。
変質したり、塗料がはげることがあります。
●ゴムやビニール製品などを長時間接触したままにしないでください。跡がつくことがあります。
●汚れは柔らかい布でふきとってください。汚れがひどいときは、水で薄めた台所用洗剤（中性）に浸した布をかたく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。
●化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

仕様

お客様のご使用機種の品番について
本体背面の機種品番表示でご確認いただくか、または60ページの「情報を見る」→「ステータス表示」画面のステータスでご確認ください。
例：フロントパネルがTZ-DCH2000で、ステータスが「0070-101**A**」の場合、ご使用の機種の品番は
TZ-DCH2000Aです。

品名	CATV デジタルセットトップボックス		
品番	TZ-DCH2000	TZ-DCH2000A	TZ-DCH2000B
使用電源	AC100 V　50 Hz ／ 60 Hz 両用		
消費電力	電源オン 30 W 電源オフ 0.5 W 以下 機能待機時 24 W	電源オン 35 W 電源オフ 0.1 W 機能待機時 20 W	電源オン 33 W 電源オフ 0.1 W 機能待機時 20 W
デジタル放送	●受信変調方式：64QAM（Annex.C）、受信周波数帯域：90 MHz ～ 770 MHz、入力レベル：49 ～ 81 dB μ V（平均値）		
ケーブルモデム	● 受信変調方式：64QAM/256QAM（Annex.B）、 受信周波数帯域：90 MHz ～ 770 MHz、 入力レベル：49 ～ 79 dB μ V（平均値） ● 送信変調方式：QPSK/16/32/64/128QAM、 送信周波数帯域：10 MHz ～ 55 MHz、 出力レベル：68 ～ 118 dB μ V		
ハードディスク容量	250GB		
接続端子	●ケーブル端子：F 型接栓、75 Ω ●分配出力端子：F 型接栓、75 Ω ●D 端子映像：D1 ／ D2 ／ D3 ／ D4 映像 出力端子（Y）1.0 V[p-p]、75 Ω（P_B、P_R）0.7 V[p-p]、75 Ω ●ビデオ出力端子：S1 ／ S2 映像（Y）1.0 V[p-p]、75 Ω （録画機器へ／テレビへ）　（C）0.286 V[p-p]、75 Ω 映像（1.0 V[p-p]、75 Ω）、音声（250 mV[rms]（標準）、2.2 k Ω以下） ●光デジタル音声出力端子　：－ 18 dBm 660 nm ●電話回線（モジュラー）端子：V.22 bis（2 400 bps）、MNP4（着呼機能なし） ●Ir システム端子：Ir システムケーブル用 ●i.LINK 端子（2 系統）：IEEE1394 準拠 ●HDMI 映像･音声出力端子 ●SD メモリーカードスロット		
外形寸法	幅 43 cm・高さ 6.3 cm（脚含む）・奥行き 32.9 cm（冷却ファンのカバー含む）		
質量	3.5 kg	3.4 kg	3.3 kg
環境条件	使用周囲温度範囲 5 ℃～ 40 ℃　許容相対湿度範囲 10 %～ 80 %（結露のないこと）		

リモコン

使用電源	DC3 V（単 3 形乾電池 2 個使用）
操作距離・範囲	約 7 m 以内（本体正面距離）、左右各約 30° 以内、上下各約 20° 以内
質量	約 170 g（乾電池含む）

● 本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

※ 本機を使用できるのは、日本国内のご加入されているケーブルテレビ局サービスエリア内のみで外国では放送方式、電源電圧が異なりますので使用できません。

* This device can only be used inside Japan in areas that are covered by subscription cable TV services. Because of differences in broadcast formats and power supply voltages, it cannot be used in overseas countries.

お客様のご使用機種の品番について
本体背面の機種品番表示でご確認いただくか、または60ページの「情報を見る」→「ステータス表示」画面のステータスでご確認ください。
例：フロントパネルがTZ-DCH2800で、ステータスが「0070-101**B**」の場合、ご使用の機種の品番は
TZ-DCH2800Bです。

CATV デジタルセットトップボックス			
TZ-DCH2800	TZ-DCH2800B	TZ-DCH2810	TZ-DCH2810B
AC100 V　50 Hz ／ 60 Hz 両用			
電源オン 35 W 電源オフ 0.1 W 機能待機時 20 W	電源オン 33 W 電源オフ 0.1 W 機能待機時 20 W	電源オン 30 W 電源オフ 0.1 W 機能待機時 15 W	電源オン 28 W 電源オフ 0.1 W 機能待機時 15 W
●受信変調方式：64QAM (Annex.C)、 受信周波数帯域：90 MHz ～ 770 MHz、入力レベル：49 ～ 81 dB μ V (平均値) ●受信変調方式：OFDM　受信周波数帯域：90 MHz ～ 770 MHz、入力レベル：47 ～ 81 dB μ V (平均値)			
●受信変調方式：64QAM/256QAM（Annex.B)、受信周波数帯域：90 MHz ～ 770 MHz、入力レベル 49 ～ 79 dB μ V（平均値） ●送信変調方式：QPSK/16/32/64/128QAM、送信周波数帯域：10 MHz ～ 55 MHz、出力レベル 68 ～ 118 dB μ V		—	
250GB			
●ケーブル端子：F 型接栓、75 Ω ●分配出力端子：F 型接栓、75 Ω ●D 端子映像：D1 ／ D2 ／ D3 ／ D4 映像 出力端子（Y）1.0 V[p-p]、75 Ω（P_B、P_R）0.7 V[p-p]、75 Ω ●ビデオ出力端子：S1 ／ S2 映像（Y）1.0 V[p-p]、75 Ω（録画機器へ／テレビへ）（C）0.286 V[p-p]、75 Ω 映像（1.0 V[p-p]、75 Ω)、音声（250 mV[rms]（標準)、2.2 k Ω以下） ●光デジタル音声出力端子　：－ 18 dBm 660 nm ●電話回線（モジュラー）端子： V.22 bis（2 400 bps)、MNP4（着呼機能なし） ●Ir システム端子：Ir システムケーブル用 ●i.LINK 端子（2 系統): IEEE1394 準拠 ●HDMI 映像･音声出力端子 ●SD メモリーカードスロット ●LAN（100BASE-TX）端子：TZ-DCH2810 ／ TZ-DCH2810B のみ			
幅 43 cm・高さ 6.3 cm（脚含む）・奥行き 32.9 cm（冷却ファンのカバー含む）			
3.5 kg	3.3 kg	3.4 kg	3.3 kg
使用周囲温度範囲 5 ℃～ 40 ℃　許容相対湿度範囲 10 %～ 80 %（結露のないこと）			

ブラウザ仕様

項目	仕様
記述言語	HTML4.0準拠
スタイルシート規格	CSS1/CSS2（Subset）
動作記述言語	JavaScript 1.4/ECMAScript(ECMA-262)
セキュア通信	SSL2.0/SSL3.0/TLS1.0
Cookie	バージョン0
モノメディア（静止画）	JPEG、PNG、GIF
プラグイン	なし
文字入力	画面キーボード方式、携帯（リモコン）方式
画面解像度	800×450
カラーモデル	フルカラー

●日本語変換はオムロンソフトウエア（株）のモバイルWnnを使用しています。

さくいん

「安全上のご注意」を必ずお読みください（☞108～111ページ）

英数字　ページ

あ　行　ページ

か　行　ページ

さ　行　ページ

た　行　ページ

な　行　ページ

は　行　ページ

ま　行　ページ

や　行　ページ

ら　行　ページ

愛情点検 長年ご使用のデジタルセットトップボックスの点検を！

こんな症状はありませんか？	●映像も音も出ない。 ●映像が時々消える。 ●異常な臭いや音がする。 ●水や異物が入った。	▶	このような症状のときは使用を中止し、故障や事故防止のため、コンセントから電源プラグを抜いて、必ずご加入のケーブルテレビ局に点検をご相談ください。

便利メモ

おぼえのため記入されると便利です。

ご加入（契約）日	年　　月　　日	品　番	TZ-DCH
ケーブルテレビ局および お客様相談室	（　　　　）　　　－		

ID 番号	ID 番号	
60 ページの「情報を見る」「IC カード」画面で確認できる「カード ID」と「CATV-ID の STB-ID」を記入してください。問い合わせのときに必要な場合があります。		C-CAS カード（カード ID）
		B-CAS カード（カード ID）
		CATV-ID（STB-ID）

パナソニック株式会社
AVCネットワークス社　映像・ディスプレイデバイス事業グループ
〒571－8504　大阪府門真市松生町 1 番 15 号

S0308-6088